

4 利用向上を目指した取組

ア 取組の進め方

取組の方向性の「④利用向上を目指した取組を検討」に整理した施設については、諸室や時間帯の有効活用のほか、デジタル技術の活用、認知度の向上など、他施設の取組事例を参考に、実現可能な取組について検討を行います。また、市民参加の取組を基に整理した「今後の取組の視点」や、ワークショップでいただいた御意見やアイデアも参考としながら検討を行います。

利用向上



ワークショップ等で
いただいた
御意見やアイデア

市民参加による取組を
基に整理した
今後の取組の視点

取組事例を参考に検討

- ・諸室や時間帯の有効活用
- ・デジタル技術の活用
- ・認知度の向上

など

現状

- ・施設が知られていない
- ・利用率が低い諸室がある

など

今後の取組の視点（5つ）

<視点1>

様々なニーズに対応した、多目的な機能を持つ施設を目指す。

<視点2>

地域特性を踏まえて検討していく。

<視点3>

使われていない時間帯の有効活用や、利用者範囲を柔軟に考えるなど、これまでの施設の使い方を再検討していく。

<視点4>

情報発信やPRを積極的に行うなど、「公共施設を知ってもらう」取組により認知度の向上を図る。

<視点5>

ニーズに合った施設等の実現に向けた取組として、施設の状況やタイミングに応じて、機能集約や移転などの手法も含めて検討していく。

4 利用向上を目指した取組

イ 利用向上に向けた取組の例

本市における利用向上に向けた取組の主な事例については、次のとおりです。

① 諸室や時間帯の有効活用

💡 視点1

💡 視点3

建物全体又は諸室の空いている曜日や時間帯を活用して、地域などに開放するなどの多目的化により有効活用を図っています。

● 老人いこいの家の取組

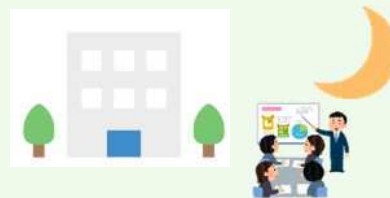
老人いこいの家は、高齢者の心身の健康増進を図るために設置された施設ですが、地域の活動団体向けに夜間・休日等施設開放事業を行っています。

実施前



日中は利用されるが、夜間は未利用となっている。

実施後



夜間など、利用時間以外の時間を会議室などとして一般開放

多目的化

● その他の取組

中高生が勉強できるスペースを提供するため、イベントスペース等を学習フリースペースとして活用するなどの取組を行っています。



出典：高津市民館ホームページから引用

● 市立小・中学校の取組

市立小・中学校等では、学校教育に支障のない範囲で校庭、体育館、特別教室等を開放する「学校施設有効活用事業」を実施しています。

実施前



授業などが無い時間帯は未利用となっている。

実施後



学校教育に支障のない範囲で、平日夜間や休日を地域に開放

多目的化

4 利用向上を目指した取組

イ 利用向上に向けた取組の例

②デジタル技術の活用など利用しやすい環境整備の取組

💡 視点1

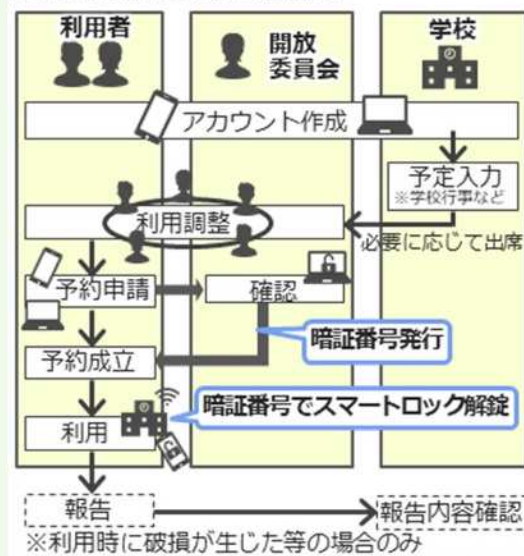
💡 視点3

多目的化を実施している施設において、更なる有効活用の取組として、予約システムやスマートロックシステムなどの導入により利便性の向上を図っています。

●学校施設の更なる有効活用に向けた取組

校庭、体育館、特別教室等の学校施設を、学校教育に支障のない範囲で市民に開放していますが、特別教室等の利用頻度が低いことから、これまでに新たな活用方法について、様々な取組を実施しており、その中の取組の一つとして、予約システム及び予約システムと連動したスマートロックシステムを令和4（2022）年度から一部の学校で試行的に導入し、令和7（2025）年度から学校施設開放を実施している市立小・中・特別支援学校 168 校において、予約システム及びスマートロックシステムが連動した「川崎市学校施設利用システム」による運用を開始しました。

【予約システム等による利用手続の流れ】



出典：学校施設の更なる有効活用に向けた実施方針

●老人いこいの家の夜間・休日施設開放事業における利便性の向上

施設の有効活用の観点から、44か所の老人いこいの家において、開館時間外に市民活動団体への開放を行っています。利用団体登録及びICカード情報の登録完了後、パソコン・スマートフォンで専用予約サイトから予約を行える、オンライン予約システム及びスマートロックシステムが連動した利用予約システムを導入しています。

スマートロックシステムの導入例

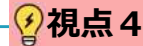


出典：老人いこいの家 夜間・休日等施設開放事業利用予約システム概要

4 利用向上を目指した取組

イ 利用向上に向けた取組の例

③ 認知度の向上への取組



認知度の向上の取組として、市ホームページや広報紙による施設や事業の周知や、体験イベントを通じた広報活動なども行っています。

● 広報等の事例

市ホームページや市政だよりなどの広報誌による施設の有効活用の周知など



● 学校施設の更なる有効活用に向けた取組の事例

- ・地域のNPOと連携した体験講座の実施
- ・特別教室等を気軽に利用できることを周知するために、地域で活動するNPO法人と連携し、子どもを対象とした体験講座を、東小倉小学校で実施



令和4(2022)年11月実施のイベントをきっかけに、引き続き同校を利用してイベントを実施

- ・お試し開放イベントの実施
特別教室等の新たな利用方法の掘り起こし等を目的としたワークショップで出たアイデアを元にしたお試し開放イベントを、小学校3校で実施



チラシも参加者が作成

出典：学校施設の更なる有効活用に向けた実施方針

④ 公共施設の活用事例等の情報共有



公共施設の柔軟な使い方をひとまとめにしたガイドを作成し市ホームページで公開するなど、取組の横展開なども行っています。

(抜粋)



出典：まちのひろば ひらきかた手帳別冊「意外と知らない公共施設の柔軟な使い方ガイド」

<今後について>

- ・地域の公共施設の未来を考えるワークショップを通じて、「施設に入りづらい」、「施設が存在が知られていない」といった御意見を頂戴していることから、今後も利用向上に向けた取組が全庁的に広がるように、横展開を図っていきます。
- ・取組の方向性の「④利用向上を目指した取組を検討」に整理した施設については、利用向上を目指した取組を進めるとともに、継続して使用する施設として長寿命化を進めるとともに、施設の建替え等や、将来の社会環境の変化、周辺施設の建替え等のタイミングで最適化に向けた検討を行います。

資料編

資料編の構成

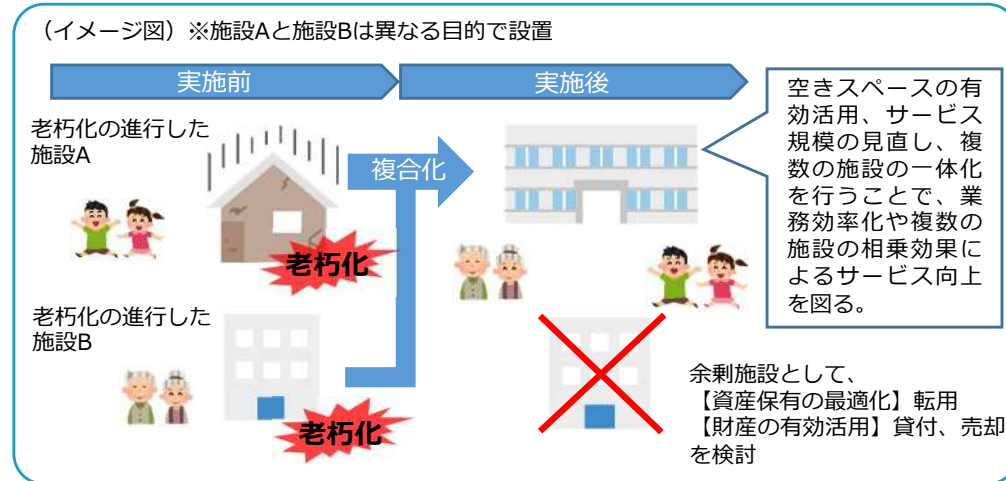
- 1 資産保有の最適化の手法
- 2 起点施設の選定条件等
- 3 起点施設のデータ分析等に関する考え方等の詳細
- 4 モデル4 地域の起点施設の配置状況
- 5 利用向上を目指した取組を検討する施設の概要
- 6 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ開催結果概要
- 7 利用団体等との意見交換（施設別）
- 8 公共施設マネジメント推進委員会

1 資産保有の最適化の手法

将来にわたって本市に必要な機能を維持するため、資産保有の最適化の手法として、以下の手法を活用します。

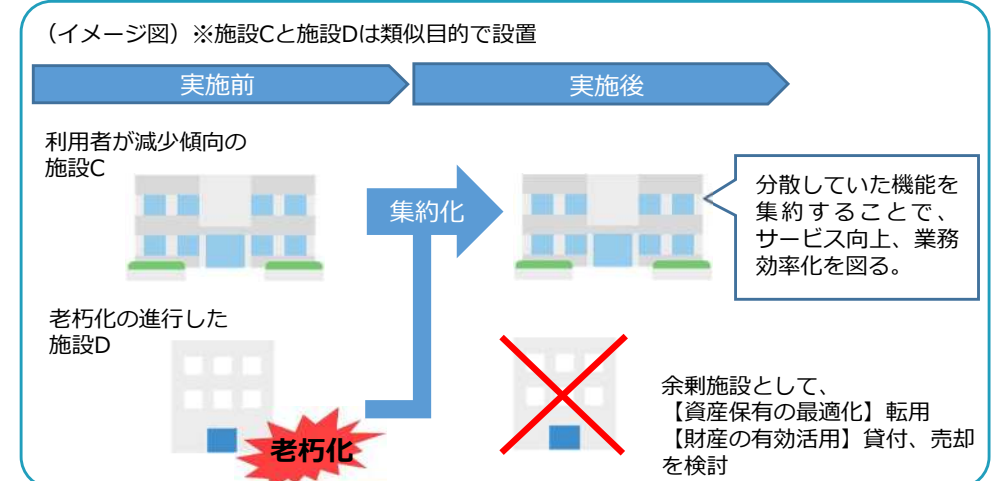
(複合化)

- ・既存の異なる用途の施設を統合し、複合施設として整備
- ・業務効率化や複数の施設の相乗効果によるサービス向上を図る。



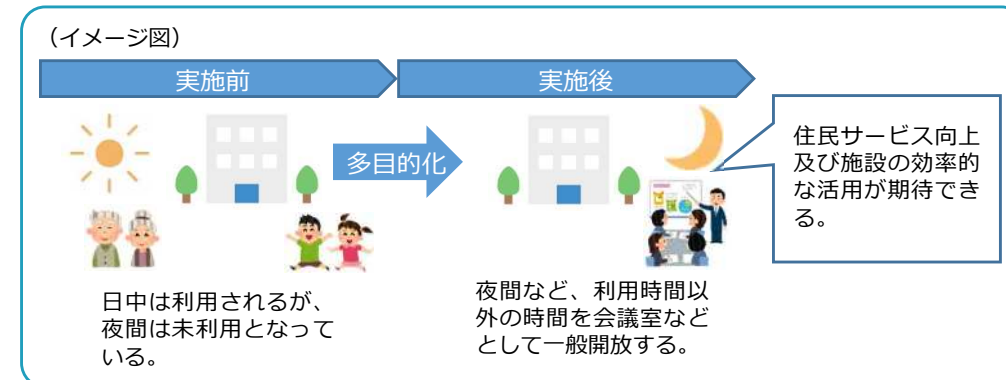
(集約化)

- ・既存の類似目的で設置されていた施設を統合し、一体の施設として整備
- ・分散していた機能を集約することで、サービス向上、業務効率化を図る。



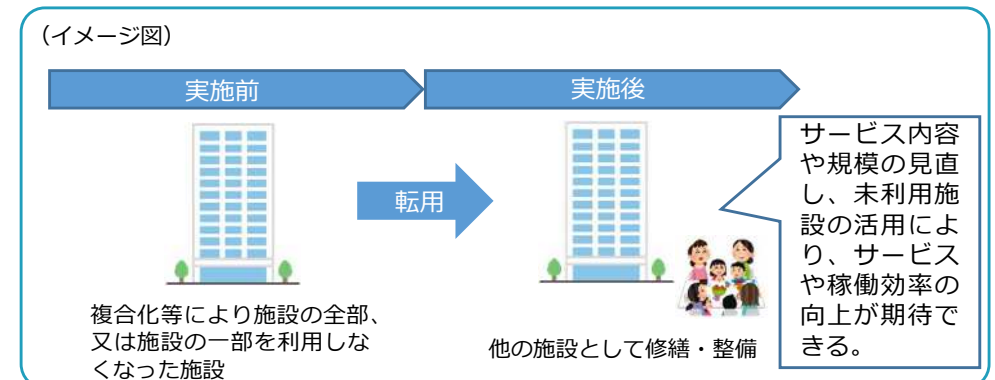
(多目的化)

- ・既存施設を目的や対象者を制限せず、多くの市民が利用できる施設や部屋へ転換



(転用)

- ・既存施設を他目的の施設として利用し、現在の目的と異なる施設へ転換

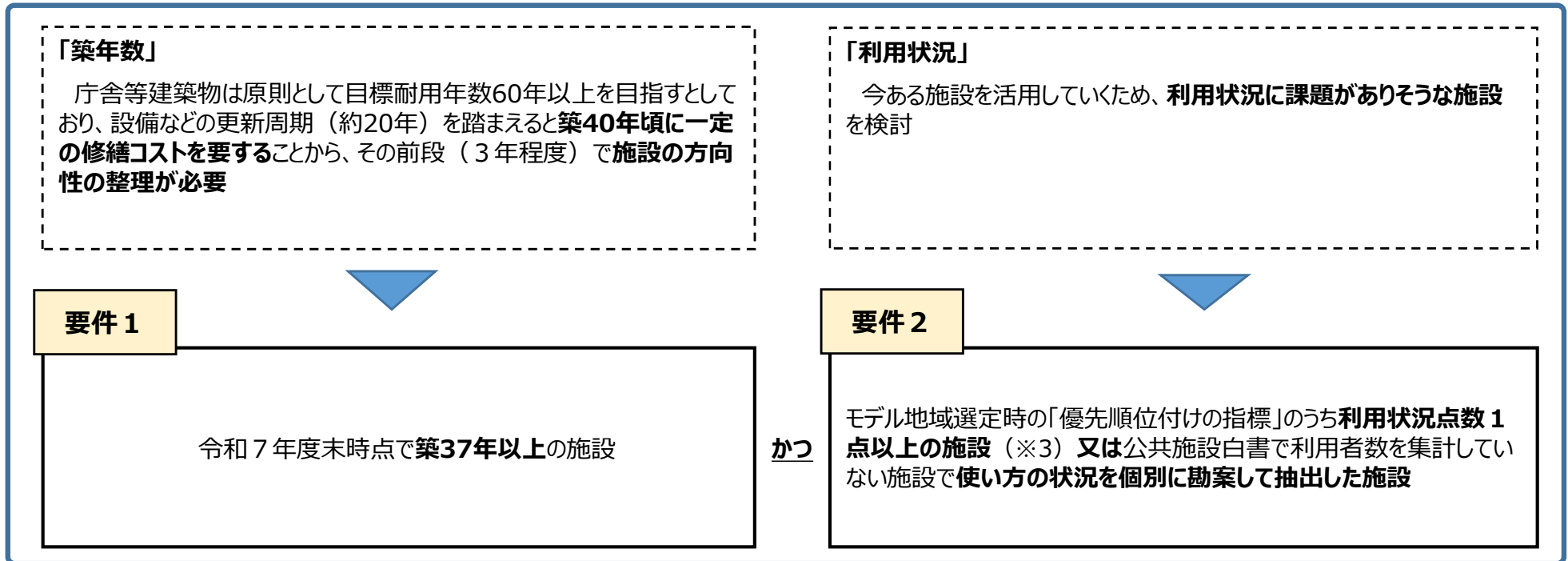


2 起点施設の選定条件等

検討にあたっては、資産マネジメント第3期実施方針において「広域的観点に基づく検討（※1）」を行うこととしており、施設単体の検討のみではなく、複数の施設を含む広域的な視点で施設の適正配置を検討することとしています。

⇒モデル地域の検討においては、初めに下記の基準で起点施設を選定し、周辺施設との複合化等の可能性について検討を進めます。

■ 起点施設（※2）の選定基準



（※1）広域的観点に基づく検討は、全市、あるいは一定の区域における行政ニーズを踏まえ、それに対応した提供すべき必要なサービスを把握した上で施設配置や規模の検討を行うことや、周辺の他の行政施設の利用状況、建築状況、権利関係等を踏まえた施設の整備・活用手法の検討を行うなど、点（施設単体）ではなく、面（複数の施設を含む広域）で考える検討方法のことを言います。

（※2）・庁舎施設及び特定の用途に限定される施設、個別計画策定済みの学校施設及び市営住宅など本取組とは別に事業に関する計画等に基づき検討する施設については、起点施設の対象外としますが、相手方施設に含まれる場合があります。
・建替えや廃止など施設の方性が整理されている施設については、検討の対象外とします。
・起点施設以外について、検討を進める中で、社会環境変化等により最適化検討が必要と考えられる場合は、起点施設に加えることがあります。

（※3）モデル地域選定時の公共施設白書で利用者数を把握している全施設で比較し、利用度偏差値45未満は2点、45以上50未満は1点、50以上は0点とします。

2 起点施設の選定条件等

■ 起点施設の選定結果 ※川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】令和5.3.31時点データ（大分類順）

モデル地域	川崎・渡田・富士見	平間・御幸・南河原	西高津・高津・東高津	柿生・麻生・王禅寺中央	合計
起点施設	消防会館 かわさき健康づくりセンター 川崎能楽堂 旭町こども文化センター 渡田こども文化センター 大島老人いこいの家 南部身体障害者福祉会館 川崎休日急患診療所	産業振興会館 幸スポーツセンター 地域子育て支援センターふるいちば 古市場老人いこいの家 南河原老人いこいの家 幸休日急患診療所	生活文化会館（てくのかわさき） 男女共同参画センター 梶ヶ谷こども文化センター 地域子育て支援センターかじがや 上作延老人いこいの家 高津老人いこいの家 北部身体障害者福祉会館 地域福祉施設ちどり 福祉パルたかつ 高津休日急患診療所	麻生区役所 麻生区役所柿生分庁舎 麻生市民館 麻生図書館 麻生市民館岡上分館 麻生スポーツセンター 白山中学校跡地施設 虹ヶ丘こども文化センター 白山こども文化センター 王禅寺こども文化センター 地域子育て支援センターみなみゆりがおか 白山老人いこいの家 王禅寺老人いこいの家 麻生休日急患診療所	
	8	6	10	14	38
起点施設以外	105	55	84	50	294
合計	113	61	94	64	332

3 起点施設のデータ分析等に関する考え方等の詳細

(1) 分析・確認の考え方等について

● 分析・確認の考え方

起点施設が有する課題の度合を測るため、以下の分析・確認を行いました。

(利用状況に関する分析)

- ・各施設で市民利用可能な部屋数や利用可能なコマ数など特性が異なることから、利用実態に即した分析を行うため、公共施設白書の**部屋別の利用状況（利用コマ数）**を基に分析し、**低利用な部屋の割合が高い施設を抽出**
- ・なお、こども文化センターなど、複数の部屋を自由に利用できる施設については、部屋別の利用状況が把握できないため、施設全体を1部屋とみなし、**同一用途分類内の1㎡あたり利用者数（利用度）**を分析し、**低利用な施設を抽出**

分析内容	分析の考え方
部屋別の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・低利用な部屋数の割合が高いほど、施設を有効に活用できていないと考えられる。 ・年間利用可能コマ数に対する年間利用コマ数の割合が33%未満（3分の1）のものを「低利用な部屋」とし、公共施設白書の「貸し出しを行う部屋のデータ（部屋別の利用状況データ※令和3～令和4の2か年度）」を用いて、「利用可能な全部屋数に対する低利用な部屋数の割合」を評価項目とする。
分析内容	分析の考え方
同一用途分類内の1㎡あたり利用者数（利用度）	<ul style="list-style-type: none"> ・1㎡あたり利用者数（利用度）が低いほど、施設を有効に活用できていないと考えられる。 ・公共施設白書の「利用者数（年間利用者数データ※令和3～令和4の2か年度）」を用いて、1㎡あたりの利用者数（利用度）を算出。利用度は用途に応じて特性が異なるため、「利用度を同一用途分類内で偏差値化したデータ（利用度偏差値）」を評価項目とする。

(施設・機能のあり方検討の確認)

- ・他の方針等において施設課題が示されているものは、施設の方向性を検討する必要があります。

確認内容	確認の考え方
他の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール機能に着目した資産保有の最適化検討や行財政改革第3期プログラムにおいて、施設の課題が示されているものは、優先的に取り組むことが求められることから、施設・機能のあり方検討の必要性を評価項目とする。

3 起点施設のデータ分析等に関する考え方等の詳細

(1) 分析・確認の考え方等について

● 分析・確認に基づく分類

- ・前頁の分析・確認の考え方に基づき、以下の指標を設定しました。
- ・指標 1・2 のいずれかに該当するものを**複合化等検討施設候補**とし、いずれにも該当しないものを**利用向上施設候補**と分類しました。

指標 1（利用状況に関するもの）

指標 1 - A

評価項目	基準
低利用な部屋の割合	利用可能な全部屋数に対し、 低利用な部屋数の割合が50%以上

指標 1 - B ※指標 1 - Aで評価できないものに適用

評価項目	基準
利用度偏差値	利用度偏差値が45未満 ※偏差値45は全体の下位30%程度（3分の1程度）に位置することを踏まえ設定

指標 2（施設・機能のあり方検討に関するもの）

評価項目	基準
施設・機能のあり方検討の必要性	ホール機能に着目した資産保有の最適化検討や行財政改革第3期プログラムにおいて 施設課題があるもの

3 起点施設のデータ分析等に関する考え方等の詳細

(2) データ分析等結果一覧

モデル地域	No	起点施設名	指標 1（利用状況に関するもの）				指標 2（施設・機能のあり方検討に関するもの）		分類結果
			評価項目	基準	※左記項目で評価できない施設を対象		評価項目	基準	
					低利用な部屋の割合（％） （小数点以下第 2 位を四捨五入）	利用可能な全部屋数に対し、低利用 な部屋数の割合が 5 0％以上			
							施設・機能のあり方検討の必要性 ※ホール機能に着目した資産保有の最適化検討は「ホール機能」、行財政改革第 3 期プログラムは「行革プログラム」と記載	ホール機能に着目した資産保有の最適化検討や行財政改革第 3 期プログラムにおいて施設課題があるもの	
川崎・渡田・富士見	1	消防会館	100	5 0％以上	-	-			複合化等検討施設候補
	2	かわさき健康づくりセンター	57.1	5 0％以上	-	-			複合化等検討施設候補
	3	川崎能楽堂			39	4 5 未満	ホール機能	○	複合化等検討施設候補
	4	旭町こども文化センター			30	4 5 未満	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	5	渡田こども文化センター			46	4 5 以上	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	6	大島老人いこいの家			44	4 5 未満			複合化等検討施設候補
	7	南部身体障害者福祉会館	100	5 0％以上	-	-			複合化等検討施設候補
	8	川崎休日急患診療所			41	4 5 未満	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
平間・御幸・南河原	9	産業振興会館	0	5 0％未満	-	-			利用向上施設候補
	10	幸スポーツセンター	0	5 0％未満	-	-			利用向上施設候補
	11	地域子育て支援センターふるいちば			45	4 5 以上	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	12	古市場老人いこいの家			47	4 5 以上			利用向上施設候補
	13	南河原老人いこいの家			50	4 5 以上			利用向上施設候補
	14	幸休日急患診療所			42	4 5 未満	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
西高津・高津・東高津	15	生活文化会館（てくのかわさき）	13.3	5 0％未満	-	-	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	16	男女共同参画センター	11.1	5 0％未満	-	-	ホール機能・行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	17	梶ヶ谷こども文化センター			44	4 5 未満	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	18	地域子育て支援センターかじがや			45	4 5 以上	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	19	上作延老人いこいの家			42	4 5 未満			複合化等検討施設候補
	20	高津老人いこいの家			66	4 5 以上			利用向上施設候補
	21	北部身体障害者福祉会館	50	5 0％以上	-	-			複合化等検討施設候補
	22	地域福祉施設ちどり	100	5 0％以上	-	-			複合化等検討施設候補
	23	福祉バルたかつ			46	4 5 以上			利用向上施設候補
	24	高津休日急患診療所			42	4 5 未満	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
神生・麻生・王禅寺中央	25	麻生区役所※ 1			-	-			利用向上施設候補
	26	麻生区役所神生分庁舎	20	5 0％未満	-	-			利用向上施設候補
	27	麻生市民館	16.7	5 0％未満	-	-			利用向上施設候補
	28	麻生図書館※ 2			-	-			利用向上施設候補
	29	麻生市民館岡上分館	40	5 0％未満	-	-			利用向上施設候補
	30	麻生スポーツセンター	0	5 0％未満	-	-			利用向上施設候補
	31	白山中学校跡地施設	0	5 0％未満	-	-			利用向上施設候補
	32	釘ヶ丘こども文化センター			37	4 5 未満	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	33	白山こども文化センター			45	4 5 以上	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	34	王禅寺こども文化センター			43	4 5 未満	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	35	地域子育て支援センターみなみゆりがおか			44	4 5 未満	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補
	36	白山老人いこいの家			58	4 5 以上			利用向上施設候補
	37	王禅寺老人いこいの家			42	4 5 未満			複合化等検討施設候補
	38	麻生休日急患診療所			45	4 5 以上	行革プログラム	○	複合化等検討施設候補

※1 麻生区役所については、会議室の市民利用など、施設を有効活用できる可能性があるため、利用向上施設候補へ分類

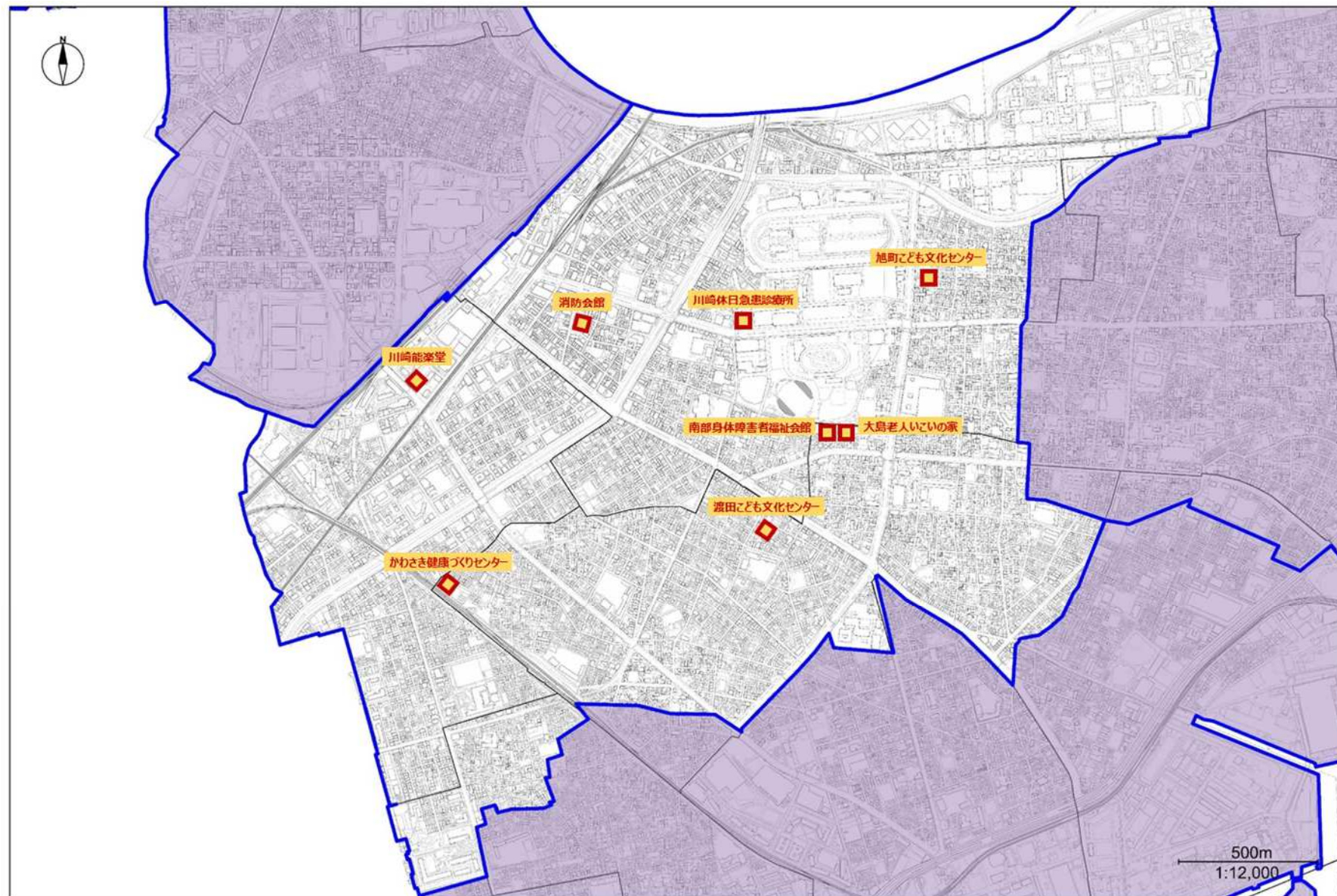
※2 麻生図書館については、麻生市民館との複合施設として、利用向上施設候補へ分類

4 モデル4 地域の起点施設の配置状況

(1) 川崎・渡田・富士見地域（川崎区）

- 川崎・渡田・富士見地域の起点施設の配置状況は以下のとおりです。

■ 起点施設の配置図

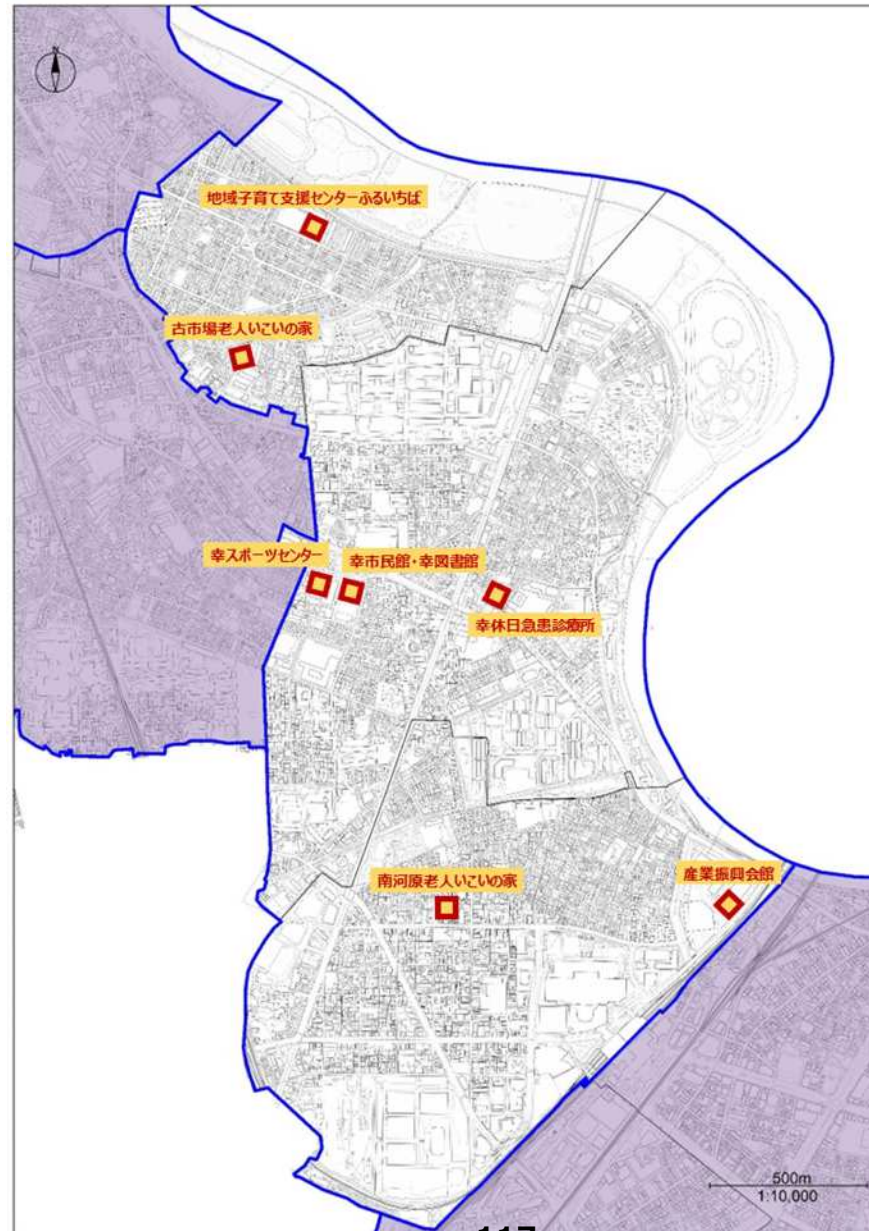


4 モデル4 地域の起点施設の配置状況

(2) 平間・御幸・南河原地域（幸区）

- 平間・御幸・南河原地域の起点施設の配置状況は以下のとおりです。

■ 起点施設の配置図

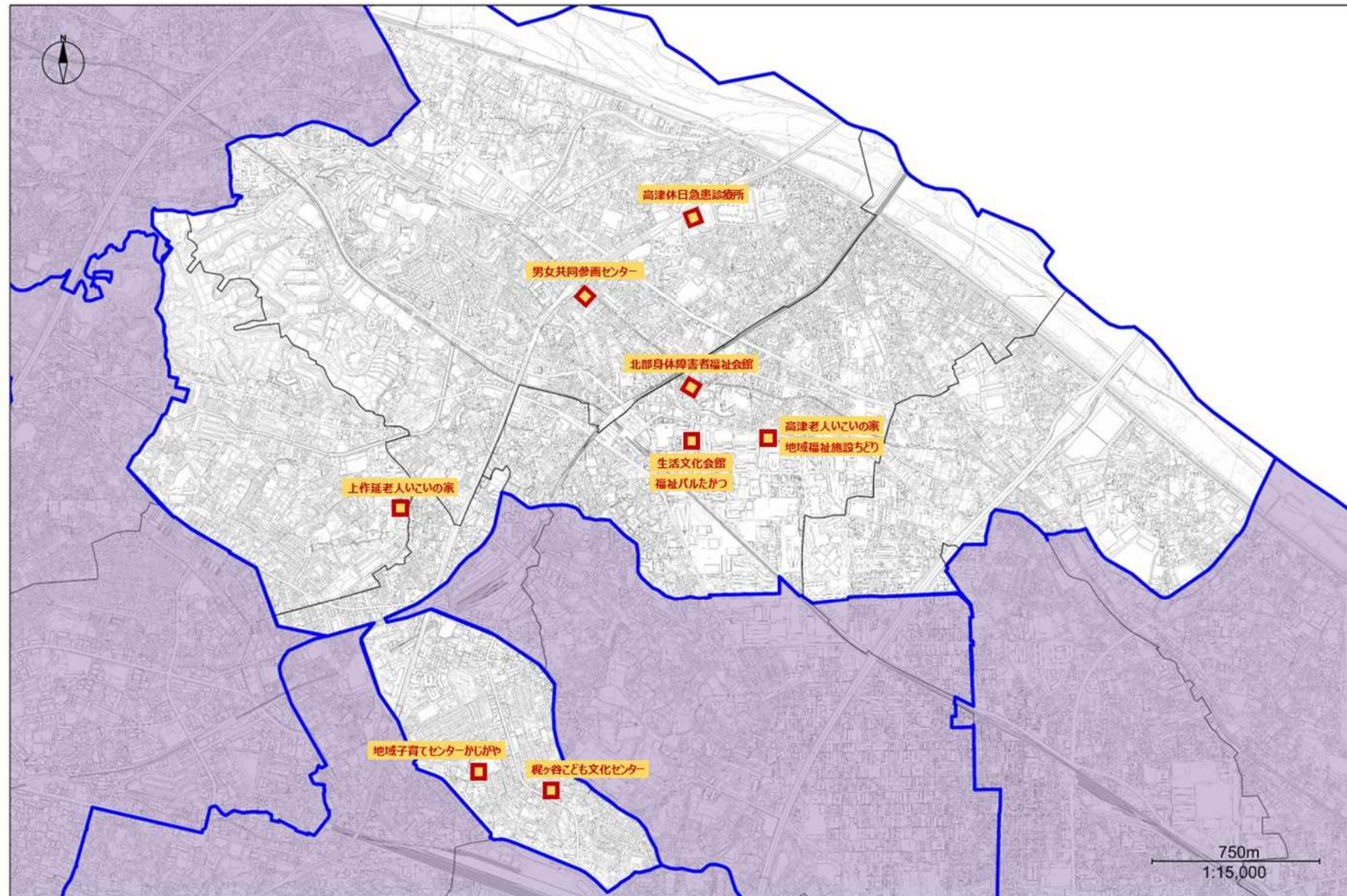


4 モデル4 地域の起点施設の配置状況

(3) 西高津・高津・東高津地域（高津区）

- 西高津・高津・東高津地域の起点施設の配置状況は以下のとおりです。

■ 起点施設の配置図

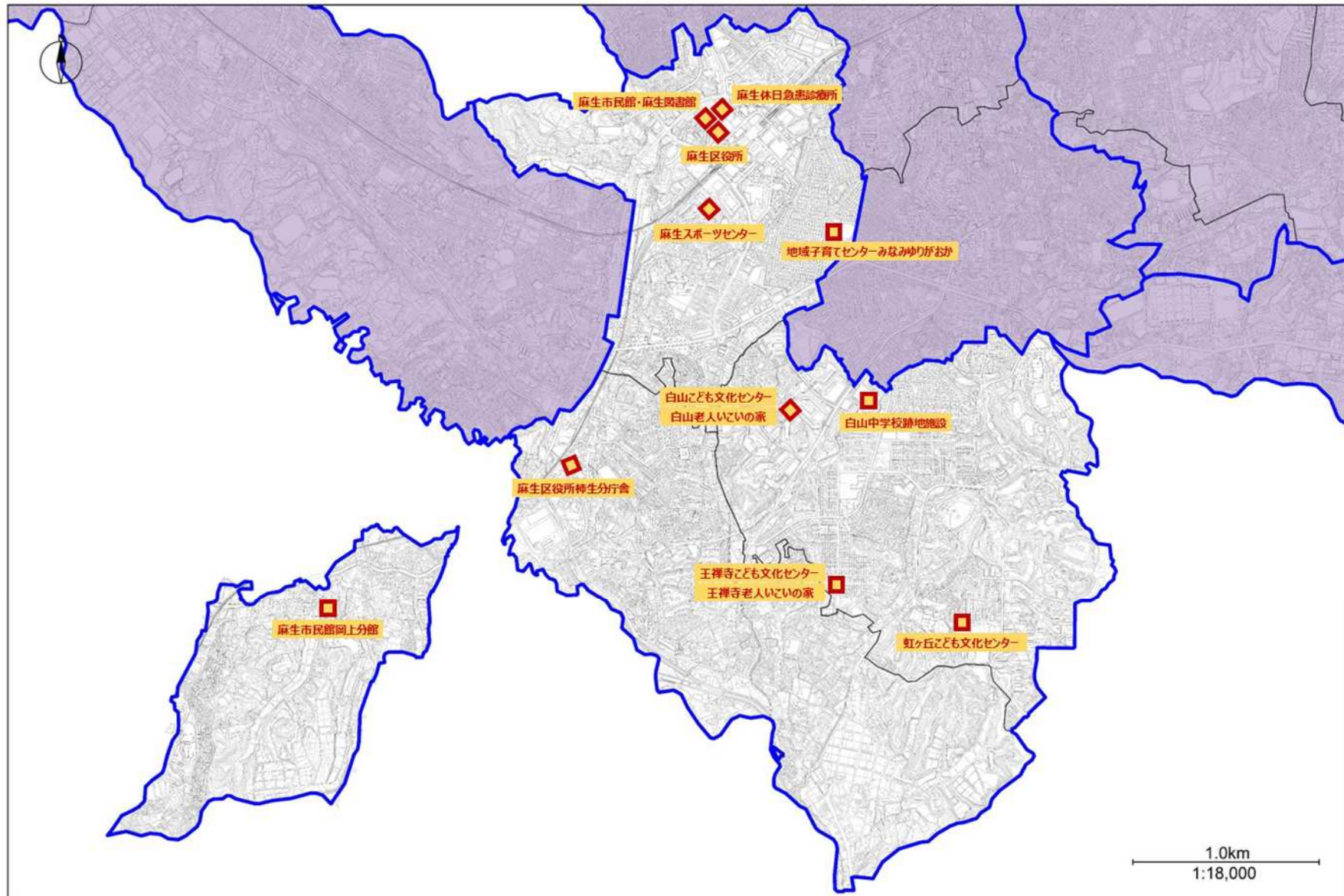


4 モデル4 地域の起点施設の配置状況

(4) 柿生・麻生・王禅寺中央地域（麻生区）

- 柿生・麻生・王禅寺中央地域の起点施設の配置状況は以下のとおりです。

■ 起点施設の配置図



5 利用向上を目指した取組を検討する施設の概要

●平間・御幸・南河原地域（幸区）の施設

産業振興会館



所在地	幸区堀川町66-20	建築年月日	昭和63(1988)年 5月31日	築年数 (令和7年度末)	築37年
設置目的等	経済の国際化、高度情報化、技術革新等による産業構造の変化に対応するため、企業間における情報交流、企業の技術開発、販路開拓事業の推進等を図り、もって本市産業の発展と地域経済の活性化に寄与することを目的に設立された会館です。小規模の会議室、研修会からピアノ発表会が開けるホールがあります。3階には無料で利用できるテレワークエリアがあります。				
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上13階・地下1階	敷地面積	1,460.23㎡	延床面積	10,094.90㎡
主な諸室	ホール、研修室、会議室、和室、展示場等			施設所管局	経済労働局
併設施設	—				

幸スポーツセンター



所在地	幸区戸手本町 1-11-3	建築年月日	昭和60(1985)年 3月30日	築年数 (令和7年度末)	築41年
設置目的等	スポーツのための施設及び設備の利用に供するための貸館機能の他、スポーツの指導及び助言に関すること、スポーツ及び体力についての相談に関すること、各種スポーツ教室の開催に関すること、スポーツの指導者育成のための研修会及び講習会の開催に関することなどを事業内容としています。スポーツデー・体力づくりなどのプログラムやトレーニング室は個人で利用することもできます。				
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階	敷地面積	5,036.62㎡	延床面積	3,528.44㎡
主な諸室	大体育室、小体育室、トレーニング室、研修室、スタジオ等			施設所管局	市民文化局
併設施設	—				

5 利用向上を目指した取組を検討する施設の概要

●平間・御幸・南河原地域（幸区）の施設

古市場老人いこいの家



出典：川崎市都市計画基本図

施設概要	所在地	幸区古市場1781-1	建築年月日	昭和60(1985)年 3月15日	築年数 (令和7年度末)	築41年
	設置目的等	老人に対し、健全ないこいの場を提供し、もって老人の心身の健康増進を図るため、条例により設置された施設です。				
	構造・階数	鉄筋コンクリート造・ 地上1階	敷地面積	1,277.72㎡	延床面積	330.83㎡
	主な諸室	大広間、教養室、談話室、クラブ室、多目的室等			施設所管局	健康福祉局
	併設施設	—				

南河原老人いこいの家



出典：川崎市都市計画基本図

施設概要	所在地	幸区南幸町1-11	建築年月日	昭和54(1979)年 10月31日	築年数 (令和7年度末)	築46年
	設置目的等	老人に対し、健全ないこいの場を提供し、もって老人の心身の健康増進を図るため、条例により設置された施設です。				
	構造・階数	鉄筋コンクリート造・ 地上2階	敷地面積	385.25㎡	延床面積	331.24㎡
	主な諸室	ホール、大広間、クラブ室、談話室等			施設所管局	健康福祉局
	併設施設	—				

5 利用向上を目指した取組を検討する施設の概要

● 柿生・麻生・王禅寺中央（麻生区）の施設

麻生区役所柿生分庁舎



施設概要	所在地	麻生区上麻生 6-29-18	建築年月日	昭和55(1980)年 10月30日	築年数 (令和7年度末)	築45年
	設置目的等	市民活動支援拠点。区民の地域活動支援のための施設であり、現在行政手続きは行っていません。貸館として、1階ホール(100人まで)、2階地区会館（第1会議室、第2会議室、第3会議室、和室）で利用可能です。				
	構造・階数	鉄骨造・地上2階	敷地面積	1,479.36㎡	延床面積	716.19㎡
	主な諸室	ホール、会議室、和室等			施設所管区	麻生区役所
	併設施設	—				

麻生市民館岡上分館



施設概要	所在地	麻生区岡上 3-15-5	建築年月日	昭和53(1978)年 3月31日	築年数 (令和7年度末)	築48年
	設置目的等	社会教育法の規定の基づく「公民館」として設置。地域に密着した施設として、施設提供事業や社会教育振興事業の実施を通じて市民の自発的・主体的な学習活動を支援しています。				
	構造・階数	鉄筋コンクリート造・ 地上2階	敷地面積	1,279.56㎡	延床面積	800.19㎡
	主な諸室	体育室、集会室、図書室、学習室、児童室、談話室、和室等			施設所管局	教育委員会事務局
	併設施設	—				

5 利用向上を目指した取組を検討する施設の概要

● 柿生・麻生・王禅寺中央（麻生区）の施設

麻生スポーツセンター



出典：川崎市都市計画基本図

施設概要	所在地	麻生区上麻生 3－6－1	建築年月日	昭和61(1986)年 3月31日	築年数 (令和7年度末)	築40年
	設置目的等	スポーツのための施設及び設備の利用に供するための貸館機能の他、スポーツの指導及び助言に関するこ と、スポーツ及び体力についての相談に関するこ、各種スポーツ教室の開催に関するこ、スポーツの指導者 育成のための研修会及び講習会の開催に関するこなどを事業内容としています。スポーツデー・体力づくりな どのプログラムやトレーニング室は個人で利用することもできます。				
	構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・ 地上2階	敷地面積	4,290.48㎡	延床面積	3,728.67㎡
	主な諸室	大体育室、小体育室、トレーニング室、武道室、研修室等			施設所管局	市民文化局
	併設施設	－				

白山中学校跡地施設



出典：川崎市都市計画基本図

施設概要	所在地	麻生区白山 1－1	建築年月日	昭和57(1982)年 4月2日	築年数 (令和7年度末)	築43年
	設置目的等	白山中学校の跡地施設として、体育館とグラウンドを地域開放しています。				
	構造・階数	鉄筋コンクリート造・ 地上2階	敷地面積	11,172.14㎡	延床面積	840.15㎡
	主な諸室	グラウンド、体育館（アリーナ、備蓄倉庫）等			施設所管区	麻生区役所
	併設施設	－				

5 利用向上を目指した取組を検討する施設の概要

●柿生・麻生・王禅寺中央（麻生区）の施設

白山老人いこいの家



出典：川崎市都市計画基本図

施設概要	所在地	麻生区白山 4-2-2	建築年月日	昭和61(1986)年 1月27日	築年数 (令和7年度末)	築40年
	設置目的等	老人に対し、健全ないこいの場を提供し、もって老人の心身の健康増進を図るため、条例により設置された施設です。				
	構造・階数	鉄筋コンクリート造・ 地上2階	敷地面積	4,571.22㎡ (白山保育園分を含む)	延床面積	330.83㎡
	主な諸室	ロビー、大広間、教養室、クラブ室、談話室、静養室等			施設所管局	健康福祉局
	併設施設	白山こども文化センター				

公共施設の 未来を考える ワークショップ

令和5年・6年度 開催結果概要 (モデル4地域分)



地域の公共施設の未来を考えるワークショップについて

公共施設の使い方や機能のあり方の整理に向けて、様々な立場・年代の市民の皆さまから、地域にある公共施設の未来に向けたより良い使い方等に関する御意見をいただき公共施設に対する幅広い市民ニーズ等を把握するため、「地域の公共施設の未来を考えるワークショップ」を開催しました。

ワークショップの概要

① 実施時期等	令和5（2023）年11月から令和6（2024）年11月にかけて モデル4地域で各5回、合計20回実施
② 参加者	無作為抽出によりモデル4地域にお住まいの満15歳以上の方、及び町内会関係者の方 第1回：99名 第2回：87名 第3回：116名 第4回：80名 第5回：82名 合計：464名 ※参加者数は4地域合計
③ 内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">令和5年度</p> <p style="text-align: center;">第1回</p> <p style="text-align: center;">「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」体験会</p> <p>資産マネジメント第3期実施方針の考え方を理解していただくため、「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」を実施</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">第2回</p> <p style="text-align: center;">地域の将来像・施設の使い方を考える</p> <p>モデル地域の特徴や課題等を踏まえ、「どんな地域が魅力的か」、「その地域の実現にはどのように施設を使えば良いか」について意見交換を実施</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">令和6年度</p> <p style="text-align: center;">第3回～第4回</p> <p style="text-align: center;">身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討</p> <p>第2回で話し合ったモデル地域の将来像等を踏まえ、その実現に向けて起点施設にあったらいいなと思う機能等についての意見交換を実施</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">第5回</p> <p style="text-align: center;">第3回～第4回の検討成果の共有とワークショップ全体の振り返り</p> <p>班ごとに行っていた検討成果を全体に共有し、トークセッションを通じてワークショップ全体の振り返りを実施</p> </div> </div>

ワークショップの様子



第1回（川崎区）



第2回（幸区）



第3回（高津区）



第4回（麻生区）



第5回（川崎区）

モデル地域を含む各区の概況について

- ワークショップでは、川崎区の地形や土地利用の特徴、将来人口推計、人口動態について、以下の資料を使用しました。

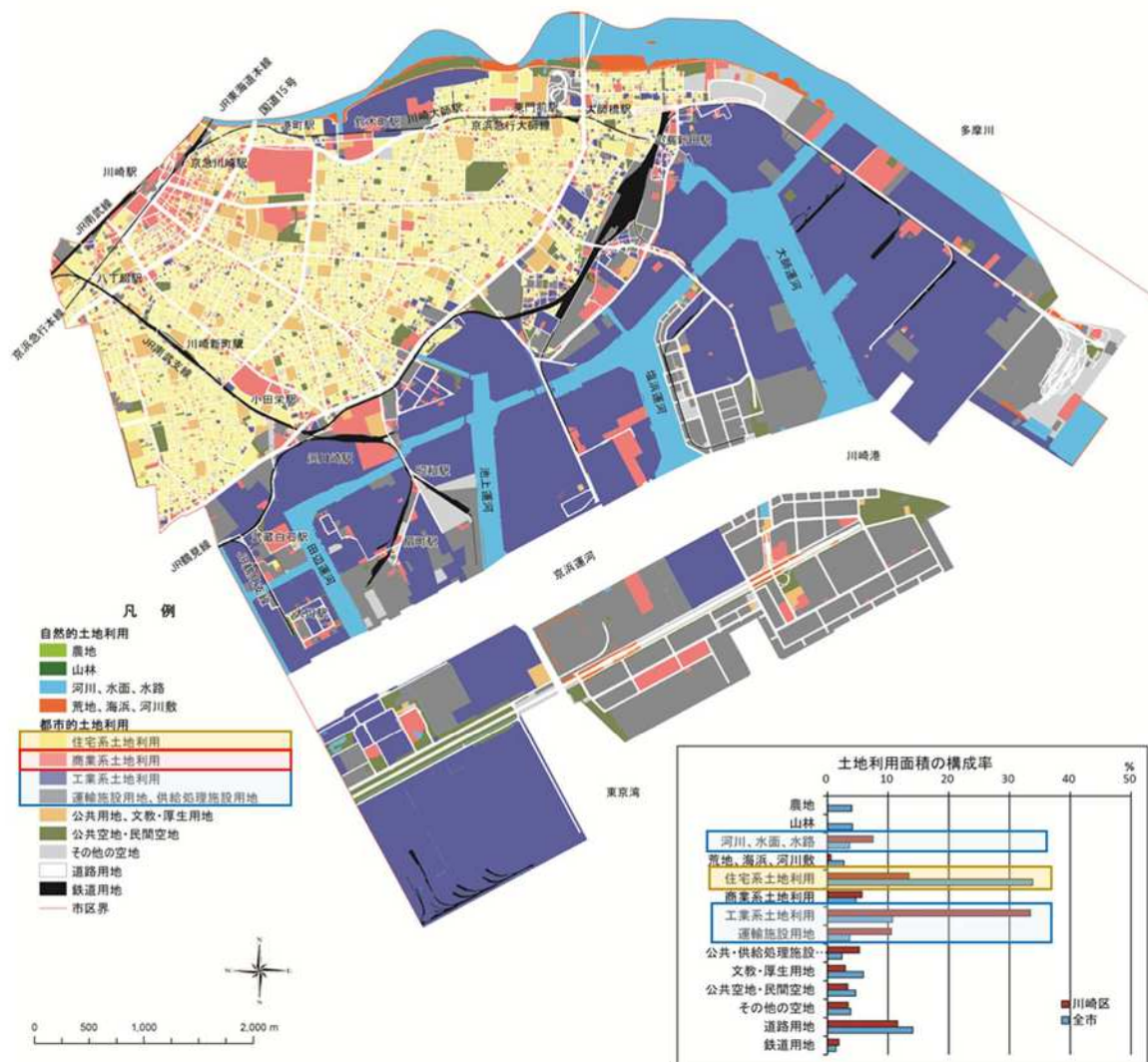
- ・川崎区は、本市の南東部に位置し、海側に開けた平たんな地形で、北側には東京都境となる多摩川が流れています。

モデル地域を含む各区の概況について

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

② 土地利用の特徴

- 川崎区の土地利用面積の構成をみると、全市平均と比べて**工業系土地利用**や**運輸施設用地**、**河川、水面、水路**などの割合が2倍以上となっており、区域の**30%以上が工業系土地利用**となっています。農地、山林はほとんど残っておらず、**住宅系土地利用の割合は全市平均よりも低い**状況です。
- 工業系土地利用**は、東京大師横浜線から南東の東京湾側に広がる臨海工業地帯と多摩川沿いの一部に集積しています。
- 商業系土地利用**は、JR東海道本線と国道15号の間の地域に集積しています。また、主要な道路沿道にも集積しています。
- 住宅系土地利用**は、国道15号と東京大師横浜線の間の地域に集積しています。



(参考) 川崎市都市計画マスタープラン川崎区構想 (令和3年8月改定版)

モデル地域を含む各区の概況について

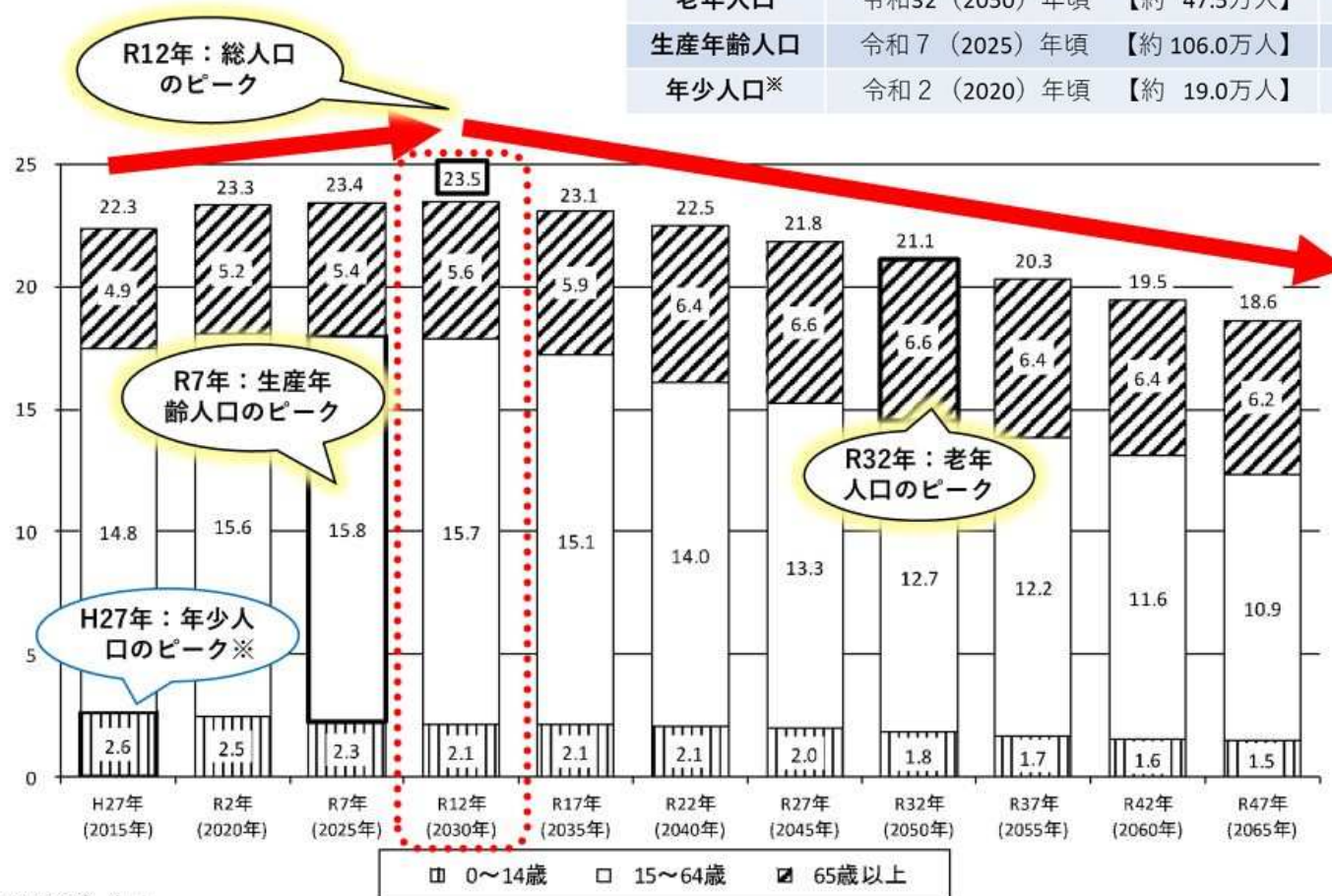
(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

③ 将来人口推計

- 川崎区の人口は**令和12（2030）年頃の約23.5万人をピーク**に、その後は減少過程への移行が想定されています。
- また、**市全体の推計と比べると、総人口、老年人口、生産年齢人口はピークが同じで、年少人口のピークが早い**のが特徴です。

項目	川崎市全体（【 】は人口）	川崎区
総人口	令和12（2030）年頃 【約 160.5万人】	令和12（2030）年頃
老年人口	令和32（2050）年頃 【約 47.5万人】	令和32（2050）年頃
生産年齢人口	令和 7（2025）年頃 【約 106.0万人】	令和 7（2025）年頃
年少人口※	令和 2（2020）年頃 【約 19.0万人】	平成27（2015）年頃

川崎区



※基準となる令和2（2020）年と
平成27（2015）年及び
推計期間の中での最大値

資料：令和4（2022）年2月川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

・町丁目別の15歳未満の人口割合を見ると、**富士見1・2丁目、大師河原・東門前**などでその**割合が高**くなっている一方で、**東田町や南町周辺**では**低い割合**となっています。



モデル地域を含む各区の概況について

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

⑤ 人口動態マップ（15～64歳）

- ・ 町丁目別の15～64歳の人口割合を見ると、駅前本町などの**川崎駅周辺**と**殿町3丁目**で割合が高くなっている一方で、**渡田新町・渡田4丁目**などでは**低い割合**となっています。

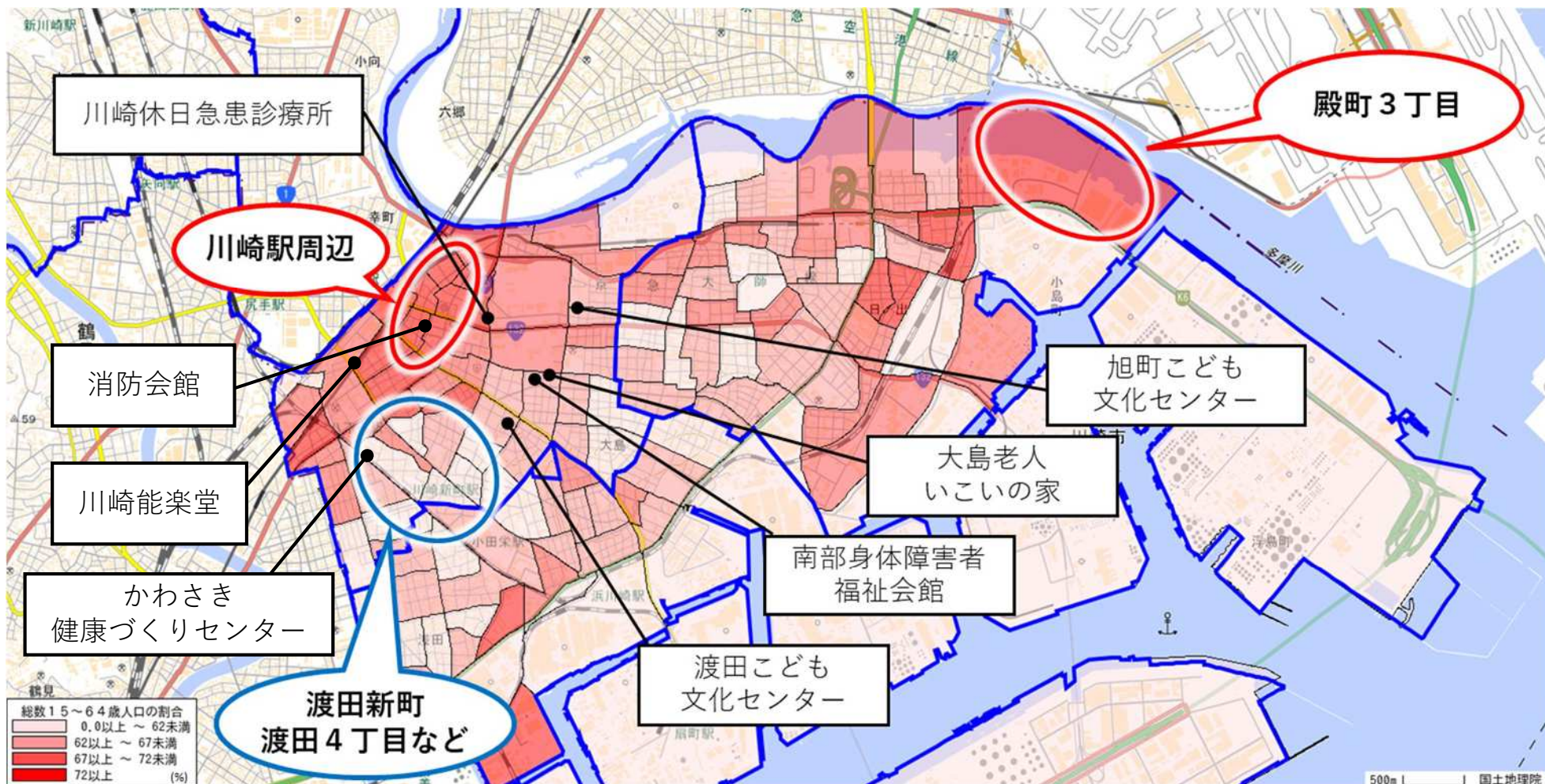


図 川崎区の町丁目別15～64歳の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

モデル地域を含む各区の概況について

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

⑥ 人口動態マップ（65歳以上）

- ・町丁目別の65歳以上の人口割合を見ると、**渡田新町・渡田、大島・桜本**周辺で**割合が高**くなっている一方で、**川崎駅周辺や富士見1丁目**では**低い割合**となっています。

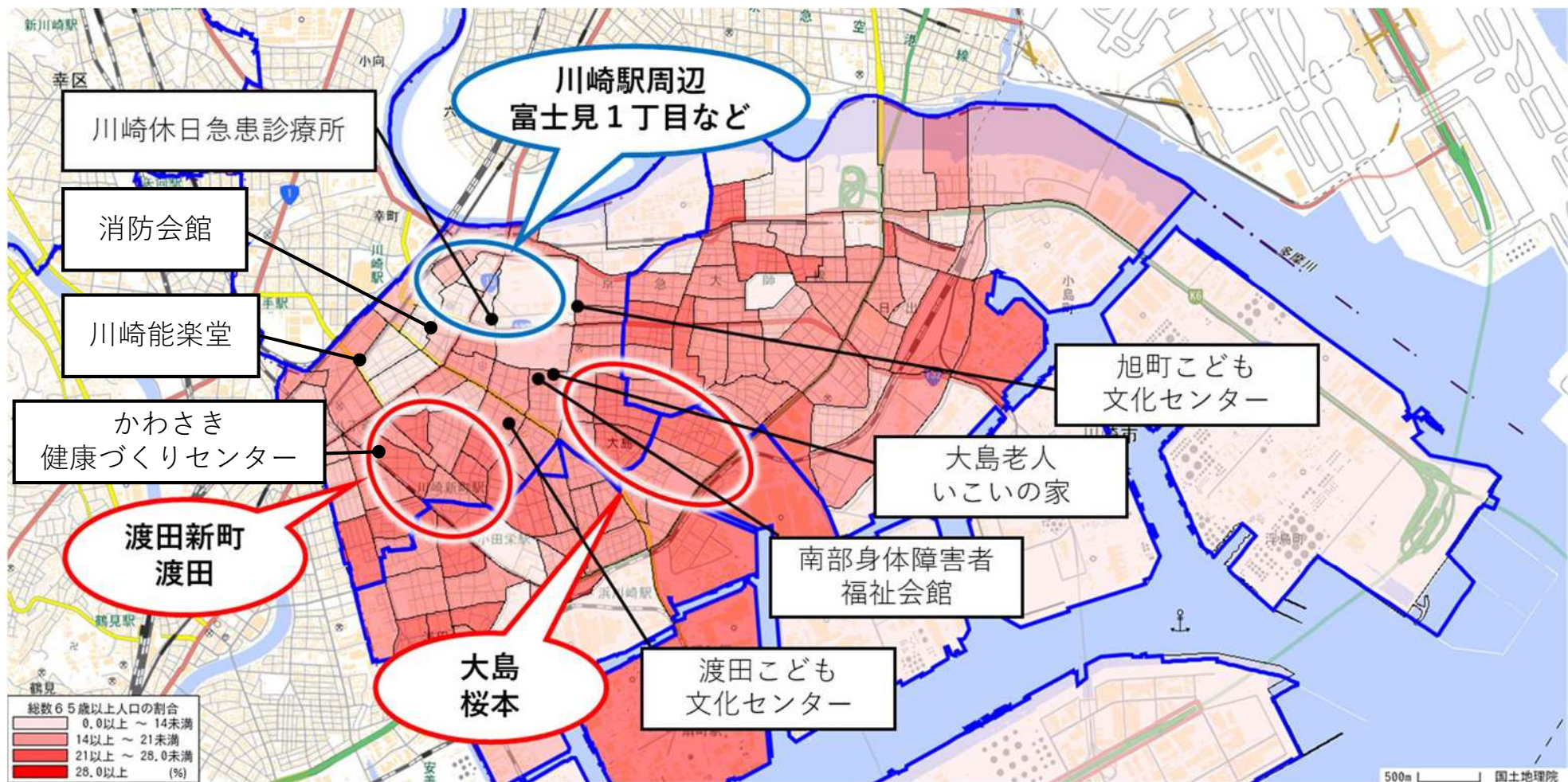


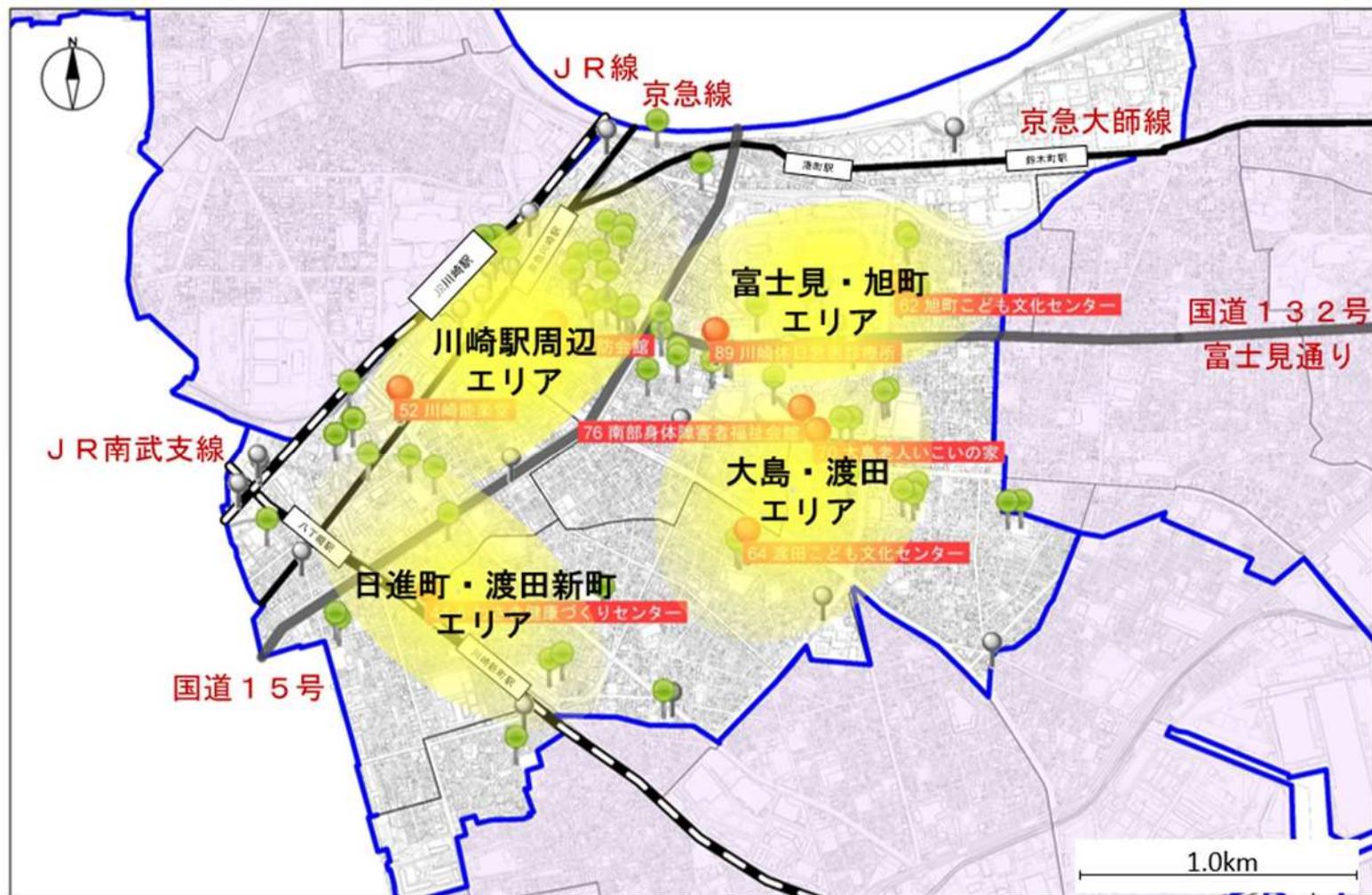
図 川崎区の町丁目別65歳以上の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

モデル地域ごとの結果概要

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

① 意見交換のテーマ及びエリア設定

起点施設について周辺地域の魅力的な将来像や、起点施設にあったらいいなと思う機能等について意見交換していただきました。
川崎区のモデル地域では、起点施設周辺の地形、鉄道・バス路線等を踏まえて4つのエリアを設定しました。



モデル地域ごとの結果概要

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

② 意見交換のまとめ

エリアごとの意見交換でいただいた主な意見・アイデアは以下のとおりです。

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

エリア名	起点施設	エリアの魅力的な将来像	あったらいいなと思う機能
ア 川崎駅周辺	・ 消防会館 ・ 川崎能楽堂	・ 駅前に <u>憩いの場</u> や面白い個店が増えて、昼でも夜でも皆が <u>安心</u> して遊びに来たくなるまち ・ 住む人も来る人もみんなが気持ち良く <u>安全安心</u> に過ごせるまち ・ だれもが <u>ほっとできる</u> 空間のあるまち ・ きれいなにぎわいのあるまち	・ 若い人に情報が入れば家族で行くようになるため、施設の情報を若い人に知ってもらうようにSNSで <u>情報発信</u> する ・ 子どもが利用しやすいような自習室、教室、図書館、塾などで使え、 <u>子ども食堂</u> や <u>寺子屋</u> を実施 ・ <u>災害用備蓄倉庫</u> として利用する ・ 様々なイベントやスクールなど、 <u>様々な使い方</u> ができ、 <u>川崎カルチャーの拠点</u> になる ・ 現状では <u>用途が限定</u> されておりもったいないため、 <u>機能を他に集約・移転</u> する ・ <u>東海道ルート</u> の <u>活性化</u> を！
イ 日進町・渡田新町	・ かわさき健康づくりセンター	・ 地域のなかに目的や <u>老若男女問わずに交流や助け合い</u> がうまれる場や環境があるまち ・ 子どもがのびのび遊べる公園があり、 <u>高齢者と子どもの交流</u> など住民のコミュニケーションが盛んで、公共交通が今より便利で、 <u>住民に防災意識がある</u> ・ 高齢者もおひとりさまも歓迎！ <u>世代を超えて人が集まる</u> 魅力的な場所がある	・ 鏡のある部屋を活用し、若者のダンス（例えばブレイキン）教室を実施するなど、カワサキ文化会館のような子どもや若者の <u>ダンス・スポーツの場</u> を提供 ・ <u>予約や登録の仕組みを見直し</u> 、気軽に初めての人も <u>使いやすく</u> 、個人利用しやすくする ・ <u>大人も子どもも</u> 利用できる自習室やコワーキングスペースがあるといい ・ ブレイキンやダンスなど、 <u>空き時間を有効活用</u> できると良い ・ <u>外国籍</u> の人も親子で学ぶことができ、 <u>多世代・多国籍</u> の方が <u>交流</u> できる場になるといい
ウ 富士見・旭町	・ 川崎休日急患診療所 ・ 旭町こども文化センター	・ <u>来街者・外国籍の方・新旧住民</u> <u>垣根なく交流</u> できるスクランブル交差点になり、 <u>文化・スポーツ・教育</u> の中心地へ ・ 地域住民の <u>交流</u> の場や行事があり、人と人をつなげるおせっかいチームがある	・ 1Fはカフェ、軽食を提供するなど、地域の方々がおしゃべりできるような <u>憩いの場</u> に ・ 平日には子どもに特化して <u>子育て相談</u> や小児科診療をする ・ 周りに病院がたくさんあることから、既存の <u>機能</u> は周辺の施設に <u>移転</u> させ、ここは <u>国際交流拠点</u> にする ・ <u>こどもと高齢者</u> 、 <u>外国籍の方</u> などの <u>交流</u> イベントをどんどん仕掛けていく
エ 大島・渡田	・ 大島老人いこいの家 ・ 南部身体障害者福祉会館 ・ 渡田こども文化センター	・ 地域の文化と資源を生かした <u>交流</u> が生まれるまち ・ <u>防災</u> とスポーツを結びつけて <u>安心安全</u> に暮らせる街	・ <u>対象年齢を緩和</u> して、こども文化センターといこいの家の <u>機能を結び</u> ・ こども文化センターといこいの家の <u>機能を結び子どもと高齢者の交流</u> を ・ 一般開放されるとイベントを行うなど、施設を知り障害者と対話できるきっかけをつくり、 <u>交流</u> の機会を増やす ・ 公共施設とスーパーなどの商業施設の <u>複合化</u>

主な意見・アイデアのキーワードとしては・・・

- ・ 将来像から見えてきた公共施設の機能や使い方等に関すること
 - ⇒ 「多世代交流」、「子育て支援の充実」、「文化・芸術活動」、「利用制限の見直し」、「使われていない時間帯の有効活用」、「入りづらい」、「知られていない」、「情報発信・PRが大事」、「機能集約や移転なども有効」、「安心安全」、「防災」、「国際交流」

モデル地域ごとの結果概要

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

③ エリアごとのまとめ

【ア 川崎駅周辺エリア】 起点施設：消防会館、川崎能楽堂

エリアの魅力的な将来像

- ・駅前に**憩いの場**や面白い個店が増えて、昼でも夜でも皆が**安心**して遊びに来たくなるまち
- ・住む人も来る人もみんなが気持ち良く**安全安心**に過ごせるまち
- ・だれもが**ほっとできる**空間のあるまち
- ・きれいなぎわいのあるまち

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○消防会館

- ・若い人に情報が入れば家族で行くようになるため、施設の情報を若い人に知ってもらうようにSNSで**情報発信**する
- ・子どもが利用しやすいような自習室、教室、図書館、塾などで使え、**子ども食堂**や**寺子屋**を実施
- ・近隣の相談センターなどの小さな**機能を集約**し、駅前の空いたスペースをフリースペースにして**有効活用**
- ・**災害用備蓄倉庫**として利用する
- ・**様々な機能**の文化センターのような**使い方**ができる

○川崎能楽堂

- ・**災害用備蓄倉庫**として利用する
- ・様々なイベントやスクールなど、**様々な使い方**ができ、**川崎カルチャーの拠点**になる
- ・防音を活かして様々な利用に開放する
- ・現状では**用途が限定**されておりもったいないため、**機能を他に集約・移転**する

○相手方施設

- ・川崎能楽堂の機能はカルッツかわさき（川崎市スポーツ・文化総合センター）に移転する

○特定の施設に限らない意見

- ・**東海道ルート**の**活性化**を！

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【ワークシート】



1グループ



2グループ



3グループ

【ワークシート】



1グループ



2グループ



3グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・川崎能楽堂は、周辺の改善と多様な使い方の検討を
- ・施設をもっと知ってもらう
- ・消防会館はもっと知られるようなサインやPRを
- ・施設をもっと上手に活用できるよう名前や活用方法の改善を

モデル地域ごとの結果概要

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

③ エリアごとのまとめ

【イ 日進町・渡田新町エリア】 起点施設：かわさき健康づくりセンター

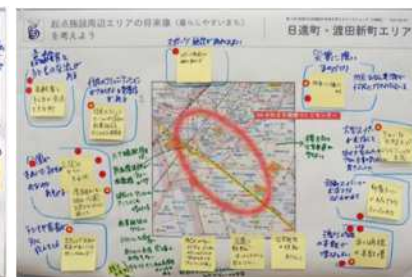
エリアの魅力的な将来像

- ・地域のなかに目的や**老若男女問わず**に**交流や助け合い**がうまれる場や環境があるまち
- ・子どもがのびのび遊べる公園があり、**高齢者と子どもの交流**など住民のコミュニケーションが盛んで、公共交通が今より便利で、**住民に防災意識がある**
- ・高齢者もおひとりさまも歓迎！**世代を超えて人が集まる**魅力的な場所がある

【ワークシート】



4グループ



5グループ



6グループ

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○かわさき健康づくりセンター

- ・鏡のある部屋を活用し、若者のダンス（例えばブレイキン）教室を実施するなど、カワサキ文化会館のような子どもや若者の**ダンス・スポーツの場**を提供
- ・**予約や登録の仕組みを見直し**、気軽に初めての人も**使いやすく**、個人利用しやすいとする
- ・ネーミングを変えた方が若い人が行きやすい
- ・**大人も子どもも**利用できる自習室やコワーキングスペースがあるといい
- ・ブレイキンやダンスなど、**空き時間を有効活用**できると良い
- ・**外国籍**の人も親子で学ぶことができ、**多世代・多国籍**の方が**交流**できる場になるといい
- ・新しいことに挑戦しやすい仲間づくりができる仕組みがある
- ・現状使っていない部屋がもったいないので**有効活用**する

○相手方施設

- ・小学校の教室や体育館を活用できると良い

○特定の施設に限らない意見

- ・カフェスペースの設置など、運動後にクールダウンできるカフェなどの場所があるといい

【ワークシート】



4グループ



5グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・かわさき健康づくりセンターは周辺がやや暗くて行きにくく、知らなかったため、せめて案内板の設置を
- ・世代を超えた交流にはイベントなどの運営も重要になる
- ・川崎市全体の広い視野でもっと特徴のある施設を設けても良い



6グループ

モデル地域ごとの結果概要

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

③ エリアごとのまとめ

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【ウ 富士見・旭町エリア】 起点施設：川崎休日急患診療所、旭町こども文化センター

エリアの魅力的な将来像

- ・来街者・外国籍の方・新旧住民 垣根なく交流できるスクランブル交差点になり、文化・スポーツ・教育の中心地へ
- ・地域住民の交流の場や行事があり、人と人をつなげるおせっかいチームがある

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○川崎休日急患診療所

- ・1Fはカフェ、軽食を提供するなど、地域の方々がおしゃべりできるような憩いの場に
- ・防災備品や備蓄の拠点
- ・大人も子どもも使える学習スペースを
- ・平日に高齢者向けの相談、健康セミナーで使えるようにするなど、交流できる施設にする
- ・平日には子どもに特化して子育て相談や小児科診療をする
- ・周りに病院がたくさんあることから、既存の機能は周辺の施設に移転させ、ここは国際交流拠点にする

○旭町こども文化センター

- ・キッチンを活用して料理教室や夏休みの子どもに給食サービスを提供する
- ・子どもと高齢者、外国籍の方などの交流イベントをどんどん仕掛けていく
- ・スペースが広いので、雨天や酷暑でも室内で思い切り体を動かせるスペースを

○相手方施設

- ・宮前小学校をこども文化センターのように使う

○特定の施設に限らない意見

- ・趣味、生活など意見交換できる交流の場がある

【ワークシート】



1グループ



2グループ

【ワークシート】



1グループ



2グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・競馬場は入ってみると遊具やBBQ 広場などもありこども連れで気やすいが、周りは危ない印象があるので、周りの道も歩きやすい雰囲気になると良い
- ・人と人をつなぐファシリテーター、おせっかいチームがあると良いという視点は大切だと感じた
- ・川崎休日急患診療所は観光客や海外の人も受け入れられる場所になると良い

モデル地域ごとの結果概要

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

③ エリアごとのまとめ

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【Ⅰ 大島・渡田エリア】 起点施設：大島老人いこいの家、南部身体障害者福祉会館、渡田こども文化センター

エリアの魅力的な将来像

- 地域の文化と資源を生かした**交流**が生まれるまち
- 防災**とスポーツを結びつけて**安心安全**に暮らせる街

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○大島老人いこいの家

- 対象年齢を緩和**して、こども文化センターといこいの家の**機能を結ぶ**
- こども文化センターといこいの家の**機能を結び子どもと高齢者の交流**を

○南部身体障害者福祉会館

- 一般開放されるイベントを行うなど、施設を知り障害者と対話できるきっかけをつくり、**交流**の機会を増やす

○渡田こども文化センター

- 対象年齢を緩和**して、こども文化センターといこいの家の**機能を結ぶ**
- 各施設をめぐるくなるスタンプカードをつくる！

○相手方施設

- 道路公園センターと連携し、公園の緑化活動（花を植えたりする）を学校の授業で行う

○特定の施設に限らない意見

- 公共施設とスーパーなどの商業施設の**複合化**

【ワークシート】



3グループ



4グループ

【ワークシート】



3グループ



4グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・富士見公園の連携に期待しつつ、こどもと高齢者がつながる場になってほしい
- ・老人いこいの家は入りにくい印象なのでふらっと集まれる場所になると良い
- ・「統合」された後の跡地の利用のされ方が気になる

モデル地域ごとの結果概要

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

④ 第5回のトークセッションでいただいた参加者からのコメント（一部抜粋）

● トーク1 公共施設を取り巻く現状を踏まえ、気づいたこと・感じたこと

- ・日中の高齢者が多い状況を見ると、公共施設で人が集う場所が改めて必要であると感じている。公共施設で高齢者と子育て中の方との交流などもあると良いと思う。
- ・かわさき健康づくりセンターを今まで知らなかったが、機能を知って、名前と実態（機能）のイメージがかけ離れていると思った。
- ・知らなかった公共施設を知った。使われていない公共施設が、有効活用されると良いと思った。これを機会に興味をもって図書館などの公共施設に行くようになった。

● トーク2 公共施設の今後を考える中で、気づいたこと・感じたこと

- ・第3回・第4回のワークショップにおいて、箱モノを作るのではなく、今ある大型スーパーに保育園や公共サービスを入れるという使い方のアイデアが印象に残った。今ある民間施設に入るという選択肢があるというアイデアを知れた。
- ・世代間交流があると良いという意見が出たが、施設の機能として多世代が使える、地域の人が使えるという利用者制限の変更だけでなく、それに伴うプログラムなどの運営も必要であり、周知の方法も同時に検討すべきで、どういう人が使うのかを把握してターゲットにあうメディアを選ぶことも大切。
- ・ハブになる人がいることで、多世代交流は広がるのではないかと思った。仕掛けを作らないと、自走するのは難しいと思う。
- ・施設がどこにあるか、何の施設かを知らないということを改めて感じた。施設の隣に住んでいても知らないことも。例えば、カルッツなどの利用が多い施設に利用が低い施設の告知を置くなど、ホームページなどはあると思うが、もうちょっとPRの手段を検討したら良い。その上で、利用者の少ない施設は機能集約や移転なども考える必要がある。
- ・運営する人・ハブになる人が大切だと思った。夜遅くまでやってほしいという意見があったが、運営してくれる人がいなければ成り立たない。運営する人がいれば安心になるので、より良い公共施設になると思う。

（２）幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

- ### ① 地形の特徴

-
- 標高
100m
10m
0m
- 鉄道
都市計画道路
主要一般道路
区界
町丁界
市街化調整区域
河川
- 0 1000 2000m
- JR南武線
多摩川
多摩川大橋
国道1号 (第二京浜)
国道409号 (府中街道)
幸区役所
河原町団地
JR川崎駅
- 矢上川
鶴見川
古市場
東古市場
小向東芝町
小向
小向西町
戸手
紺屋町
遠藤町
河原町
神明町
中幸町
幸町
堀川町
大宮町
柳町
- 矢上
鶴見
大宮
川崎
- JR南武線
JR南武線
JR南武線

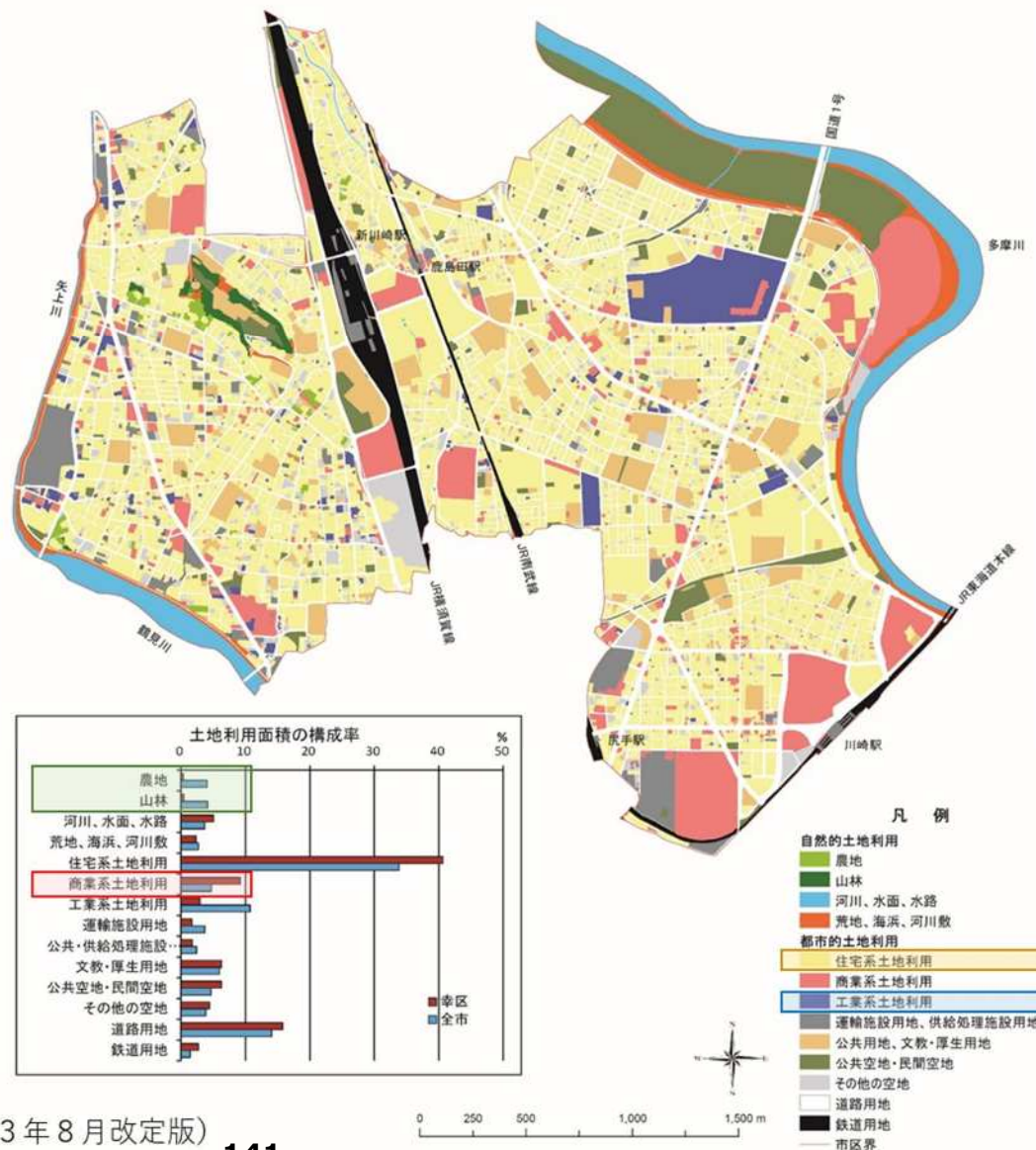
(参考) 川崎市都市計画マスタープラン幸区構想 (令和3年8月改定版)

モデル地域を含む各区の概況について

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

② 土地利用の特徴

- 幸区の土地利用面積の構成をみると、**全市平均と比べて農地や山林の割合が低く**、一方で、河川、水面、水路の割合が高い状況です。
- 川崎駅周辺への業務・商業機能の集積により**商業系土地利用の割合が全市平均に比べて高くなっています**。
また、鹿島田駅周辺及び幹線道路や地域商店街に沿って商業系土地利用が見られます。
- 国道1号（第二京浜）沿いの一部で、まとまった**工業系土地利用**が見られますが、**住宅系土地利用**と混在しています。



(参考) 川崎市都市計画マスタープラン幸区構想（令和3年8月改定版）

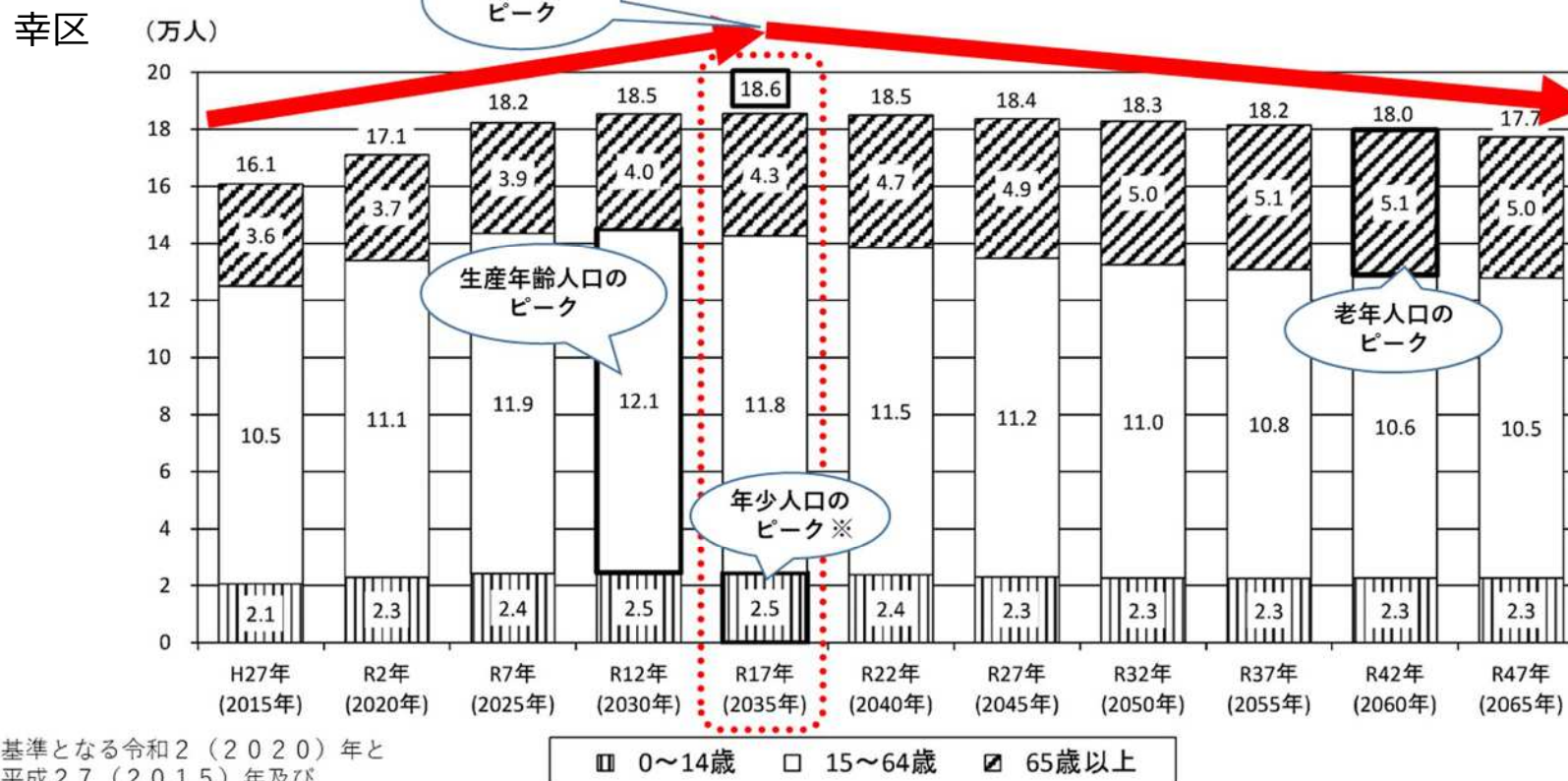
モデル地域を含む各区の概況について

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

③ 将来人口推計

- ・ 幸区の人口は**令和17（2035）年頃の約18.6万人をピーク**に、その後は減少過程への移行が想定されています。
- ・ また、**市全体の推計と比べると、総人口、老年人口、生産年齢人口、年少人口**の全ての項目において、**ピークが遅い**のが特徴です。

項目別 ピークの年代	川崎市全体（【 】は人口）	幸区
総人口	令和12（2030）年頃 【約 160.5万人】	令和17（2035）年頃
老年人口	令和32（2050）年頃 【約 47.5万人】	令和42（2060）年頃
生産年齢人口	令和 7（2025）年頃 【約 106.0万人】	令和12（2030）年頃
年少人口※	令和 2（2020）年頃 【約 19.0万人】	令和17（2035）年頃



※基準となる令和2（2020）年と
平成27（2015）年及び
推計期間の中での最大値

資料：令和4（2022）年2月川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）

モデル地域を含む各区の概況について

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

④ 人口動態マップ（15歳未満）

- ・ 町丁目別の15歳未満の人口割合を見ると、**川崎駅周辺**のほか、**戸手4丁目**、**戸手本町2丁目**などでその割合が高くなって
いる一方で、**河原町**や**南幸町周辺**では**低い割合**となっています。

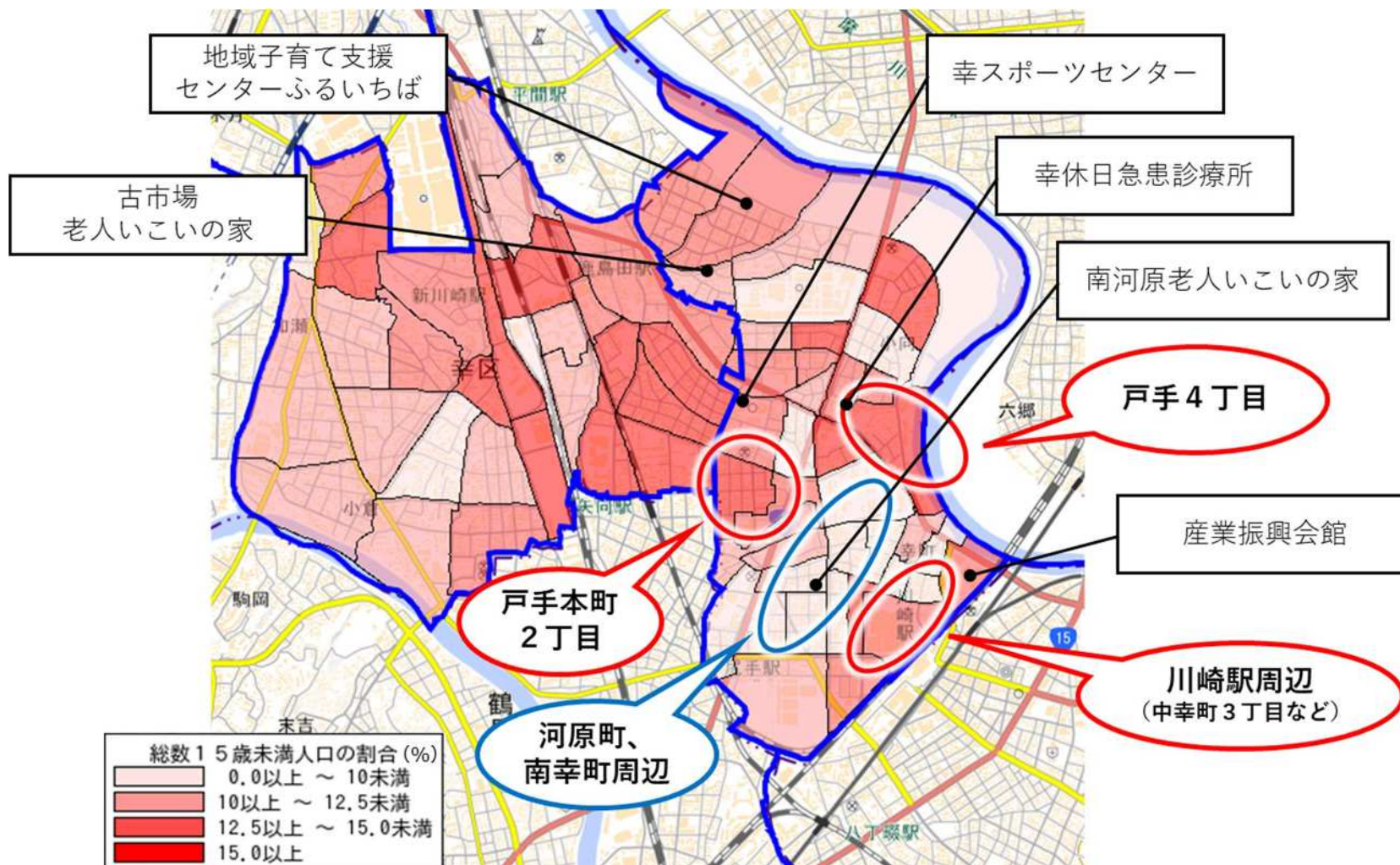


図 幸区の町丁目別15歳未満の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

モデル地域を含む各区の概況について

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

⑤ 人口動態マップ（15～64歳）

- ・町丁目別の15～64歳の人口割合を見ると、南幸町などの**川崎駅周辺**で**割合が高**くなっている一方で、**河原町**、**古市場**周辺では**低い割合**となっています。

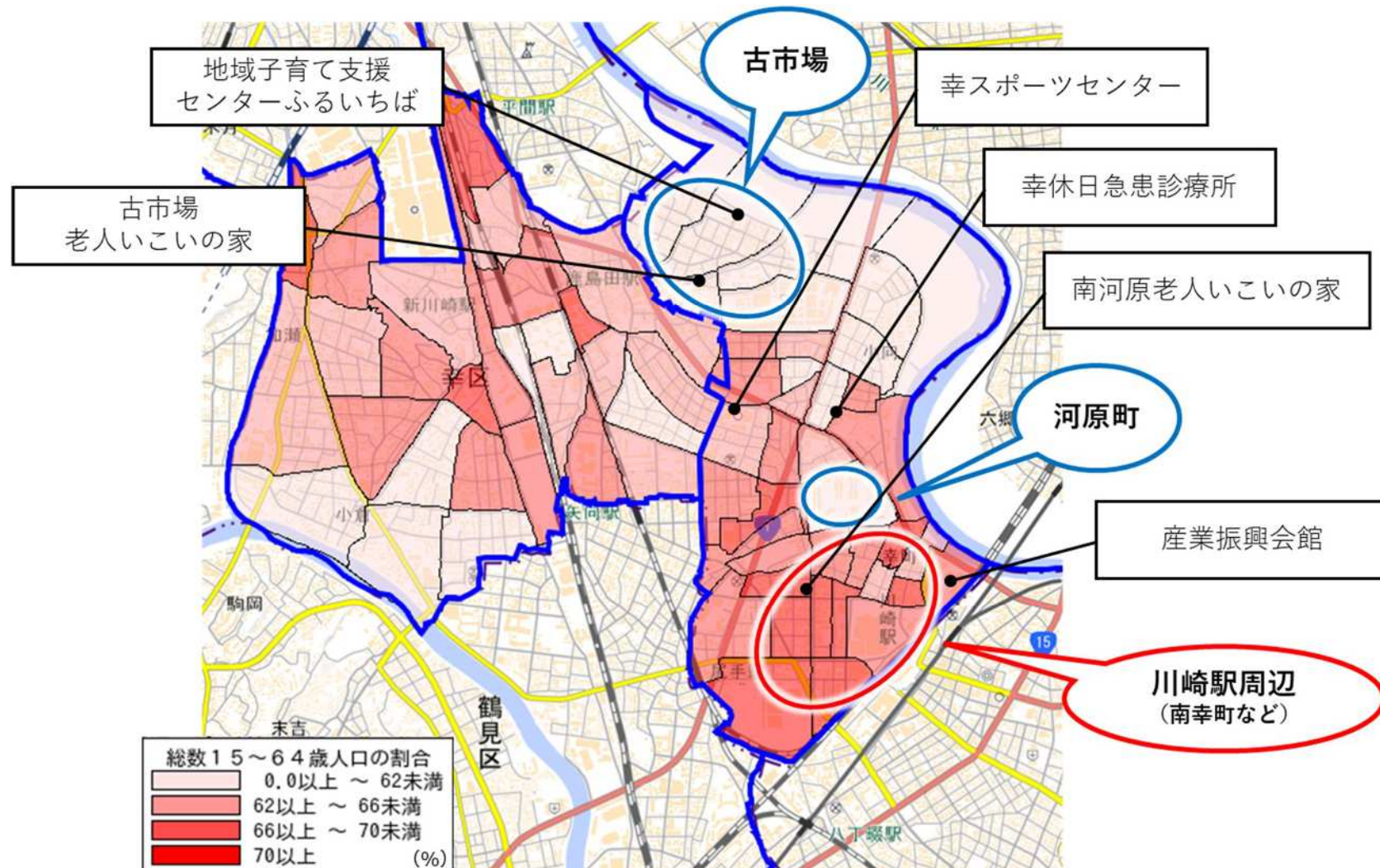


図 幸区の町丁目別15～64歳の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

モデル地域を含む各区の概況について

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

⑥ 人口動態マップ（65歳以上）

- ・ 町丁目別の65歳以上の人口割合を見ると、**河原町**、**古市場**周辺で割合が高くなっている一方で、**中幸町3丁目**周辺では低い割合となっています。

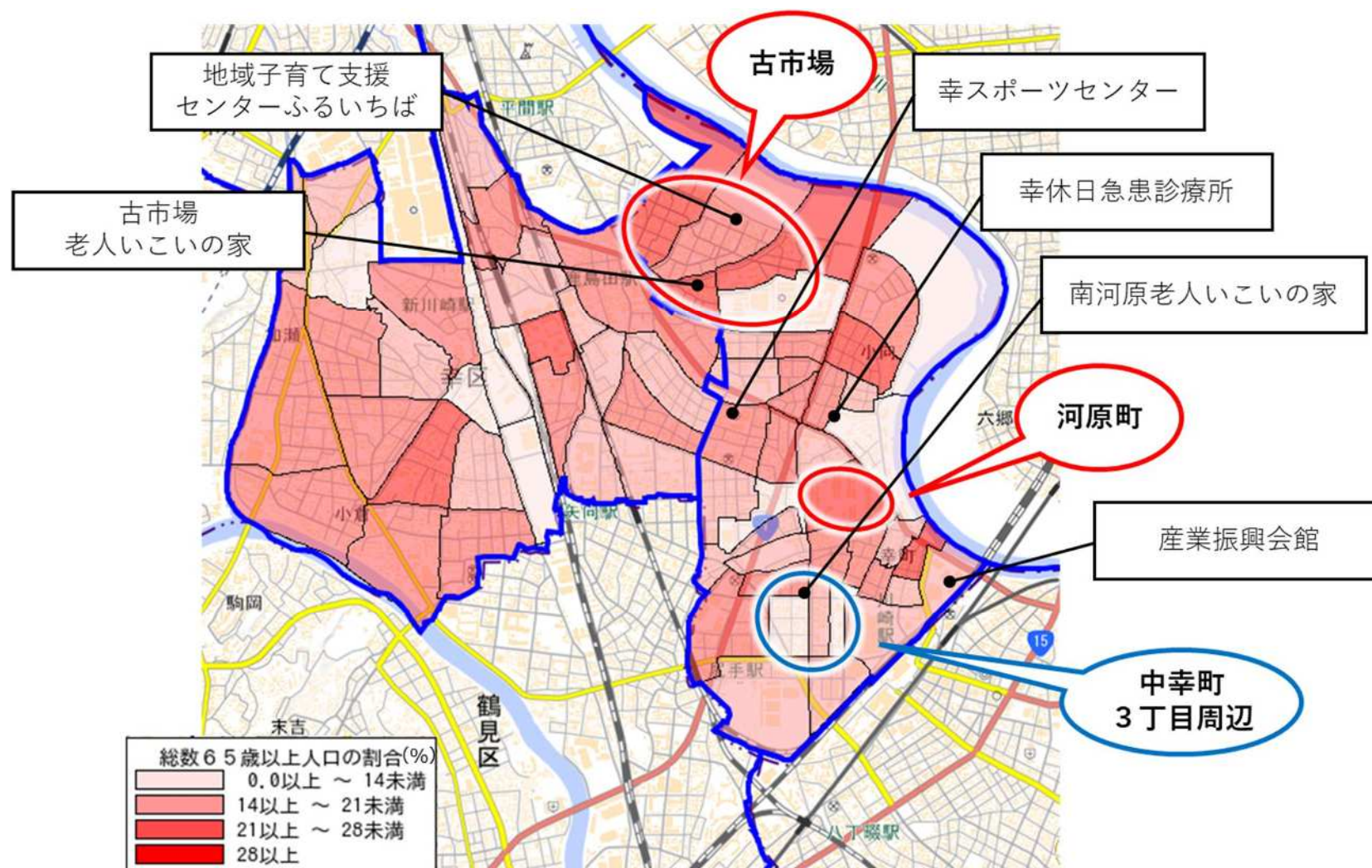


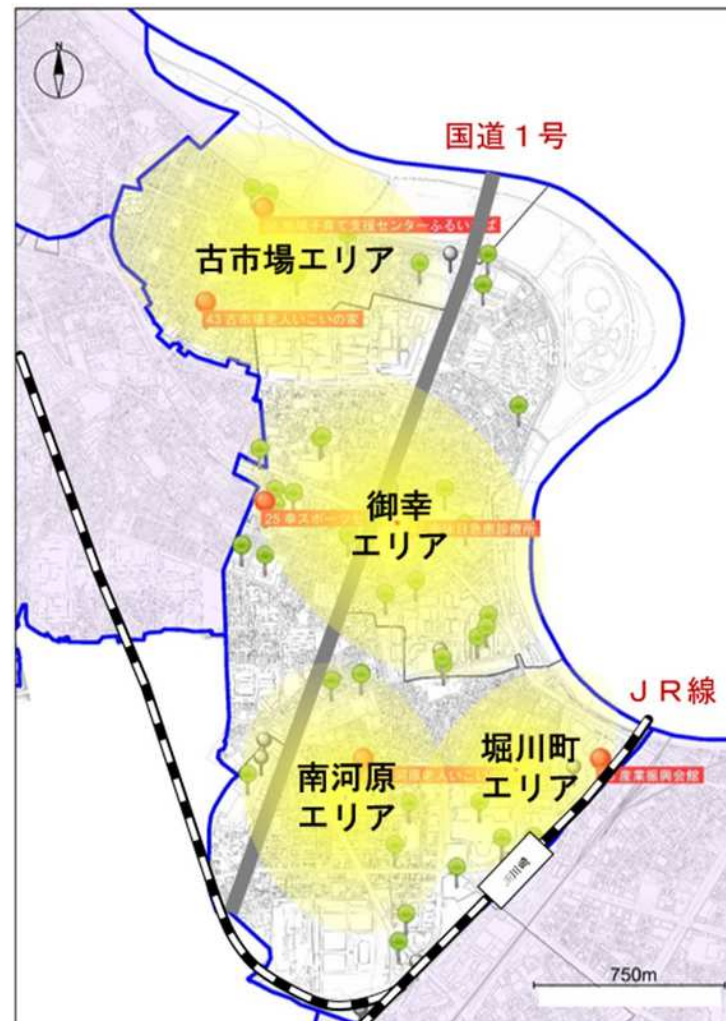
図 幸区の町丁目別65歳以上の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

モデル地域ごとの結果概要

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

① 意見交換のテーマ及びエリア設定

起点施設について周辺地域の**魅力的な将来像**や、**起点施設にあったらいいと思う機能等**について意見交換していただきました。
幸区のモデル地域では、起点施設周辺の地形、鉄道・バス路線等を踏まえて**4つのエリア**を設定しました。



モデル地域ごとの結果概要

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

② 意見交換のまとめ

エリアごとの意見交換でいただいた**主な意見・アイデア**は以下のとおりです。

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

エリア名	起点施設	エリアの魅力的な将来像	あったらいいなと思う機能
ア 堀川町	・産業振興会館	<ul style="list-style-type: none"> 図書館や教育施設・勤労者のための学びの場を充実させて、多世代が交流、融合するまち 一治水による安全確保と川という資源を有効活用 気軽に使いやすい、多世代が交流できる仕組み・しかけ等がある 川沿いエリアを、住んで楽しい 働いて楽しい 歩いて楽しいエリアに！ 	<ul style="list-style-type: none"> 老人も子どもも一緒に楽しみ交流ができるように、別々の施設（保育所、老人いこいの家、こども文化センターなど）を一緒（統合）にする セミナー等でも使える図書館スペースの設置 コワーキングスペースなどビジネスなどで使えるような、オシャレさ、便利さ、PRが大事 ビルのダウンサイジングや会議室をフリーレイアウトにするなど、使い方を見直す 多摩川に近い立地を活かして観光スポットとしても活用 夜間も使用でき、カルチャーセンターのように教室やトレーニングなどでも利用できる文化活動の拠点になる
イ 古市場	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援センターふるいちば 古市場老人いこいの家 	<ul style="list-style-type: none"> 世代を超えたコミュニケーションの充実により、まちの住環境が改善し、魅力が増していくまち のんびりと永く暮らすまち #孫と暮らす# おだやか 若い世代が30年後も住みたいと思えるような子育てできる生活しやすいまち 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人が利用できると顔が見える地域になり、安心・防犯にもつながるため、土日の開放や開館時間が増えると良い 多摩川に近い立地を活かして、世代を限定しないカフェ、軽食、多目的ルーム、リバースポーツなどの多機能な施設にしたい 企業とコラボしながら活用する 誰でも利用できて本を読めるなど利用制限を見直す 大企業のお祭りなど地域交流の働きかけをする
ウ 御幸	<ul style="list-style-type: none"> 幸スポーツセンター 幸休日急患診療所 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代が交流できる、エリア内で楽しめるまち 身近で行き来しやすい所に商業施設や娯楽施設、交流の場などのサービスがある 	<ul style="list-style-type: none"> マルシェ、フリーマーケット、飲食店、広いカフェスペースなど、スポーツをしない人も来やすい場所に、色々な人が交流できるようにする 団体利用だけではなく、体力づくりを目的に個人でも気軽に利用しやすい仕組みを導入する 使っていない時に、簡単な運動や食育・栄養サポートなどの健康管理支援や困りごとの解決の場として使う 公共施設利用の時間延長や、老若男女に関わらず利用可能な場所とするため、ニーズに合った公共施設の運用をする
エ 南河原	・南河原老人いこいの家	<ul style="list-style-type: none"> 南河原の特色を生かして朝から夜まで気軽に使える場が沢山あり、人々が共生できるまちになり、皆が永く住める街 多世代と多様な文化の人が交流できる 	<ul style="list-style-type: none"> 外観が一軒家であり入って良いのか分からない、入りづらいため、どの世代も入りやすい名前に変える 利用時間や利用対象を見直すことで、いつでも誰でも利用できる場所にする 子ども食堂として使えるようにする 日本語を学んで多様な文化の人が交流できる場があるといい

主な意見・アイデアのキーワードとしては・・・

・将来像から見えてきた公共施設の機能や使い方等に関すること

⇒ **「多世代交流」**、**「子育て支援の充実」**、**「文化・芸術活動」**、**「利用制限の見直し」**、**「使われていない時間帯の有効活用」**
「入りづらい」、**「知られていない」**、**「情報発信・PRが大事」**、**「機能集約や移転なども有効」**、**「企業との連携」**、**「多摩川を活用」**

モデル地域ごとの結果概要

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

③ エリアごとのまとめ

【ア 堀川町エリア】 起点施設：産業振興会館

エリアの魅力的な将来像

- 図書館や教育施設・勤労者のための学びの場を充実させて、**多世代が交流**、融合するまち
—治水による安全確保と**川という資源**を有効活用—
- 気軽に使いやすい、**多世代が交流**できる仕組・しかけ等がある
- 川沿いエリア**を、住んで楽しい 働いて楽しい 歩いて楽しいエリアに！

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○産業振興会館

- 老人も子どもも**一緒に楽しめ**交流**ができるように、別々の施設（保育所、老人いこいの家、こども文化センターなど）を**一緒（統合）**にする
- セミナー等でも使える**図書館**スペースの設置
- コワーキングスペースなど**ビジネス**などで使えるような、オシャレさ、便利さ、**PRが大事**
- ビルのダウンサイジングや会議室をフリーレイアウトにするなど、**使い方を見直す**
- 身近に感じることができる名前に！
- 多摩川**に近い立地を活かして**観光スポット**としても活用
- 夜間も使用でき、カルチャーセンターのように教室やトレーニングなどでも利用できる**文化活動の拠点**になる
- 地産地消マルシェ、おしゃれなカフェやレストランがあり、いざという時に避難所として安心できる

○相手方施設

- 近隣のいこいの家は行きづらく古いので、こども文化センターと併せて分館が産業振興会館にあると良い

○特定の施設に限らない意見

- 駐車場が足りないのでソリッドスクエアやラゾーナなどと連携

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【ワークシート】



1グループ



2グループ



3グループ

【ワークシート】



1グループ



2グループ



3グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- イベントや企業への貸出しなど、産業振興会館の活用の仕方を広げる
- 多摩川や周辺施設と連携した活用を
- 子育て中の親が集まる仕組を
- 身近に思えるような名前にしてPRを

モデル地域ごとの結果概要

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

③ エリアごとのまとめ

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【イ 古市場エリア】 起点施設：地域子育て支援センターふるいちば、古市場老人いこいの家

エリアの魅力的な将来像

- ・ **世代を超えた**コミュニケーションの充実により、まちの住環境が改善し、魅力が増していくまち
- ・ のんびりと永く暮らすまち # **孫と暮らす** # おだやか
- ・ 若い世代が30年後も住みたいと思えるような **子育て** できる生活しやすいまち

【ワークシート】



4 グループ



5 グループ



6 グループ

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○地域子育て支援センターふるいちば

- ・ 様々な人が利用できる顔が見える地域になり、安心・防犯にもつながるため、**土日の開放や開館時間が増える**と良い
- ・ **多摩川**に近い立地を活かして、**世代を限定しない**カフェ、軽食、多目的ルーム、リバースポーツなどの**多機能**な施設にしたい
- ・ **企業とコラボ**しながら活用する
- ・ 誰でも利用できて本を読めるなど**利用制限を見直す**

○古市場老人いこいの家

- ・ 日曜日も開放されるなど、**利用曜日や開館時間が増える**と良い
- ・ 誰でも文化センターのように使えるようにし、生鮮食品や日用品の買い物が出来たり、物品販売やカフェを設置するなど、**多世代**のいこいの場になるといい
- ・ 健康相談やトレーニングができるといい

○相手方施設

- ・ 多摩川管理事務所を立ち寄れる場所にする

○特定の施設に限らない意見

- ・ 施設の入口に利用案内などを掲示して**用途を明確**にする
- ・ **大企業**のお祭りなど地域交流の働きかけをする
- ・ **シニアと子ども**が物理的に近い場所で共存できると良い

【ワークシート】



4 グループ



5 グループ



6 グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・ 高齢者と子どもが一緒に使えるようになると良い
- ・ 公共施設に入りやすくするための工夫が必要である
- ・ 公共施設を宿泊施設として上手く活用する

モデル地域ごとの結果概要

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

③ エリアごとのまとめ

【ウ 御幸エリア】 起点施設：幸スポーツセンター、幸休日急患診療所

エリアの魅力的な将来像

- ・ **多世代が交流**できる、エリア内で楽しめるまち
- ・ 身近で行き来しやすい所に商業施設や娯楽施設、**交流**の場などのサービスがある

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○幸スポーツセンター

- ・ マルシェ、フリーマーケット、飲食店、広いカフェスペースなど、スポーツをしない人も来やすい場所にし、**色々な人が交流**できるようにする
- ・ 区民プールを設置して、区内小学生の水泳の授業に活用
- ・ 団体利用だけではなく、体力づくりを目的に個人でも**気軽に利用しやすい仕組み**を導入する
- ・ プロ選手から指導を受ける機会をつくる

○幸休日急患診療所

- ・ **使っていない時**に、簡単な運動や食育・栄養サポートなどの健康管理支援や困りごとの解決の場として使う
- ・ 医療専門機能に特化し、夜間や平日も診療できるようになるといい

○相手方施設

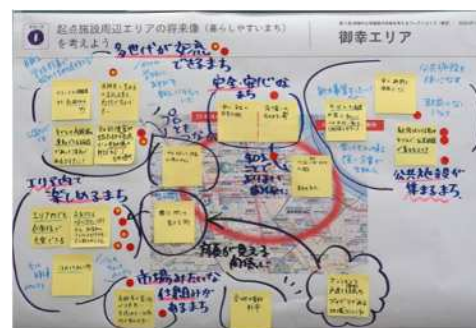
- ・ 幸休日急患診療所を区役所のエリアにある福祉パルさいわいなどに**機能移転**する

○特定の施設に限らない意見

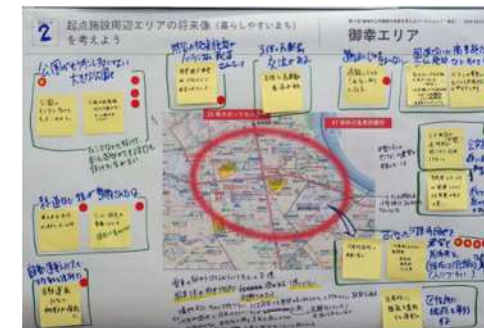
- ・ 公共施設利用の**時間延長**や、**老若男女に関わらず**利用可能な場所とするため、ニーズに合った公共施設の**運用**をする

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【ワークシート】



1グループ



2グループ

【ワークシート】



1グループ



2グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・ 幸スポーツセンターは民間のスポーツジムとの違いを出していく
- ・ カフェや飲食店にもスポーツセンターらしい特色を入れる
- ・ 体操教室や専門的な相談ができるように
- ・ 屋内プールを作って近隣の小学生が使えるように活用を

モデル地域ごとの結果概要

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

③ エリアごとのまとめ

【エ 南河原エリア】 起点施設：南河原老人いこいの家

エリアの魅力的な将来像

- ・南河原の特色を生かして朝から夜まで気軽に使える場が沢山あり、**人々が共生できるまち**になり、皆が永く住める街
- ・**多世代**と多様な文化の人が**交流**できる

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○南河原老人いこいの家

- ・**子どもも**ふらっと立ち寄れるよう、建てかえる際にはバリアフリーに！インクルーシブデザインを取り入れて
- ・外観が一軒家であり**入って良いのか分からない、入りづらい**ため、どの世代も入りやすい名前に変える
- ・**利用時間や利用対象を見直す**ことで、**いつでも誰でも**利用できる場所にする
- ・予約なしで気軽に利用できる場所に！
- ・**子ども食堂**として使えるようにする
- ・1階に子どもも遊べるスペースを

○相手方施設

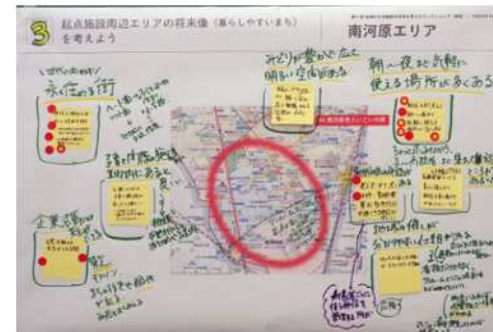
- ・**高齢者と子ども**の**交流**が生まれるため、公園内に立地する南河原こども文化センターの隣に移転する

○特定の施設に限らない意見

- ・日本語を学んで多様な文化の人が**交流**できる場があるといい

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【ワークシート】



3グループ



4グループ

【ワークシート】



3グループ



4グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・SDGs やフェアトレードのお店があることも発信する
- ・南河原老人いこいの家にランチサービスがあると良い

モデル地域ごとの結果概要

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

④ 第5回のトークセッションでいただいた参加者からのコメント（一部抜粋）

● トーク1 公共施設を取り巻く現状を踏まえ、気づいたこと・感じたこと

- ・今まで気にしていなかった老人いこいの家やこども文化センターの掲示板を見るなど、施設を立ち止まって見たりするようになった。
- ・あまり公共施設を知らない。産業振興会館が近いので、何度か使ったことがあり、それほどでは無いと感じていたが、話を聞くと老朽化していることが分かった。公共施設の数が多すぎるようにも感じた。人口が減る中で何とかしなくてはならないんだろうなと思った。
- ・ワークショップに参加して、地域の掲示板などに目を通すようになった。子供と一緒に参加できるイベントがあることも知れて、スポーツセンターのイベントにも参加した。意識が変わり、情報を知ることが出来るようになった。
- ・ワークショップに参加して一番変化したのが、掲示板を見るようになったこと。課題だと思うのは、紙の媒体がメインであるようだが、自分は普段は携帯などで情報を得ることが多いので、もっとデジタル媒体で発信してもらおう方が良いと思った。

● トーク2 公共施設の今後を考える中で、気づいたこと・感じたこと

- ・スポーツセンターの建替えの時にプールを作って近隣の小学生が授業を受けられるようにする、という案は良いと思った。民間と連携することでも、先生方の負担も減ると思う。
- ・公共施設の可能性について、これだけ多くの方が使い方を知らなかったということは、公共施設を必要とする機会が無かったのだと分かった。使われていない公共施設があることは可能性しか無いと思った。
- ・公共施設の可能性について、施設のネーミングを変えることで新たに生まれ変わるという意見があった。川崎の勢いがある感じで良い名前がつくとそれが起爆剤になるかもしれないと思った。
- ・高齢者目線で老人福祉センターやいこいの家について考えた。知られていないことに課題を感じた。かわさき福寿手帳交付と一緒に施設の案内があるなど、お知らせいただきたいと思った。
- ・みんなが使えるように建替えや名前の変更などをすると将来は良いと思うが、すぐには出来ないと思う。例えば、老人福祉センターなど、事務的な利用をしている1階部分について利用者に開放するなど、みんなが使えるようにできるところから始めることが大事。

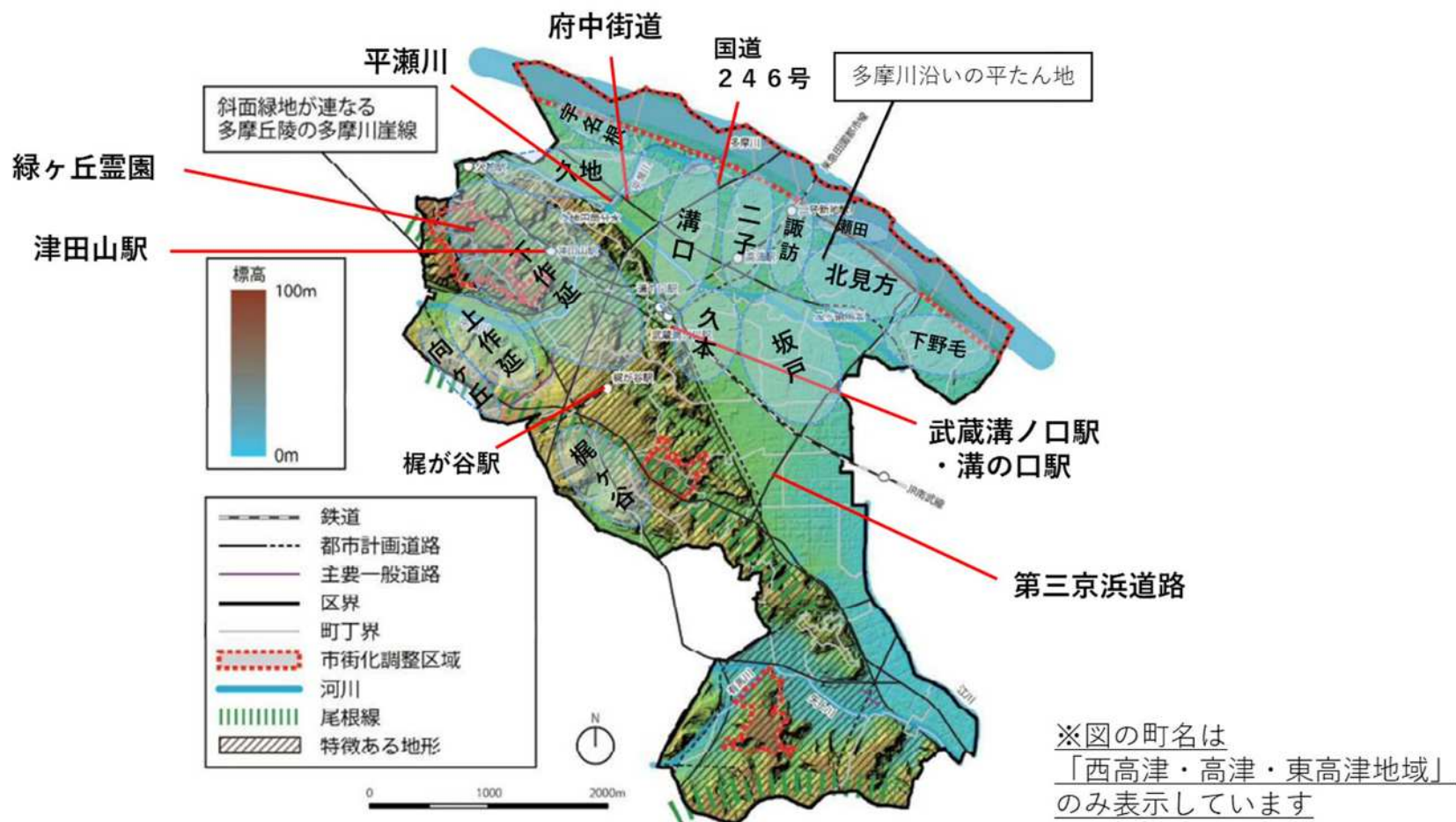
モデル地域を含む各区の概況について

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

- ワークショップでは、高津区の地形や土地利用の特徴、将来人口推計、人口動態について、以下の資料を使用しました。

① 地形の特徴

- ・ 高津区は本市のほぼ中央に位置し、多摩川や二ヶ領用水の流れる平たん地と、多摩丘陵の東端部にあたる丘陵地で形成され、豊かな水辺空間と起伏のある地形が特徴となっています。



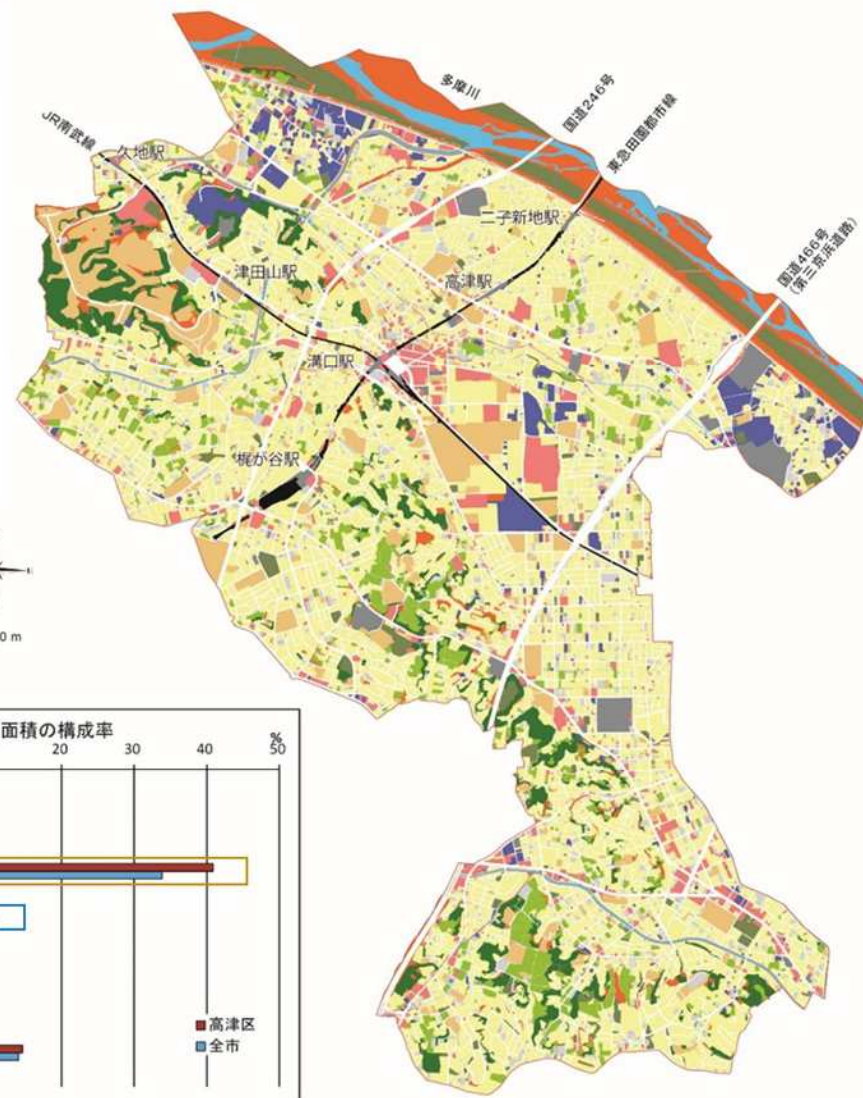
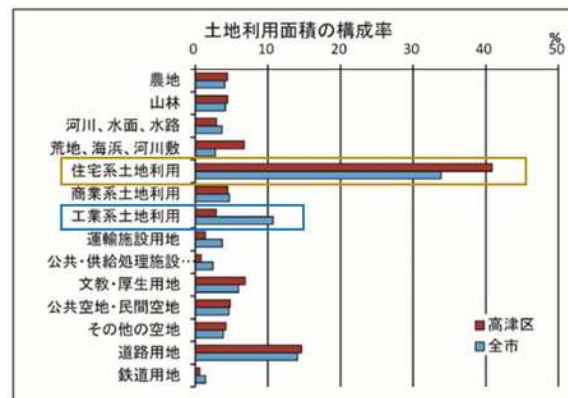
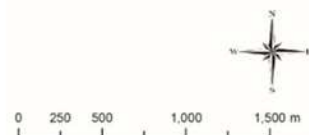
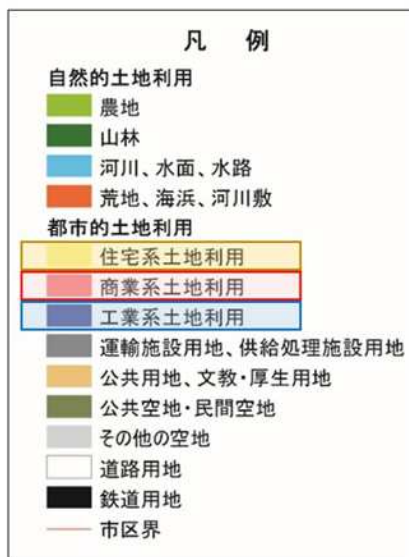
(参考) 川崎市都市計画マスタープラン高津区構想 (令和2年12月改定版)

モデル地域を含む各区の概況について

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

② 土地利用の特徴

- 高津区の土地利用面積の構成をみると、全市平均と比べて農地や山林の割合、商業系土地利用の割合ともに、全市平均とほぼ同程度であり、**住宅系土地利用の割合は高い**状況です。
- 工業系土地利用の割合は、川崎区、中原区に次いで3番目に高い水準です。**JR南武線沿線から多摩川沿いの一部で、まとまった**工業系土地利用**が見られますが、**住宅系土地利用と混在**しています。
- 溝口駅などの駅周辺、主要な幹線道路の沿道などに商業系土地利用の集積**が見られます。



(参考) 川崎市都市計画マスタープラン高津区構想 (令和2年12月改定版)

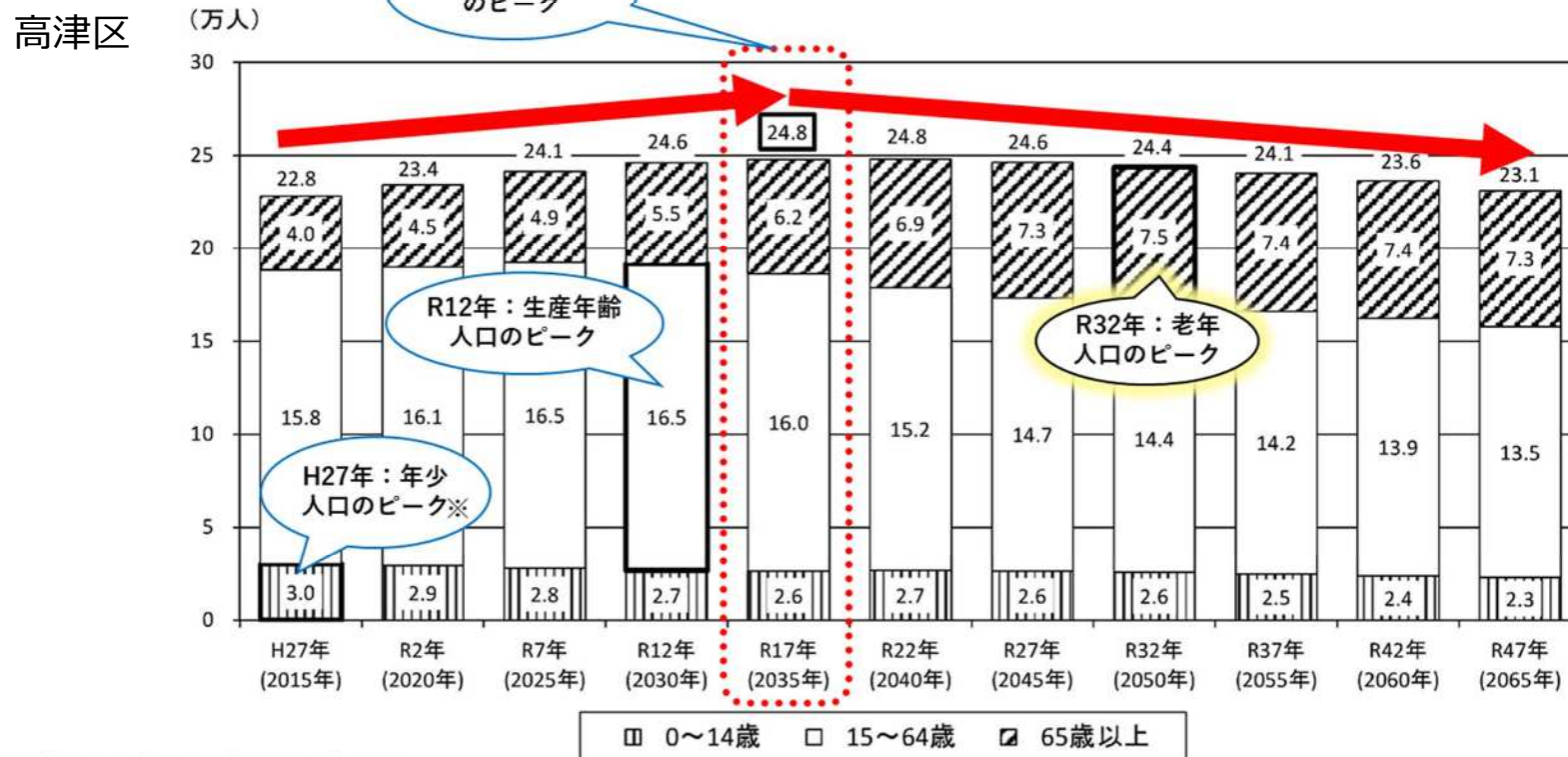
モデル地域を含む各区の概況について

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

③ 将来人口推計

- ・高津区の人口は**令和17（2035）年頃の約24.8万人をピーク**に、その後は減少過程への移行が想定されています。
- ・また、**市全体の推計と比べると、老年人口はピークが同じで、年少人口のピークが早い**こと、**総人口、生産年齢人口のピークが遅い**ことが特徴です。

項目	川崎市全体（【 】は人口）	高津区
総人口	令和12（2030）年頃 【約 160.5万人】	令和17（2035）年頃
老年人口	令和32（2050）年頃 【約 47.5万人】	令和32（2050）年頃
生産年齢人口	令和 7（2025）年頃 【約 106.0万人】	令和 12（2030）年頃
年少人口※	令和 2（2020）年頃 【約 19.0万人】	平成27（2015）年頃



※基準となる令和2（2020）年と
平成27（2015）年及び
推計期間の中での最大値

資料：令和4（2022）年2月川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）

モデル地域を含む各区の概況について

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

④ 人口動態マップ（15歳未満）

・町丁目別の15歳未満の人口割合を見ると、**宇奈根、久地**でその**割合が高**くなっています。

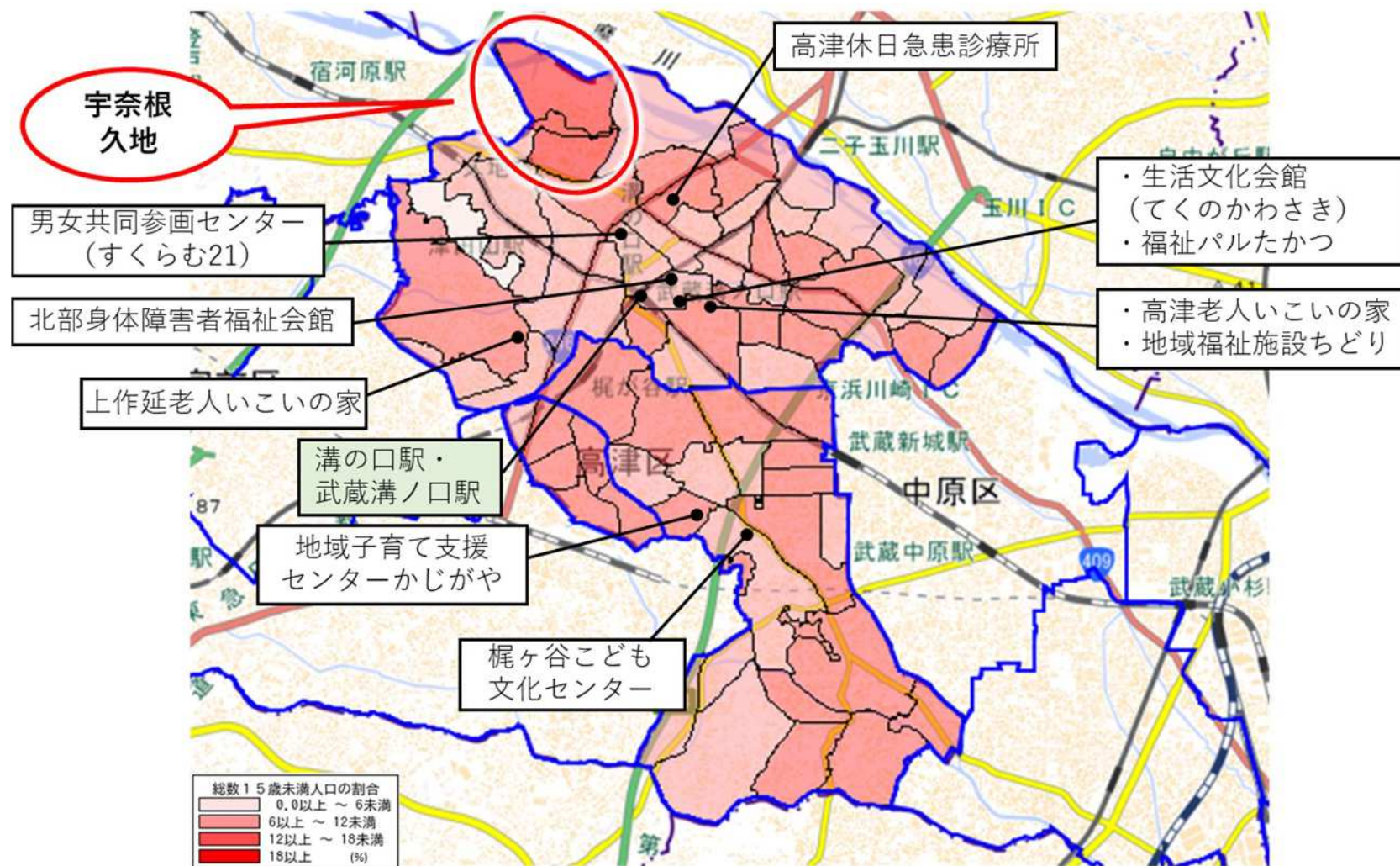


図 高津区の町丁目別15歳未満の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

モデル地域を含む各区の概況について

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

⑤ 人口動態マップ（15～64歳）

- ・町丁目別の15～64歳の人口割合を見ると、**溝口1～5丁目、二子4・5丁目などで割合が高くなっている一方で、新作3丁目、千年、久末、子母口などでは低い割合**となっています。

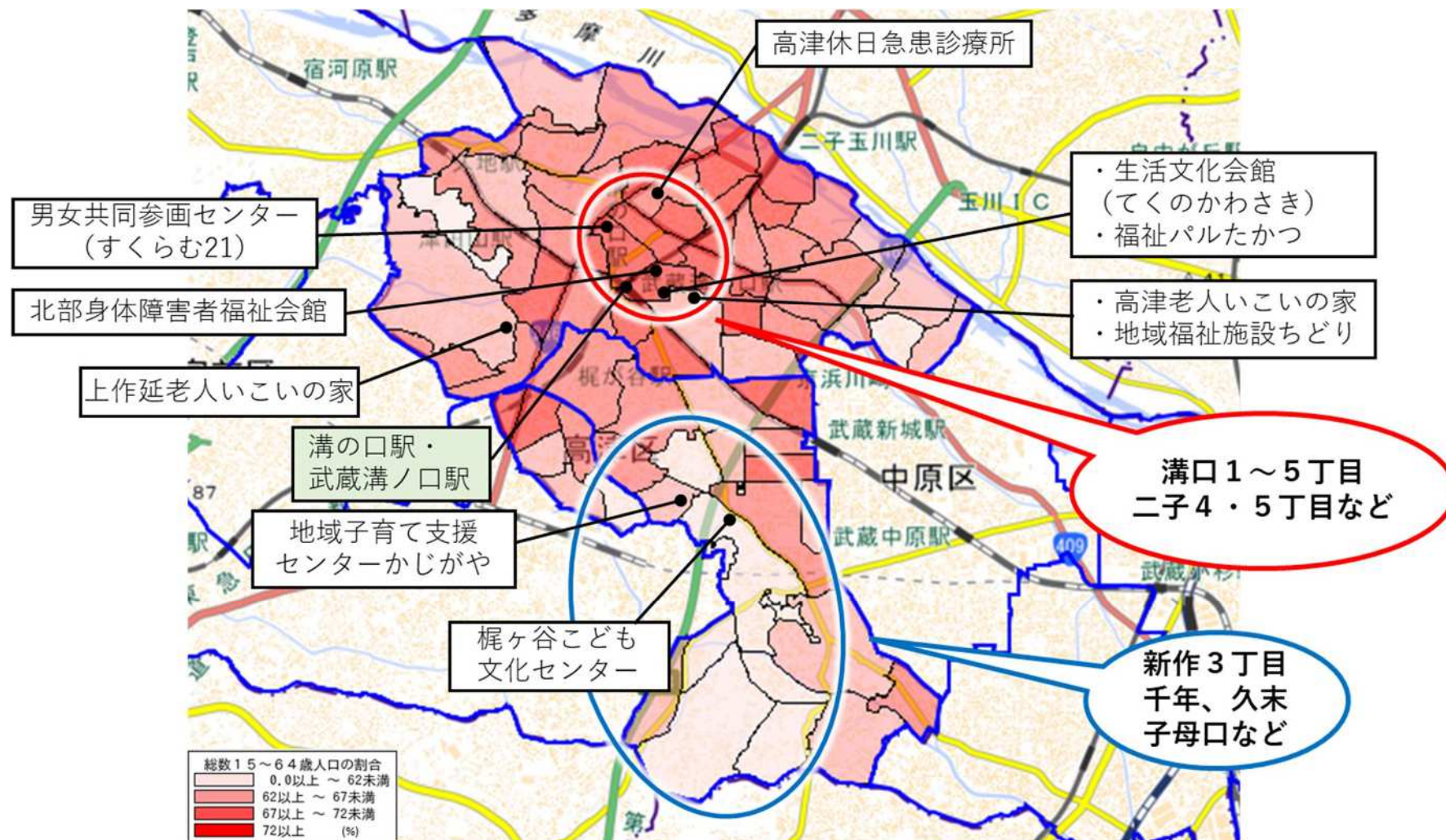


図 高津区の町丁目別15～64歳の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

モデル地域を含む各区の概況について

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

⑥ 人口動態マップ（65歳以上）

- ・町丁目別の65歳以上の人口割合を見ると、**下野毛1・2丁目**や**新作3丁目**、**千年**、**久末**などで**割合が高**くなっている一方で、**溝口1～5丁目**、**二子4・5丁目**などでは**低い割合**となっています。

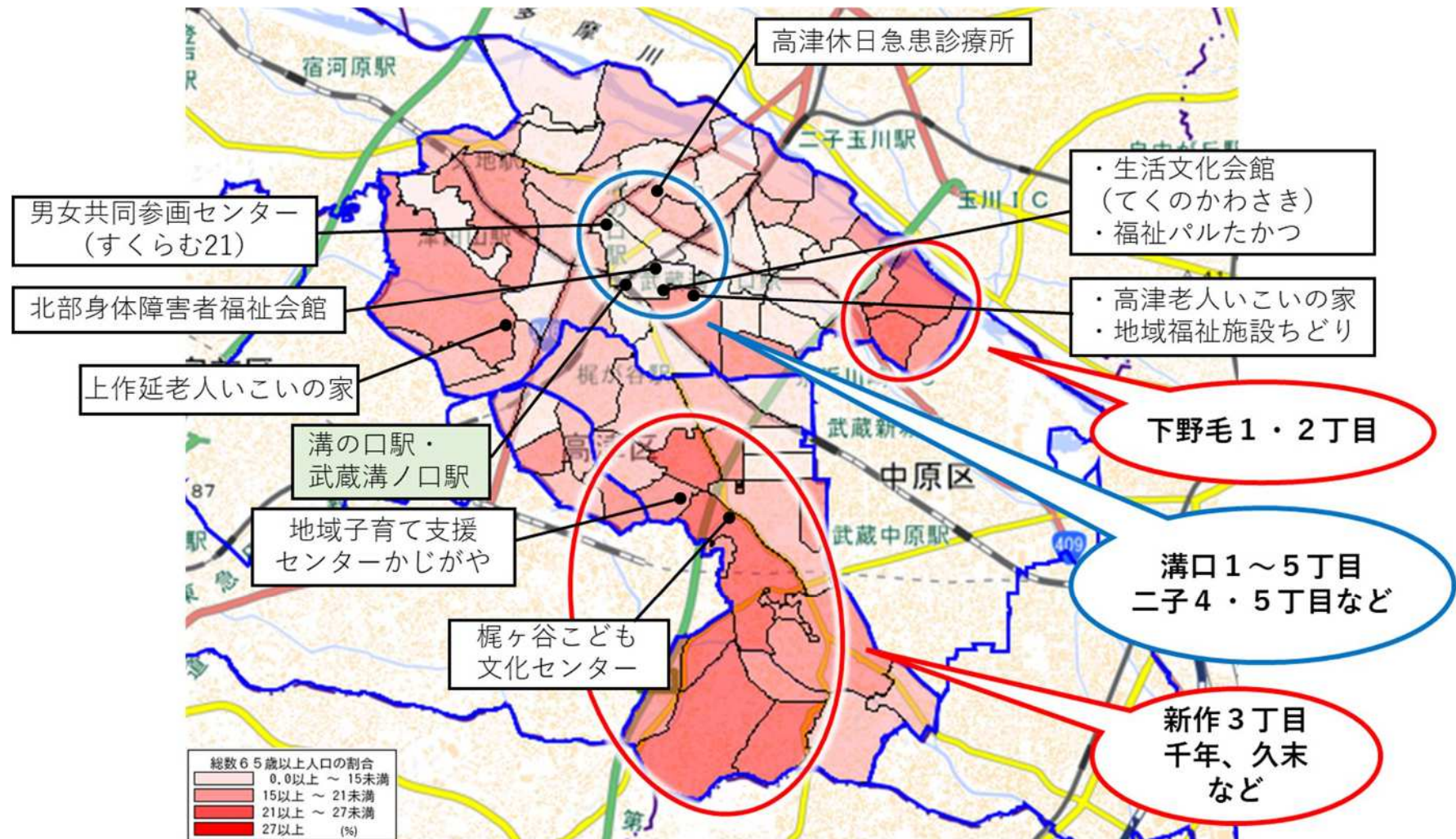


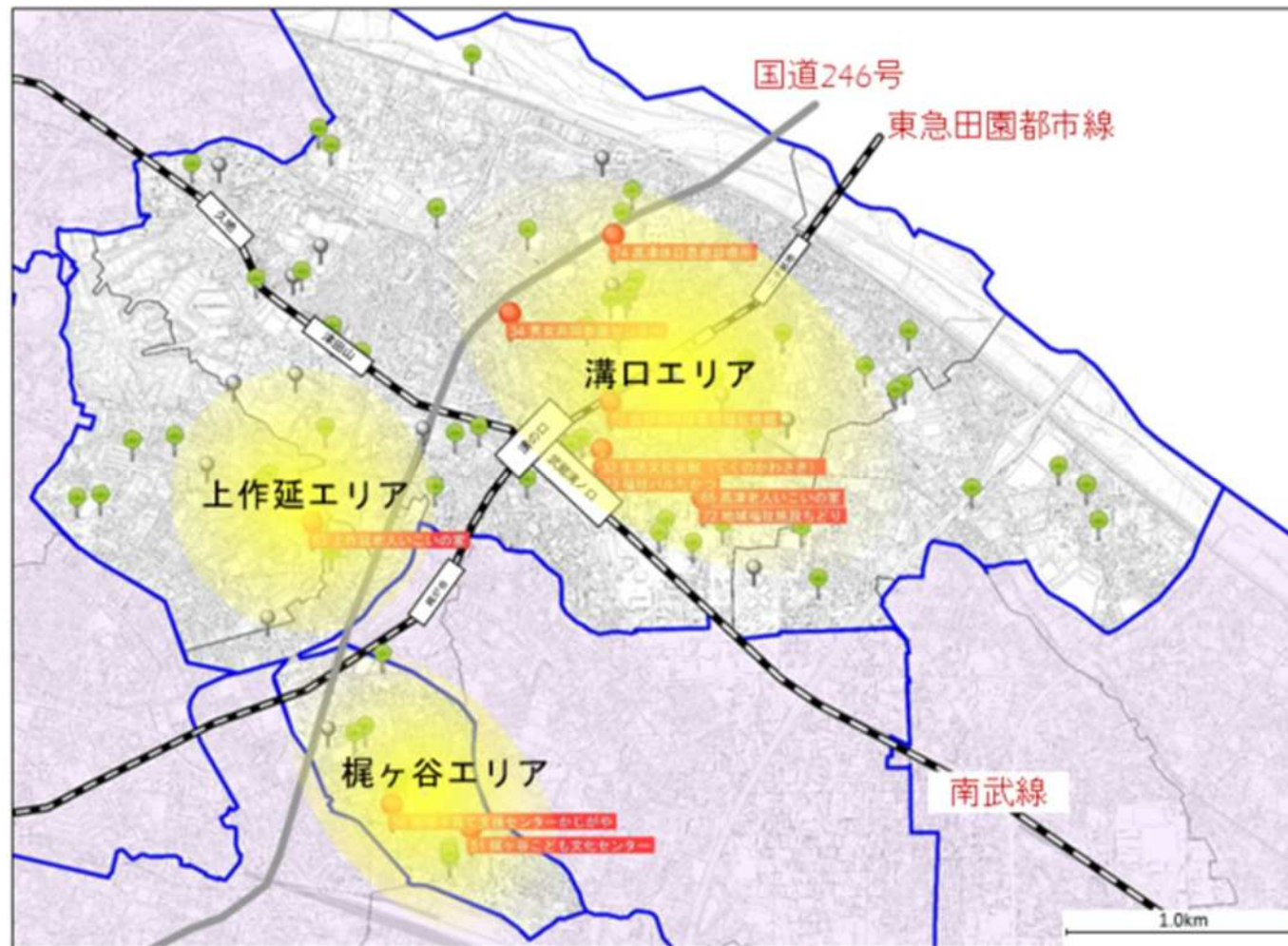
図 高津区の町丁目別65歳以上の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

モデル地域ごとの結果概要

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

① 意見交換のテーマ及びエリア設定

起点施設について周辺地域の魅力的な将来像や、**起点施設にあったらいいと思う機能等**について意見交換していただきました。
高津区のモデル地域では、起点施設周辺の地形、鉄道・バス路線等を踏まえて**3つのエリア**を設定しました。



モデル地域ごとの結果概要

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

② 意見交換のまとめ

エリアごとの意見交換でいただいた**主な意見・アイデア**は以下のとおりです。

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

エリア名	起点施設	エリアの魅力的な将来像	あったらいいなと思う機能
ア 上作延	・上作延老人いこいの家	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて楽しめる街 #起点施設と地域とのつながり ・集える #歩道広く ・子どもと高齢者がイキイキ暮らせるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂 + 料理教室で仕事と学びの機会を ・地域で採れた野菜を集めて販売したり、畑で子どもたちと野菜を育ててコミュニケーションを図る ・多世代が利用できるように、健康づくりができたり、地域の人が集えるカフェがあったり、貸しスペースで個人の展示などができるといい ・災害拠点の小学校からも距離があることから、地震、台風等の防災拠点としての機能があると良い ・合築の上作延こども文化センターにて、お年寄りが先生となって子供達が学べる寺子屋を主催する ・オープンカフェなど施設の外側に誰でも集える場をつくり発信の場にする
イ 梶ヶ谷	<ul style="list-style-type: none"> ・梶ヶ谷こども文化センター ・地域子育て支援センター ・かじがや 	<ul style="list-style-type: none"> ・坂があっても、多世代が集まり、子育てしやすく、子どもが自然にふれあえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の名前を変えて、子ども以外の世代も誰でも使えるようにする ・駅から遠い場所のため、学校の時間など、日中に使っていないスペースをテレワークスペースして活用する ・防災施設として災害用の備蓄品をストックする ・JAと連携して野菜等を販売できる場所に ・子育てに限らず、健康・行政・法律などよろず相談や交流ができる ・タイムシェアで子育て世代は平日、シニア世代は休日使える場所にする
ウ 溝口	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター（すくらむ21） ・北部身体障害者福祉会館 ・高津休日急患診療所 	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域からも来たくくなるような場がある、文化的な財産を活かしたまち ・多世代が交流できルールが守られ地域イベントが充実、人にやさしく、自転車ルールが守られ災害時も避難しやすい、安全に歩けるインフラが整備されたまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・二ヶ領用水などの緑道や、大山街道の歴史と文化を活用して人が集まる機能がある ・市民館と機能が似ているため統合してはどうか ・二ヶ領用水の情報発信拠点とし、小学校などのプログラムと連携 ・機能を他の施設の空いているところに移転 ・時間外の使っていない時間帯をテレワーク出来るワークスペースに ・公共施設の大半は避難所として使えるようになると良い
エ 溝口	<ul style="list-style-type: none"> ・生活文化会館（てくのかわさき） ・福祉パルたかつ ・高津老人いこいの家 ・地域福祉施設ちどり 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年代が好きな過ごし方ができて、その場所に安全に移動ができるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・高津図書館の分館、ダンスや音楽のスタジオなど、誰でも利用できる文化拠点にする ・子どもが仕事体験（職人との交流等）できる場に ・学校と連携して、授業などで子どもが訪れて技術にふれるチャンスにする ・保育や勉強スペースを増やすなど、多世代交流もできる、中高生の居場所を増やす

主な意見・アイデアのキーワードとしては・・・

・将来像から見えてきた公共施設の機能や使い方等に関すること

⇒ **「多世代交流」**、**「子育て支援の充実」**、**「文化・芸術活動」**、**「利用制限の見直し」**、**「使われていない時間帯の有効活用」**
「入りづらい」、**「知られていない」**、**「情報発信・PRが大事」**、**「機能集約や移転なども有効」**、**「防災」**、**「農や自然」**

モデル地域ごとの結果概要

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

③ エリアごとのまとめ

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【ア 上作延エリア】 起点施設：上作延老人いこいの家

エリアの魅力的な将来像

- ・坂道（お店があったり、景色を楽しめる！）を楽しむ 健康寿命UP!
- ・歩いて楽しめる街
#起点施設と地域とのつながり# **集える** #歩道広く
- ・**子どもと高齢者**がイキイキ暮らせるまち

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○上作延老人いこいの家

- ・**こども食堂** + 料理教室で**仕事と学びの機会**を
- ・合築しているこども文化センターとの連携
- ・**地域で採れた野菜**を集めて販売したり、畑で子どもたちと野菜を育ててコミュニケーションを図る
- ・ニーズにあわせて和室を変更する
- ・**多世代**が利用できるように、健康づくりができたり、地域の人**集える**カフェがあったり、貸しスペースで個人の展示などができるといい
- ・災害拠点の小学校からも距離があることから、地震、台風等の**防災拠点**としての機能があると良い

○相手方施設

- ・合築の上作延こども文化センターにて、お年寄りが先生となって子供達が学べる**寺子屋**を主催する

○特定の施設に限らない意見

- ・「上作延レストラン」で**地元農産物**を使った名物料理の提供など、行きたくなる・帰ってきたくなる場所をつくる
- ・オープンカフェなど施設の外側に**誰でも集える**場をつくり**発信の場**にする
- ・日替わりで野菜や手作り品、ワークショップなどができるスペース

【ワークシート】



1グループ



2グループ



3グループ

【ワークシート】



1グループ



2グループ



3グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・働く人向けに仕事ができる環境があると良い
- ・夜防災キャンプのアイデアいいね!
- ・食育などの体験型で農家とコラボ、地元農家でとれたレストランももっと増えると良い

モデル地域ごとの結果概要

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

③ エリアごとのまとめ

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【イ 梶ヶ谷エリア】 起点施設：梶ヶ谷こども文化センター、地域子育て支援センターかじがや

エリアの魅力的な将来像

- ・高齢者や障がい者にとって利便性があり移動しやすいまちに
- ・坂があっても、**多世代**が集まり、**子育て**しやすく、子どもが**自然**にふれあえる
- ・坂が多くて移動が大変なので、家以外の近所の場所でもテレワークやゆったりとした過ごし方、アクティブな過ごし方、買い物など、快適に過ごせるまち

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○梶ヶ谷こども文化センター

- ・子どもの数が減るので高齢者向けの施設として再編
- ・施設の名前を変えて、**子ども以外の世代も誰でも使える**ようにする
- ・駅から遠い場所のため、学校の時間など、**日中に使っていないスペース**をテレワークスペースとして活用する
- ・防災施設として**災害用の備蓄品**をストックする

○地域子育て支援センターかじがや

- ・**JAと連携**して野菜等を販売できる場所に
- ・**子育て**に限らず、健康・行政・法律などよろず相談や**交流**ができる
- ・カフェなどのスペースがあり、**子育て世代**が子どもを専任スタッフに預けて大人が休憩できる
- ・**タイムシェア**で子育て世代は平日、シニア世代は休日使える場所にする

○相手方施設

- ・梶ヶ谷小学校のグラウンドを使って、子育て支援センターの運動会を行う

○特定の施設に限らない意見

- ・**子どもから高齢者まで**ゆっくりできる、**みどり**や水のあるエリアに
- ・シェアサイクルポートがあると良い
- ・近所の子どもたちがプランターで簡単に**農業体験**をして**交流**

【ワークシート】



4グループ



5グループ



6グループ

【ワークシート】



4グループ



5グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・梶ヶ谷の中だけでなく広域的な視点で公共施設の利用を考えると良い
- ・スポーツ教室を開催していくと良い
- ・利用を子どもに限定せず、ネーミングも工夫して誰でも入れるように



6グループ

モデル地域ごとの結果概要

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

③ エリアごとのまとめ

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【ウ 溝口エリア】 起点施設：男女共同参画センター（すくらむ21）、北部身体障害者福祉会館、高津休日急患診療所

エリアの魅力的な将来像

- ・他地域からも来たくなるような場がある、**文化的な財産**を活かしたまち
- ・**多世代が交流**できルールが守られ地域イベントが充実、人にやさしく、自転車ルールが守られ**災害時も避難しやすい**、安全に歩けるインフラが整備されたまち

あったらいいなと思う機能（主な意見）

- 男女共同参画センター（すくらむ21）
 - ・**二ヶ領用水などの緑道**や、**大山街道の歴史と文化**を活用して**人が集まる機能**がある
 - ・市民館と**機能**が似ているため**統合**してはどうか
- 北部身体障害者福祉会館
 - ・**二ヶ領用水**の**情報発信拠点**とし、小学校などのプログラムと連携
- 高津休日急患診療所
 - ・**機能を他の施設の空いているところに移転**
 - ・時間外の**使っていない時間帯**をテレワーク出来るワークスペースに
- 相手方施設
 - ・高津休日急患診療所については、近くの西高津中学校、中央支援学校、高津小学校と連携できないか（休日開く休日急患診療所と平日主に使われる学校でマッチング）
- 特定の施設に限らない意見
 - ・公共施設の大半は**避難所**として使えるようになると良い
 - ・蔵など未活用のをギャラリーやカフェなどに利用する

【ワークシート】



1グループ

2グループ

【ワークシート】



1グループ

2グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・男女共同参画センターは名前と機能にミスマッチがあるため変更した方が良い
- ・男女共同参画センターには診療所機能やスタートアップ機能も
- ・機能が分かれば施設を利用しやすくなるため、機能が分かる名前を！

モデル地域ごとの結果概要

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

③ エリアごとのまとめ

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【エ 溝口エリア】 起点施設：生活文化会館（てくのかわさき）、福祉パルたかつ、高津老人いこいの家、地域福祉施設ちどり

エリアの魅力的な将来像

- ・住んでる人にも住んでない人にも魅力的なカラフルなまち
- ・**幅広い年代**が好きな過ごし方ができて、その場所に安全に移動ができるまち

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○生活文化会館（てくのかわさき）

- ・高津図書館の分館、**ダンスや音楽**のスタジオなど、誰でも利用できる**文化拠点**にする
- ・**子どもが仕事体験（職人との交流等）**できる場に
- ・学校と連携して、授業などで**子どもが訪れて技術にふれるチャンス**にする

○福祉パルたかつ

- ・**子ども**を預けられたり遊べる場にする

○高津老人いこいの家

- ・保育や勉強スペースを増やすなど、**多世代交流**もできる、中高生の居場所を増やす

○地域福祉施設ちどり

- ・民間との連携により、今風の銭湯やジムとして使えるように

○相手方施設

- ・生活文化会館（てくのかわさき）は二子・高津こども文化センターと連携して**子どもの仕事体験**を行う

○特定の施設に限らない意見

- ・利用したくなるような建物名に変える

【ワークシート】



3グループ

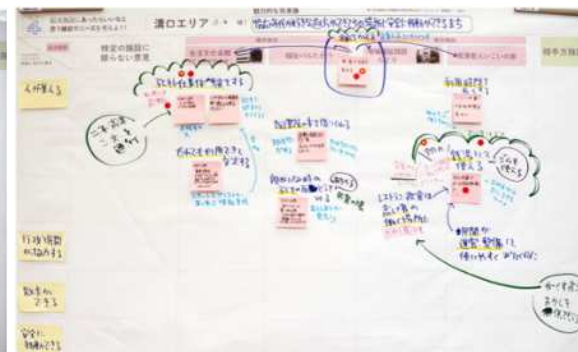


4グループ

【ワークシート】



3グループ



4グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・生活文化会館は駅近の立地を活かして利用しやすいように使い方を改善してほしい
- ・施設名称を現代に合っていて、使い方が分かる名称に変更した方が良いと思う
- ・駅近の場所に図書館などの文化拠点があるといい

モデル地域ごとの結果概要

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

④ 第5回のトークセッションでいただいた参加者からのコメント（一部抜粋）

● トーク1 公共施設を取り巻く現状を踏まえ、気づいたこと・感じたこと

- ・知らない施設も多かった。もっと施設を周知してもらおうと思った。
- ・このワークショップで建物が古くなり利用が減っているということが分かった。スポーツセンターは人気でなかなか予約が取れないなどミスマッチが起きていると思った。
- ・せっかく建屋と土地があるので、有効利用してほしい。溝口はポテンシャルが高いと思うので、例えば映画など魅力があるまちにして税収を上げたら良いと思った。
- ・皆さんの意見を聞いて「こういう感じだったのだな、高津区は」と思うことが多かった。自分は10年ぐらいしか住んでいないので、公共施設と呼ばれるものがこんなにたくさんあると知らなかった。カワタンのゲームはとてもよかった。
- ・公共施設がよりよく変わると良いと思った。自分に関係ないところだと思わないで使っていきたいと思う。

● トーク2 公共施設の今後を考える中で、気づいたこと・感じたこと

- ・カフェがあるなど役所に気楽に入れるようになると良いという意見があった。ニーズに合わせて変化させていく必要もある。
- ・生まれてからずっと高津に住んでいるが、農家があることを意識していなかった。都内などにある地元農家が作った野菜を使うカフェなどがあると良いと思った。また、子育て世代には「おしゃれ」「離乳食がある」など、美容を気にする層には「おしゃれと健康」などのアプローチでいろいろな可能性がある。
- ・ブランディングという言葉が出ていたが、溝口のブランディングは「農家・畑がある」、「高いところでは水害がない」など、アピールできるところがたくさんある。
- ・子ども食堂で使ったり、マルシェを開いたりしているという地域もあると聞いて良いと思った。
- ・キッザニアなど、他の地域からも人を呼べるのではないかというアイデアがあった。農業、畑があるエリアで農業体験などのアイデアを用意するというのも良いと思った。
- ・カワタンをやったことや、既存公共施設が老朽化していることから、統廃合でスリム化するという発想も大事だと思った。
- ・休日急患診療所を平日のみ利用の小中学校に移転する案や、すくらむ21は現時点での男女共同参画の状況を踏まえ、高津市民館に統合するなど、一度機能をリセットすることで持続的な施設活用の可能性が生まれると思う。
- ・あまり使われていないスペースをブレイキンに開放したり、カフェ利用したりすることから始めて、その先にキッザニア、マルシェ、カフェ、テレワークなどに広げて多世代が使えるようになると良いと思った。

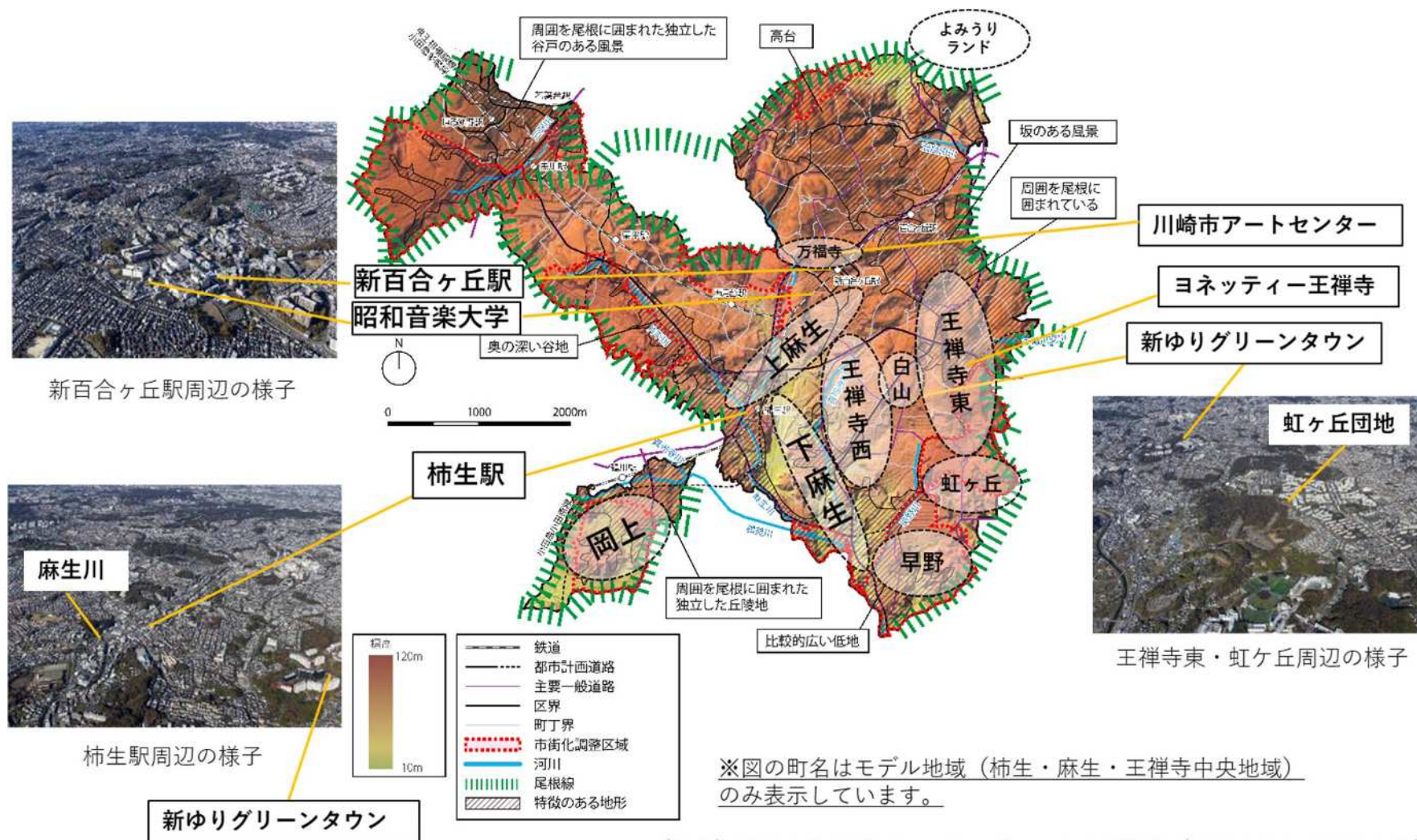
モデル地域を含む各区の概況について

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

- ワークショップでは、麻生区の地形や土地利用の特徴、将来人口推計、人口動態について、以下の資料を使用しました。

① 地形の特徴

- 麻生区は、多摩丘陵の東端に位置し、高低差があり、起伏に富んだ地形です。



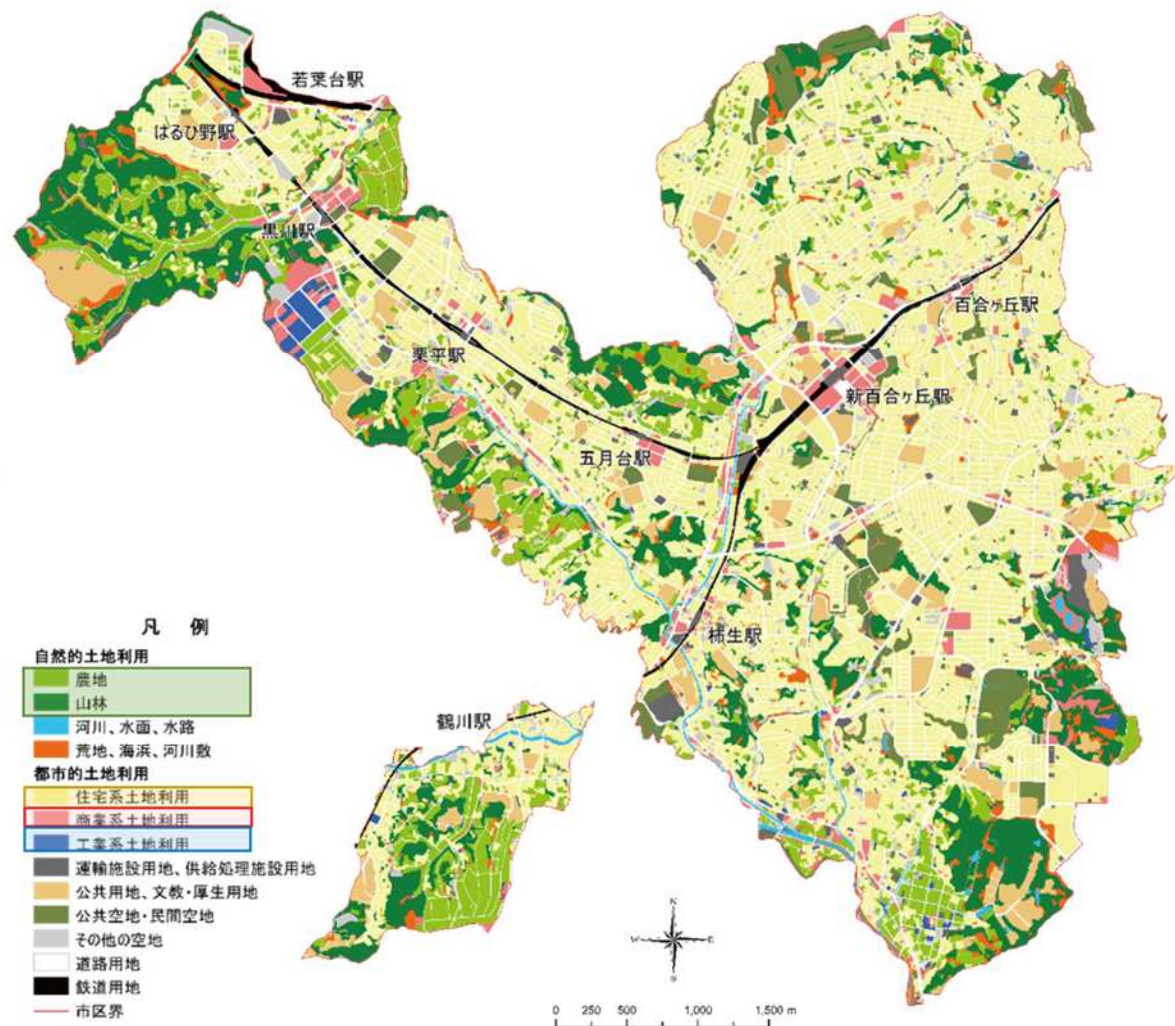
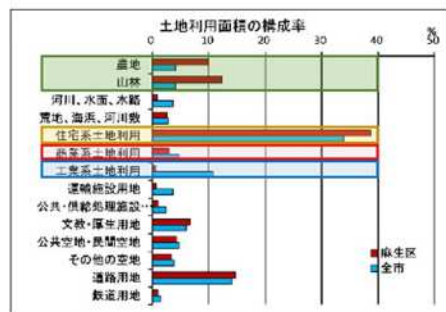
(参考) 川崎市都市計画マスタープラン麻生区構想（平成31年3月改定版）

モデル地域を含む各区の概況について

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

② 土地利用の特徴

- 麻生区の土地利用面積の構成をみると、全市平均と比べて農地や山林の割合が2倍以上となっており、住宅系土地利用の割合も高い状況にあります。商業系土地利用の割合は全市平均より低く、工業系土地利用の割合も非常に低い状況です。
- 区内には、多くのまとまった農地や山林が残されています。また、区を除き市街地にも多数の小規模な農地が分散的に残されています。
- 新百合ヶ丘駅などの駅周辺、主要な道路の沿道などに商業系土地利用の集積が見られます。
- これらを除く場所の多くは住宅系土地利用で占められています。



(参考) 川崎市都市計画マスタープラン麻生区構想（平成31年3月改定版）

モデル地域を含む各区の概況について

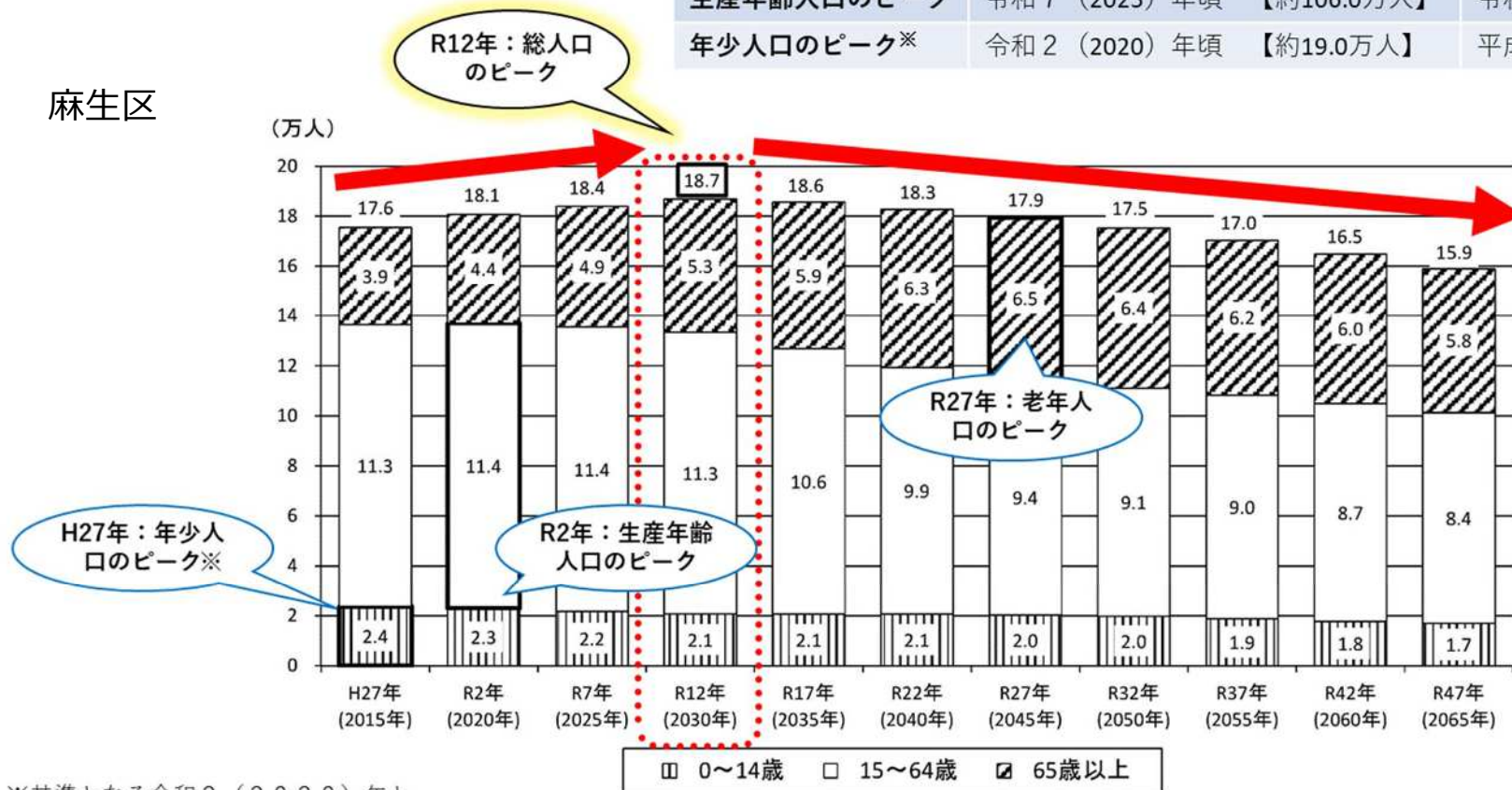
(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

③ 将来人口推計

- ・麻生区の人口は**令和12（2030）年頃の約18.7万人をピーク**に、その後は減少過程への移行が想定されています。
- ・また、**市全体の推計と比べると、総人口のピークが同じで、老年人口、生産年齢人口、年少人口のピークが早い**ことが特徴です。

項目	川崎市全体（【 】は人口）	麻生区
総人口のピーク	令和12（2030）年頃 【約160.5万人】	令和12（2030）年頃
老年人口のピーク	令和32（2050）年頃 【約47.5万人】	令和27（2045）年頃
生産年齢人口のピーク	令和7（2025）年頃 【約106.0万人】	令和2（2020）年頃
年少人口のピーク※	令和2（2020）年頃 【約19.0万人】	平成27（2015）年頃

麻生区



※基準となる令和2（2020）年と
平成27（2015）年及び
推計期間の中での最大値

資料：令和4（2022）年2月川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）

モデル地域を含む各区の概況について

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

④ 人口動態マップ（15歳未満）

- ・町丁目別の15歳未満の人口割合を見ると、**細山4・7丁目**、**万福寺3～6丁目**、**百合丘3丁目**、**高石6丁目**、**片平**、**白鳥**、**はるひ野**で割合が**高く**なっている一方で、**白山**、**虹ヶ丘**では**低い割合**となっています。

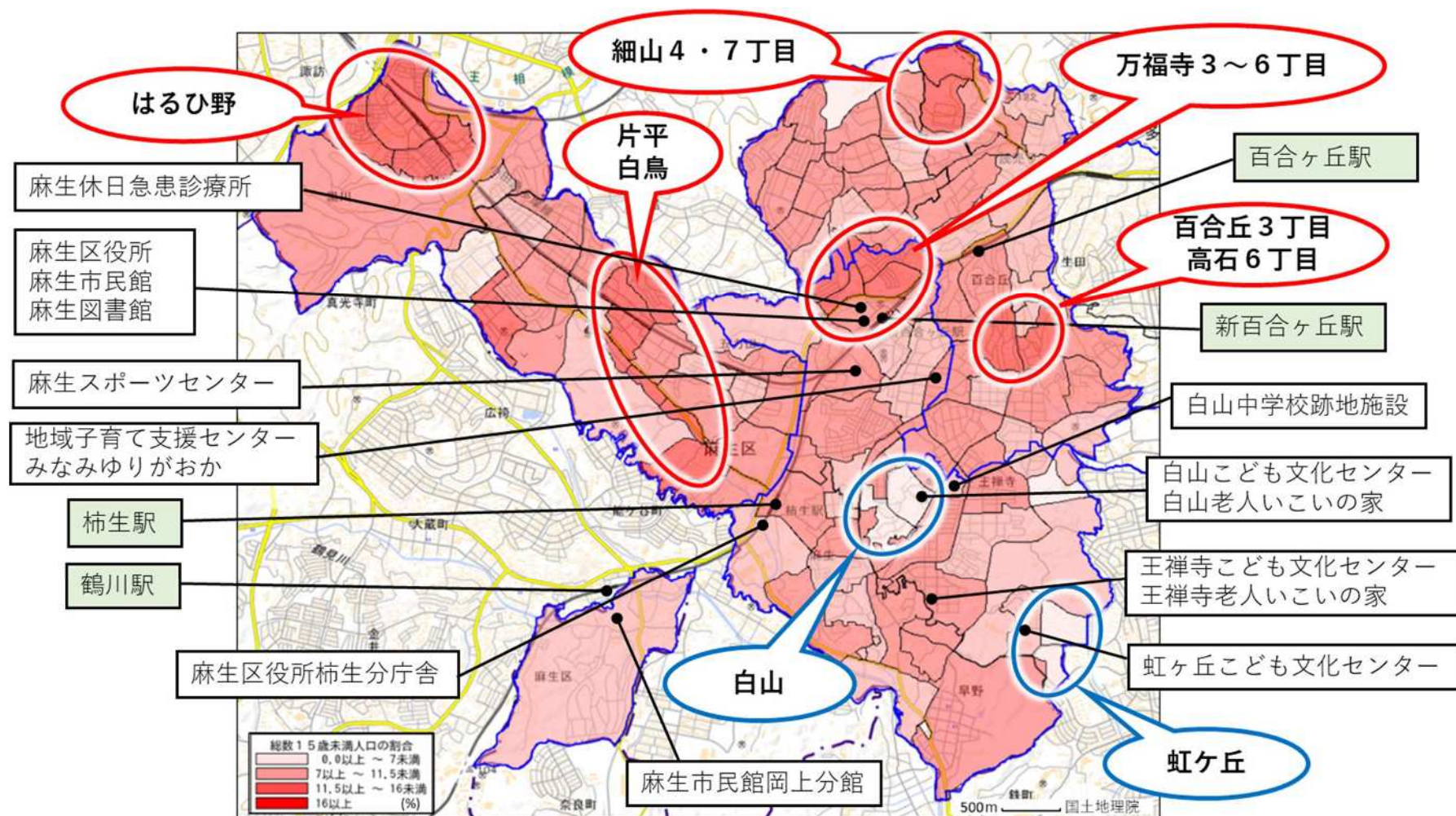


図 麻生区の町丁目別15歳未満の人口割合（令和2年国勢調査）【JSTATMAP】

モデル地域を含む各区の概況について

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

⑤ 人口動態マップ（15～64歳）

- ・町丁目別の15～64歳の人口割合を見ると、**万福寺2・3丁目、上麻生1丁目、五力田、白鳥、片平、栗木台、はるひ野**で割合が高くなっている一方で、**金程3・4丁目、千代ヶ丘7・9丁目、上麻生2丁目、王禅寺西2丁目、東百合丘、白山、王禅寺東、虹ヶ丘、下麻生、早野**では低い割合となっています。

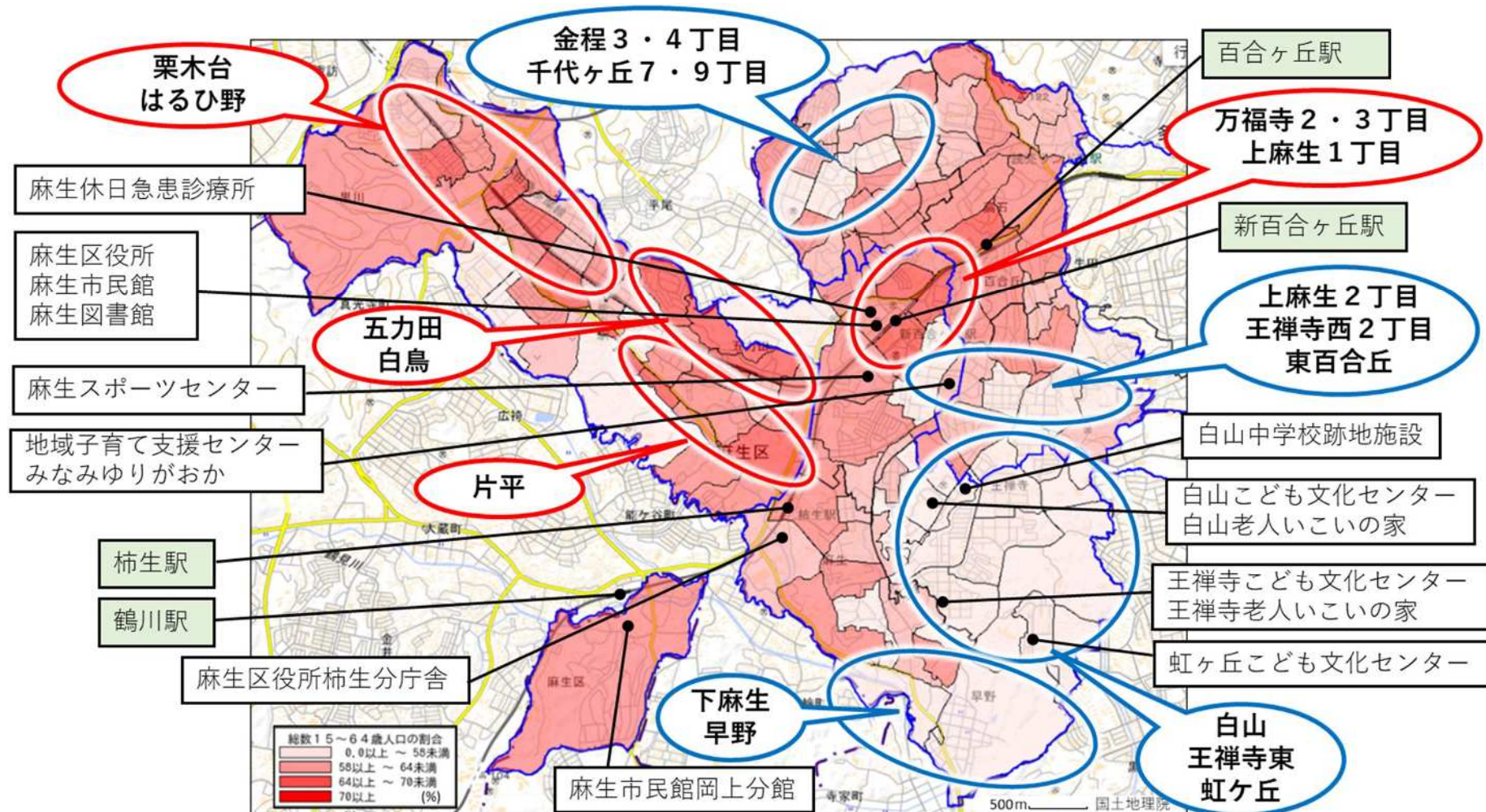


図 麻生区の町丁目別15～64歳の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

モデル地域を含む各区の概況について

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

⑥ 人口動態マップ（65歳以上）

- ・町丁目別の65歳以上の人口割合を見ると、**白山、王禅寺東、虹ヶ丘、下麻生、早野**でその**割合が高**くなっている一方で、**万福寺、上麻生1丁目、五力田、白鳥4丁目、片平、はるひ野**で**低い割合**となっています。

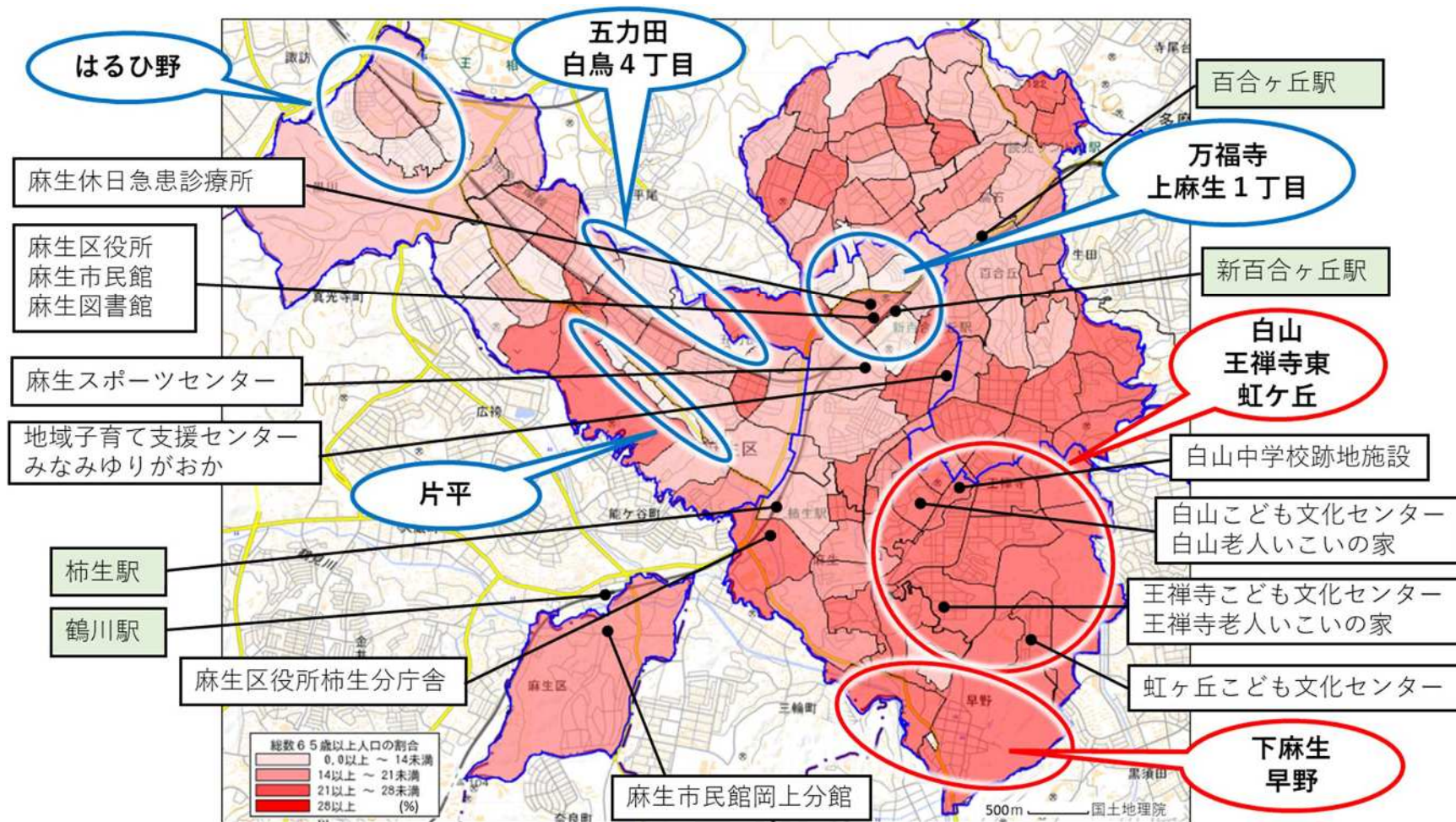


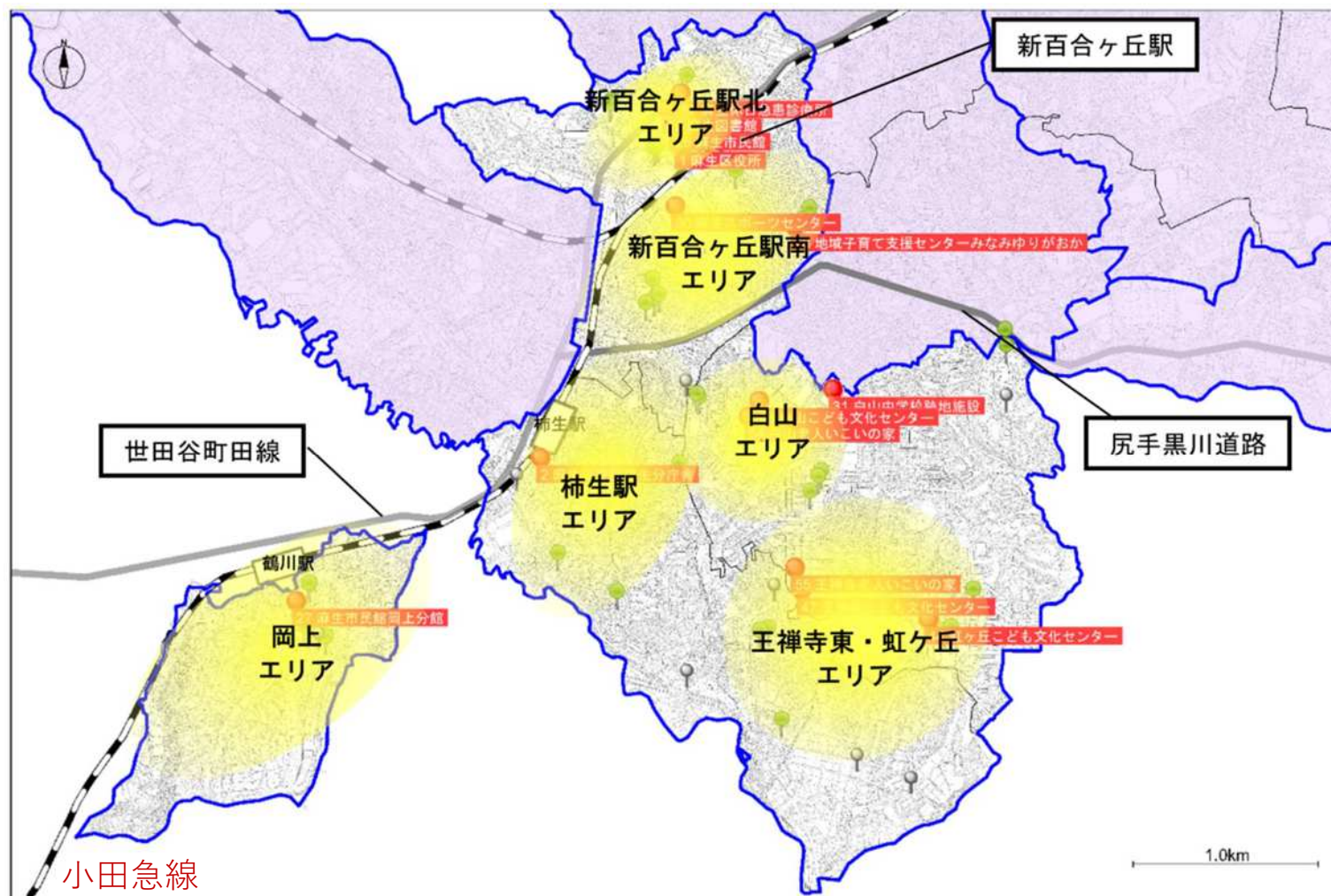
図 麻生区の町丁目別65歳以上の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

モデル地域ごとの結果概要

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

① 意見交換のテーマ及びエリア設定

起点施設について周辺地域の**魅力的な将来像**や、**起点施設にあったらいいなと思う機能等**について意見交換していただきました。
麻生区のモデル地域では、起点施設周辺の地形、鉄道・バス路線等を踏まえて**6つのエリア**を設定しました。



モデル地域ごとの結果概要

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

② 意見交換のまとめ

エリアごとの意見交換でいただいた**主な意見・アイデア**は以下のとおりです。

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

エリア名	起点施設	エリアの魅力的な将来像	あったらいいと思う機能
ア 新百合ヶ丘駅北	・麻生区役所 ・麻生市民館 ・麻生図書館 ・麻生休日急患診療所	・買い物や公共施設に行きやすいウォーカブルなまちで、 緑地や桜 も楽しめ、 多世代が交流 できる ・安心して集える 文化芸術 の活動拠点がつながり、 人もつながっている まち	・屋根や空中庭園があるなど、 目的無く集まりやすい 市民の憩いの広場があるといい ・様々な活動の場として、規模の大小を問わずに 気軽に使うことができる ・調理室を使いやすく、 地元農産物 を活かして子どもも男性も含め 交流 できる ・ 活動を知らない、色々な機能があるのにもったいない という意見があることから、イベントや活動が外から見えるようにする
イ 新百合ヶ丘駅南	・麻生スポーツセンター ・地域子育て支援センター みなみゆりがおか	・ 子育て世代 に優しく、若い人や外国人など様々な人が集まって 交流 し活気があるまち ・ 環境 と生活が調和し、若い人が移住したくなるまち	・多様な情報が得られ 子育て層も高齢者も若い人も 使える 多機能 があり、自然と 集う場 にしたい ・「長寿日本一」ではなく、「 健康寿命日本一 」を目指し、 シニアが元気 に暮らせるようにする ・住宅地でも気兼ねなく音を出せるように、 音楽や楽器 を練習する場をつくる ・公共的なサービスが 集約 されていると、知らないサービスも知ることができて便利
ウ 柿生駅	・麻生区役所柿生分庁舎	・レトロ感と 自然 が魅力的なまち。外からも人が訪れ、終のすみか。まちの人々や 多世代が交流 できる拠点がある ・ 自然が豊か で公園や施設などで 交流 ができる公共交通で移動しやすいまち	・ 今は入りづらい ため、明るくオープンで、無料開放されたスペースになるといい ・ 野菜販売 、キッチンスペース、休憩所、 子ども食堂 などで、 多世代 が使えるといい ・柿生地域の 自然 や 郷土資料 を紹介するビクターセンターとしての役割を持たせる
エ 白山	・白山中学校跡地施設 ・白山こども文化センター ・白山老人いこいの家	・ 若い人も高齢者 も住みやすいと思える静かで落ち着いたまち ・ 自然とアート をめぐり 白山プロムナードづくりで人でにぎわう	・日本映画大学、昭和音楽大学等と連携し 映像 などでまち紹介や、 映画祭 、 音楽祭 に広場を開放する ・ 予約の仕組みを見直す など、地域で祭りや防災訓練、その他健康づくりの運動のためなど、 誰でも利用 できるようにする ・こども文化センターやわくわくプラザで シニアボランティアの活用
オ 王禅寺東・虹ヶ丘	・王禅寺こども文化センター ・虹ヶ丘こども文化センター ・王禅寺老人いこいの家	・ シニアと子ども が接することができる生活拠点と 自然にふれられる場 が両方あり、エリア内の回遊性UPで、皆が住みたくなるまち ・公園を中心に 緑ゆたか なにぎわいもある 多世代 がつながる シニア にも住みやすいまち	・近くの 農家と連携 するなど、 地域の野菜 が食べられるレストランで 多世代交流 ・ 世代を分けずに交流 できるように、イベントや販売、催しの場がある ・ 高齢者同士が生涯学習で交流 できる ・民間の施設に公共施設が入って 複合化 を
カ 岡上	・麻生市民館岡上分館	・ 農や緑 を最大限に活かして、地域の 交流 、 子育て 、産業につなげていく	・ 地域の文化財の紹介 を行うなど、岡上地域を知るためのビクターセンター的機能を ・ 農作物 の直売所をつくる ・岡上こども文化センターで 食育の取り組み や、 子ども食堂 などやってみる

主な意見・アイデアのキーワードとしては・・・

・将来像から見えてきた公共施設の機能や使い方等に関すること

⇒ **「多世代交流」**、**「子育て支援の充実」**、**「文化・芸術活動」**、**「利用制限の見直し」**、**「使われていない時間帯の有効活用」**
「入りづらい」、**「知られていない」**、**「情報発信・PRが大事」**、**「機能集約や移転なども有効」**、**「農や自然」**、**「元気なシニアの交流」**

モデル地域ごとの結果概要

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

③ エリアごとのまとめ

【ア 新百合ヶ丘駅北エリア】 起点施設：麻生区役所、麻生市民館、麻生図書館、麻生休日急患診療所

エリアの魅力ある将来像

- ・買い物や公共施設に行きやすいウォーカブルなまちで、**緑地や桜**も楽しめ、**多世代が交流**できる
- ・安心して集える**文化芸術**の活動拠点がつながり、**人もつながっている**まち

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○麻生区役所

- ・屋根や空中庭園があるなど、**目的無く集まりやすい**市民の憩いの広場があるといい

○麻生市民館

- ・様々な活動の場として、規模の大小を問わずに**気軽に使うことができる**
- ・調理室を使いやすく、**地元農産物**を活かして子どもも男性も含め**交流**できる

○麻生図書館

- ・電子書籍など利用しやすくして若い人の利用を増やす

○麻生休日急患診療所

- ・健康に関する講座を実施して人が**つながる**ような取組をする

○相手方施設

- ・電車からも見える麻生小学校の校庭でイベントを開催

○特定の施設に限らない意見

- ・若い人がチャレンジできる屋台村をつくる
- ・プロムナード感覚で公共施設にアクセスできる。周囲には個性的なお店もあって回遊が楽しいまち
- ・**活動を知らない、色々な機能があるのにもったいない**という意見があることから、イベントや活動が外から見えるようにする

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【ワークシート】



1グループ



2グループ

【ワークシート】



1グループ



2グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・イベントが多くなるなど北側に行く機会が増えると良い
- ・駐車場不足なので施設が連携して利用しやすくしてほしい
- ・音大と連携してコンサートや教室が開かれると良い
- ・麻生ブランドの食事ができるレストランが見えるところがあると良い

モデル地域ごとの結果概要

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

③ エリアごとのまとめ

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【イ 新百合ヶ丘駅南エリア】 起点施設：麻生スポーツセンター、地域子育て支援センターみなみゆりがおか

エリアの魅力ある将来像

- ・ **子育て世代**に優しく、若い人や外国人など様々な人が集まって**交流**し活気があるまち
- ・ **環境**と生活が調和し、若い人が移住したくなるまち。急速な開発による環境の乱れが気になる

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○麻生スポーツセンター

- ・ 多様な情報が得られ**子育て層も高齢者も若い人も**使える**多機能**があり、自然と**集う場**にしたい
- ・ 無料利用日を更に設けて新しい利用者を増やす
- ・ 「長寿日本一」ではなく、「**健康寿命日本一**」を目指し、**シニアが元気**に暮らせるようにする
- ・ 住宅地でも気兼ねなく音を出せるように、**音楽や楽器**を練習する場をつくる

○地域子育て支援センターみなみゆりがおか

- ・ 子どもが利用しやすい木造平屋の建物を活かす

○相手方施設

- ・ 麻生こども文化センターなど、**子ども食堂**を実施している施設と連携する

○特定の施設に限らない意見

- ・ **子育て世代**へのボランティア機会を発信する
- ・ 公共的なサービスが**集約**されていると、知らないサービスも知ることができて便利

【ワークシート】



3グループ



4グループ

【ワークシート】



3グループ



4グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・ 音楽のまちとして、近くにある昭和音楽大学とコラボレーションや連携して、子連れでも参加できるイベントがあると良い
- ・ アクセスやPRなど、スポーツセンターが様々な取り組みを行い利用がもっと便利になると良い

モデル地域ごとの結果概要

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

③ エリアごとのまとめ

【ウ 柿生駅エリア】 起点施設：麻生区役所柿生分庁舎

エリアの魅力的な将来像

- ・レトロ感と**自然**が魅力的なまち。外からも人が訪れ、終のすみか。まちの人々や**多世代が交流**できる拠点がある
- ・**自然が豊か**で公園や施設などで**交流**ができる公共交通で移動しやすいまち

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○麻生区役所柿生分庁舎

- ・**今は入りづらい**ため、明るくオープンで、無料開放されたスペースになるといい
- ・おしゃべりができるカフェ
- ・**野菜販売**、キッチンスペース、休憩所、**子ども食堂**などで、**多世代**が使えるといい
- ・柿生地域の**自然**や**郷土資料**を紹介するビジターセンターとしての役割を持たせる
- ・**子ども連れ**のママが**交流**して遊べる
- ・デジタル化等の世の中の変化に対応する相談窓口

○相手方施設

- ・こども文化センターが遠くて通いにくいいため、絵本やおもちゃで遊んだり、卓球ができる**機能**が柿生分庁舎にあるといい

○特定の施設に限らない意見

- ・地域の施設間が離れているため、コミュニティバスを活用。散策ルートを作りバスで巡れるようにする
- ・子ども施設を充実させたい

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【ワークシート】



5グループ



6グループ

【ワークシート】



5グループ



6グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・施設へのアクセスのためには交通手段の検討が必要
- ・民間施設も含め地域では多世代交流も行われている

モデル地域ごとの結果概要

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

③ エリアごとのまとめ

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【エ 白山エリア】 起点施設：白山中学校跡地施設、白山こども文化センター、白山老人いこいの家

エリアの魅力的な将来像

- ・ **若い人も高齢者も**住みやすいと思える静かで落ち着いたまち
- ・ **自然とアート**をめぐる 白山プロムナードづくりで人でにぎわう

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○白山中学校跡地施設

- ・ 日本映画大学、昭和音楽大学等と連携し**映像**などでまち紹介や、**映画祭**、**音楽祭**に広場を開放する
- ・ **予約の仕組みを見直す**など、地域で祭りや防災訓練、その他健康づくりの運動のためなど、**誰でも利用**できるようにする

○白山こども文化センター

- ・ **子ども食堂**で、高齢者も含めた**多世代交流**
- ・ 名前を変えたり、**利用制限をなくしたり**することで、地域の人が自由に使える
- ・ 日本映画大学とコラボした子ども施設にする

○白山老人いこいの家

- ・ 名前を変えたり、**利用制限をなくしたり**することで、地域の人が自由に使える
- ・ 給水拠点

○相手方施設

- ・ こども文化センターやわくわくプラザで**シニアボランティア**の活用

○特定の施設に限らない意見

- ・ 白山プロムナードマップづくり
- ・ 若い世代が住みやすくするため保育施設の充実

【ワークシート】



1グループ

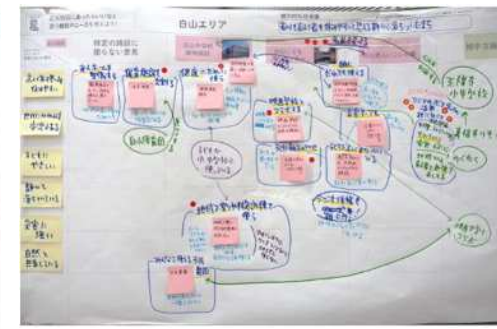


2グループ

【ワークシート】



1グループ



2グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・ 民間で運営したりして、誰でも使える行きたいと思える場所にする
- ・ 白山中学校跡地でイベントを行って、まちに活気を出す
- ・ 施設の名前を変えてもっと利用しやすくする

モデル地域ごとの結果概要

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

③ エリアごとのまとめ

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【オ 王禅寺東・虹ヶ丘エリア】 起点施設：王禅寺こども文化センター、虹ヶ丘こども文化センター、王禅寺老人いこいの家

エリアの魅力的な将来像

- ・ **シニアと子ども**が接することができる生活拠点と**自然にふれられる場**が両方あり、エリア内の回遊性UPで、皆が住みたくなるまち
- ・ 公園を中心に**緑ゆたか**なにぎわいもある**多世代**がつながる**シニア**にも住みやすいまち

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○王禅寺こども文化センター

- ・ 合築している老人いこいの家とも連携し、**利用者が使いやすい**ように、送迎や運搬のための駐車場を確保する
- ・ **世代を分けずに交流**できるように、イベントや販売、催しの場がある

○虹ヶ丘こども文化センター

- ・ 地域特性を考え、老人いこいの家の**機能に変更**

○王禅寺老人いこいの家

- ・ 近くの**農家と連携**するなど、**地域の野菜**が食べられるレストランで**多世代交流**
- ・ **世代を分けずに交流**できるように、イベントや販売、催しの場がある
- ・ **高齢者同士が生涯学習で交流**できる
- ・ ボランティア活動などで利用できる広いキッチンがあるといい

○相手方施設

- ・ 虹ヶ丘小学校の広い校庭を活用

○特定の施設に限らない意見

- ・ わくわくプラザやこども文化センターにフリースクールの**機能**が入れられるといい
- ・ コミュニティバスなど便利な交通手段を
- ・ 民間の施設に公共施設が入って**複合化**を

【ワークシート】



3グループ



4グループ

【ワークシート】



3グループ



4グループ

第5回では、追加で以下のような感想をいただきました。

- ・ 施設名称変更で多世代が利用しやすい施設に
- ・ 多世代のコミュニケーションが生まれるデザインも重要

モデル地域ごとの結果概要

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

③ エリアごとのまとめ

【カ 岡上エリア】 起点施設：麻生市民館岡上分館

エリアの魅力的な将来像

- ・ **農や緑**を最大限に活かして、地域の**交流**、**子育て**、産業につなげていく

あったらいいなと思う機能（主な意見）

○麻生市民館岡上分館

- ・ **地域の文化財の紹介**を行うなど、岡上地域を知るためのビクターセンタース的な機能を
- ・ **農作物**の直売所をつくる
- ・ **里山**を活かしてトレイルランの事務局、起点に
- ・ 行政と連携した**就農相談**や支援の充実、マッチングの場がある
- ・ 地域で行っている防災教育の窓口を市民館が担う

○相手方施設

- ・ 岡上こども文化センターで**食育の取組み**や、**子ども食堂**などやってみる
- ・ 近隣の大学と連携し、岡上こども文化センターで大学生が勉強を教える仕組みを作る

○特定の施設に限らない意見

- ・ 子どもを預かる、食事を作るなど、ボランティアのマッチング機能や趣味の**交流**の場があると良い

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

【ワークシート】



5グループ

【ワークシート】



5グループ

第5回では、追加で以下のような感想を頂きました。

- ・ 岡上分館で農やみどりについて地域で話し合う場やPRをしていくのは良い
- ・ ウォーキングマップで地域の情報を発信していくと良い
- ・ 里山保全に地域の人材を増やし、育てることが必要

モデル地域ごとの結果概要

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

④ 第5回のトークセッションでいただいた参加者からのコメント（一部抜粋）

● トーク1 公共施設を取り巻く現状を踏まえ、気づいたこと・感じたこと

- ・ 公共施設の名称は利用者が限定されているイメージがある。
- ・ 公共施設によっては、時代とともに役割が終わったんだな、売っても良いのではないかという視点があると知った。地域の人が使わなくなったら、売ってしまってそのお金を他のサービス充実に活かす方法もあると知れた。
- ・ ワークショップで知った、いつも素通りしていた高齢者の会館は、まだ常連さん向けのイメージなので、入れてはいないが、掲示板を散歩がてら見るようになった。駅からも近いのでエントランスが入りやすくなると良くなると思っている。
- ・ 民間が指定管理を受けている武雄市の図書館に行ってきた。図書館の中にカフェがあったりデザインが工夫されたりしていた。地方でも公共施設のあり方が見直されている。麻生区も若い人が集いやすいデザインにすると良い。

● トーク2 公共施設の今後を考える中で、気づいたこと・感じたこと

- ・ 柿生分館は入りにくいので、子育て世代が行きやすいようにロビーにちゃぶ台を置くなど、良い雰囲気になるといいと思った。
- ・ 老人いこいの家では、従来型の囲碁将棋だけではなく、みんなが使えるゲームがあると良いと思った。
- ・ 目的と場所が一緒であることが多いが、動きの中の通過点として公共施設の利用を考え、点で考えるのではなくて繋いで考える可能性が見えた。ネットワークでつなぐという事も大事。
- ・ 公共施設を回遊する際に立ち寄るポイントの一つとして考えるという視点もあり、回遊は学校と一緒に考えると良いと思う。例えば、芸術学科の作品を公共施設に展示してもらって回遊の機会にしても良いと思う。
- ・ 今までは公共施設を深く考えていなかったが、施設をいくら作っても維持運営が重要であることが分かった。施設の周りの人に協力してもらって、ソフトのこと（使い方）を十分に考えないといけない。年代が変わってきたり、住まう人が変わってきたりするので、対象やできることは絞り込みすぎた内容にはしない方が良いと思った。

第5回の様子

集合写真



川崎区



幸区



高津区



麻生区

ワークショップの結果概要

いただいた御意見のうち、主な意見・アイデアのキーワードを整理し、「意見交換から見てきたこと」を以下のとおりまとめました。

■主な意見・アイデアのキーワード

	川崎区モデル地域	幸区モデル地域	高津区モデル地域	麻生区モデル地域
共通の意見	<div>「多世代交流」「子育て支援の充実」「文化・芸術活動」</div> <div>「利用制限の見直し」「使われていない時間帯の有効活用」</div> <div>「入りづらい」「知られていない」「情報発信・PRが大事」</div> <div>「機能集約や移転なども有効」</div>			
特徴的な意見	<div>「安心安全」「防災」</div> <div>「国際交流」</div>	<div>「企業との連携」</div> <div>「多摩川を活用」</div>	<div>「防災」</div> <div>「農や自然」</div>	<div>「農や自然」</div> <div>「元気なシニアの交流」</div>

意見交換から見てきたこと

- 将来像から見てきた公共施設の機能等について、「多世代が交流できる」、「子育て支援が充実している」、「文化・芸術活動が活発」という意見を共通でいただきました。
⇒将来像の実現に向けた施設の機能として必要と思われるものは、多世代交流や子育て支援の場・文化芸術の活動の場など、多世代が様々な用途で活動できる場と考えられます。
- また、地域ごとに見ていくと「国際交流」、「企業との連携」、「農や自然」など特徴的な意見をいただきました。
⇒地域特性を踏まえた検討を行うことも重要と考えられます。
- 施設の使い方等について、「利用制限の見直し」、「使われていない時間帯の有効活用」という意見を共通でいただきました。
⇒施設によっては対象者の利用制限があることや、使われていない時間帯もあり、使い方に工夫の余地があると考えられます。
- 施設に関する意見として、「入って良いのか分からず、入りづらい」、「機能や活動が知られていない」という意見が共通しており、また、「施設の情報発信をもっと欲しい」、「PRが大事」という意見も共通していただきました。
⇒施設が入りづらい、知られていないなどの意見があるため、積極的な情報発信や施設を利用してもらう工夫などが求められていると考えられます。
- ニーズに合った施設の実現や利便性が向上するための視点として、建替え等のタイミングで「施設の機能集約や移転なども有効」という意見を共通していただきました。
⇒ニーズに合った施設等の実現に向けた取組として、施設の状況やタイミングによっては機能集約や移転の手法も考えられます。

- 意見交換から見てきたことを視点として整理し、その視点を踏まえ、地域ごとの資産保有の最適化に向けた今後の取組を進めてまいります。
- ワークショップでいただいた御意見やアイデアについては、公共施設の使い方や機能のあり方の整理に向けた取組の参考としてまいります。

7 利用団体等との意見交換（施設別）

ヒアリングでいただいた御意見等は次のとおりです。

施設名	施設の機能について	利用状況について	今後の施設について	その他
生活文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>プロジェクター、Wi-Fi、コピー機が利用できて良い。</u> ・施設については、<u>技能職の拠点</u>と認識している。 ・水漏れなど<u>老朽化</u>が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>駅から近い等のアクセス面の良さ</u>等で、技能フェスなどで多くの人が集まる。 ・<u>活動場所は駅から近いことを重視している。</u> ・<u>会議や打ち合わせ</u>のほか、健康診断や技能競技大会の練習で使用している。 ・川崎の中心にある溝の口は市内各地からの<u>アクセスが容易。</u> ・活動場所として利用料金を重視している。 ・<u>実習室以外の諸室は近隣のサークル利用等が多い。</u>【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え等の際は、<u>駅からのアクセス面の良さ</u>を考慮して欲しい。 ・移転の場合は、実習できる部屋は残してほしい。 ・関連団体として<u>今までのように使えと良い。</u> ・建替える場合は、技能や技能職の紹介等、より目に触れられるように拡充してほしい。 ・<u>活動場所がなくならないように各施設の工事時期をずらしてほしい。</u> ・近隣の会議室が減って利用者が集中することになるのは困る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>施設の利便性や存在が知られていないので、もっと宣伝が必要だと考えている。</u> ・技能者が減少しているため、ものづくりイベント等は貴重。イベントなどで使える場所を残してほしい。 ・陶芸や裁縫など、団体の活動によっては代替施設が見当たらない可能性がある。【管】
男女共同参画センター	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する際に心理的な安全性があり、管理者に配慮いただいている。 ・<u>施設の男女共同という目的を有している施設で活動することを重視している。</u> ・相談室は靴を脱いでソファでリラックスできる。 ・<u>施設は古い</u>が、明るくきれいで、<u>Wi-Fiも利用でき、満足している。</u> ・設備が<u>老朽化</u>しており、管理に気をつけている。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・溝の口駅周辺で<u>会議室等を利用</u>している。 ・<u>活動場所で重視することは、駅から近いこと。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・複合化等については、できれば<u>駅近がいい。</u> ・他区からの来訪者もあるので、<u>交通の便が良いところが良い。</u> ・今後も<u>今のようなプロジェクターがあると良い。</u> ・将来建替える場合でも、現施設同様に相談室等は動線を配慮する必要がある。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数に応じた規模の部屋があるのは使いやすい。 ・男女共同に関する専門図書を閲覧したり情報収集できる環境は大切。 ・施設をより一層使ってもらうため、SNSの広報を拡充していきたい。【管】

※【管】は指定管理者や施設管理者等の御意見等です。

7 利用団体等との意見交換（施設別）

ヒアリングでいただいた御意見等は次のとおりです。

施設名	施設の機能について	利用状況について	今後の施設について	その他
かわさき健康づくりセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・フィットネススタジオを使っているが、音漏れ対策、鏡、空調、床のクッション性など、とても設備の環境が良い。 ・利用者の憩いの場になっている。 ・高齢者の利用が多く介護予防の施設と思っている。 ・体育館も費用をかけて修繕しているので、長く使いたい。 ・大きな音に対応可能な防音設備はない。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅やバス停から遠く、場所がわかりづらい。 ・中高生のバスケットチームの利用もあり利用者の年齢層は幅広い。【管】 ・市外の遠方からも来訪者がいるが、基本的には地域に密着している施設である。【管】 ・昔から使っている人には人気が高い。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・移転等がある場合、できるだけ現在地の近くが良い。 ・体育館がなくなると困る。 ・施設を解体する際は代替施設を用意してから壊してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の存在が知られていない。 ・会議室の空きが目立つので宣伝が必要だと思う。 ・利用時間や部屋割りを変えるなど柔軟な運営が必要ではないか。 ・人口が減る中で、こうした公共施設の取組をすることは理解できる。
老人いこいの家（大島・上作延・王禅寺）	<ul style="list-style-type: none"> ・食事提供や指導者を通じてサークル活動ができる施設は必要な施設である。 ・建物が老朽化しており、補修の必要がある。 ・講座をきっかけに利用者同士のつながりが生まれている。【管】 ・イベントを通じ、利用者は併設施設の子どもたちとの交流を楽しんでいる。【管】 ・健康づくりの拠点として必要な施設と考えており、ミニデイサービスなど介護予防に力をいれてやっている。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動エリアはここだけであり、参加者はほとんど歩きで来ている。ちょうどいい広さで使いやすい。 ・場所は、駅から近い方が良い。駅からかなり遠くて上ってこないといけないうので、立地的にはよくない。 ・講座では大広間がよく利用されている。【管】 ・昔からの知り合い同士でグループで団体登録して使用しており、新しい人が溶け込みづらいことがある。【管】 ・70代以上の利用者が多い。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後移転等があった場合、参加者は通うのが大変かもしれない。 ・こども文化センターと合築した場合、子ども達が元気にやっているのを見て、自分達も元気が出る。 ・周辺に公共施設はほとんどなく、山もあるのでできれば山坂が無い所にあればいいと思う。 ・今後は高齢者が増える率が高いから、高齢者のための施設がないといけないのではないか。 ・部屋が増えてきれいになれば利用が増えるのではないかとと思う。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を増やすためには、部屋のバリアフリー対応やトイレ洋式化等の老朽化した設備の改修が必要だと思う。 ・施設を多目的に使えば良い。 ・いこいの家を知らない方も多い。【管】 ・ブラックボードを敷地入口に設置し、知らない人が入りやすくしている。【管】

※【管】は指定管理者や施設管理者等の御意見等です。

7 利用団体等との意見交換（施設別）

ヒアリングでいただいた御意見等は次のとおりです。

施設名	施設の機能について	利用状況について	今後の施設について	その他
地域福祉施設ちどり	<ul style="list-style-type: none"> ・同施設内の団体と情報交換できる。 ・建物及び設備が老朽化している。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や福祉系の団体で、会議や作業で会議室を使っている。 ・現在は無料で利用できている。 ・いこいの家は団体で使うには小さいので、ちどりを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が高齢化しており、駅に近い場所がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者や同じ施設にいる団体は障害者に対して理解があり、非常に助かっている。
福祉パルたかつ	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷機やリソグラフなどもあるので便利。 ・地域福祉団体の会議・研修を行っている。【管】 ・共同で使用しているEVについて、車椅子での利用者も多い。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の頻度はかなり高い。 ・普段は活動の打ち合わせや作業などで使っている。 ・他団体もよく使っている。 ・活動エリアに近くて距離的に一番使いやすい。 ・近くの別の公共施設も使っている。 ・無料なのが良い。 ・イベントの都合上、市民館の近くにある方が便利。 ・駅に近いのはメリットが大きく、地区社協の方々や民生委員、ボランティアなど、研修室、フリースペースの利用頻度が高い。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な需要を確認しながら進めてほしい。 ・老朽化して使われない場合、複合化等を行って良い形になるのは良いと思う。 ・整備する時は高齢者が上に行くのは大変なので、エレベータの設置をしてほしい。 ・今後の活動場所で良いと思うことは、駅の近い場所、印刷機などの設備、駐車場などである。 ・施設が無くなると困る。 ・様々な利用があるので、個室の相談室があると良い。【管】 ・特定エリア向けの施設ではないため、区の中にあれば良い。【管】 ・研修室の利用頻度が高いことから、現在の研修室と同程度の広さでもう一部屋あると良い。【管】 	<ul style="list-style-type: none"> ・資産マネジメントの取組みは必要だと思う。 ・こども向けの施設は午前中に空いていることもあり、例えば複合化により有効活用をしてはどうか。 ・ワークショップに参加したが、公共施設を知られていないと感じた。広報やアピールが必要。
休日急患診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜・祝日・年末年始の開設という性質上、利用状況が相対的に低くなる。【管】 ・老朽化が進んでおり、施設の適正な維持管理を行っていく必要がある。【管】 		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策等の施設の性質上、多目的化はなじまないと考える。【管】 	

※【管】は指定管理者や施設管理者等の御意見等です。

8 公共施設マネジメント推進委員会

本取組方針をとりまとめるにあたり、学識者等による見識や市民意見を反映するため、7名の委員で構成する附属機関「川崎市公共施設マネジメント推進委員会」において、令和4年度から9回にわたる審議を行いながら進めました。

● 令和4年度

委員名簿（50音順）

氏名	役職等
李 祥準	関東学院大学 建築・環境学部 准教授
伊藤 正次	東京都立大学大学院 法学政治学研究科教授
稲生 信男（会長）	早稲田大学 社会科学総合学院 教授
木村 俊介	明治大学 専門職大学院 ガバナンス研究科 教授
眞鍋 邦子	公募委員
村沢 和英	公募委員
山口 美紀	山口美紀不動産鑑定事務所 不動産鑑定士

～これまでの開催経過～

＜＜第1回委員会 令和4年7月7日開催＞＞

【主な検討内容】・検討を行う地域の優先順位付けについて

＜＜第2回委員会 令和4年11月1日開催＞＞

【主な検討内容】・モデル地域の選定について

＜＜第3回委員会 令和5年3月15日開催＞＞

【主な検討内容】・最適化を検討する施設の候補について
・地域への説明について
・最適化の内容について

8 公共施設マネジメント推進委員会

● 令和5～6年度

委員名簿（50音順）

氏名	役職等
李 祥準（会長）	関東学院大学 建築・環境学部 准教授
伊藤 正次	東京都立大学大学院 法学政治学研究科教授
稲生 信男	早稲田大学 社会科学総合学術院 教授
倉斗 綾子	千葉工業大学 創造工学部デザイン科学科 教授
朴 慶浩	公募委員
村尾 陸	公募委員
山口 美紀	山口美紀不動産鑑定事務所 不動産鑑定士

～これまでの開催経過～

「令和5年度第1回委員会 令和5年8月29日開催」

【主な検討内容】・モデル地域におけるエリアごとの公共施設の適正配置検討の進め方について
・ワークショップ・アンケートによる市民意見聴取について

「令和5年度第2回委員会 令和6年1月26日開催」

【主な検討内容】・第1回ワークショップの報告と第2回ワークショップの開催内容について
・施設分析の進め方について

「令和6年度第1回委員会 令和6年4月11日開催」

【主な検討内容】・第2回「地域の公共施設の未来を考えるワークショップ」の開催結果について
・地域ごとの資産保有の最適化検討の進め方について
・アンケート調査の結果について

「令和6年度第2回委員会 令和6年12月23日開催」

【主な検討内容】・市民参加の取組について（ワークショップ結果等）
・起点施設のデータ等分析について
・今後の検討の進め方について

8 公共施設マネジメント推進委員会

● 令和7年度

委員名簿（50 音順）

氏名	役職等
李 祥準（会長）	関東学院大学 建築・環境学部 准教授
稲生 信男	早稲田大学 社会科学総合学術院 教授
倉斗 綾子	千葉工業大学 創造工学部デザイン科学科 教授
讃岐 亮	東京都立大学 都市環境学部 建築学科 助教
中西 健一	公募委員
朴 慶浩	公募委員
山口 美紀	山口美紀不動産鑑定事務所 不動産鑑定士

～これまでの開催経過～

「令和7年度第1回委員会 令和7年7月30日開催」

【主な検討内容】・（仮称）モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組方針案について
・モデル地域以外の資産保有の最適化検討について

「令和7年度第2回委員会 令和7年10月7日開催」

【主な検討内容】・モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組方針（案）について